

2019年度

施設利用ガイドブック



独立行政法人 国立青少年教育振興機構

国立赤城青少年交流の家

〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山27

E-mail: akagi-suishinn@niye.go.jp



Kurobisan
1828

Komagatake
1685

Choshichiroyama
1579

利用・プログラムに関するお問合せ **事務室**

TEL: 027-289-7224 (9:00~17:00)

FAX: 027-289-7226

食事に関するお問合せ

食堂・売店

TEL: 027-288-3333 (7:20~17:00)

FAX: 027-288-7037

<https://akagi.niye.go.jp/>

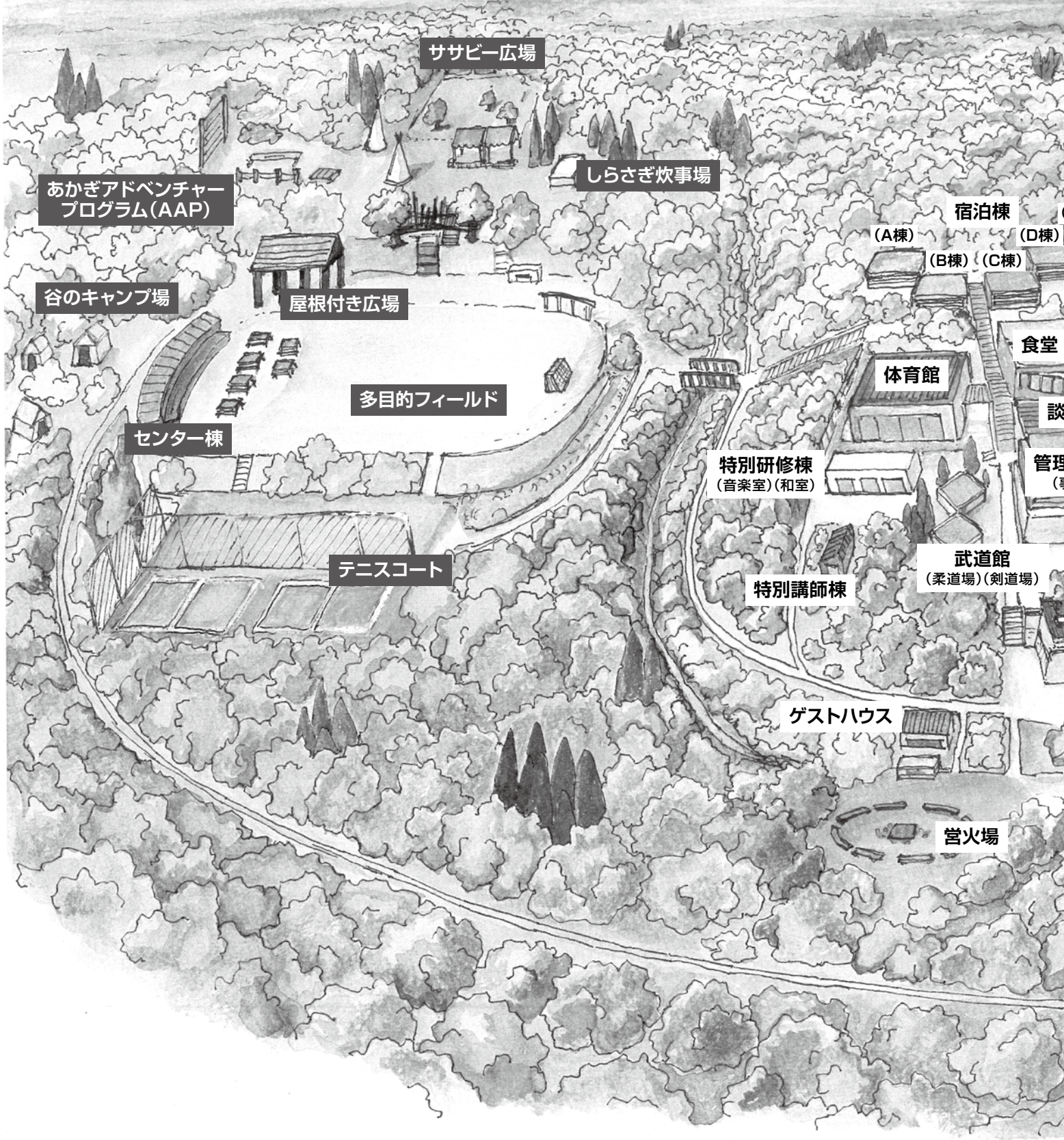
赤城 交流の家

検索



※必要書類はホームページから
ダウンロードできます。

あかぎアドベンチャーエリア(AAA)



ササビー広場

あかぎアドベンチャー
プログラム(AAP)

谷のキャンプ場

屋根付き広場

しらさぎ炊事場

宿泊棟
(A棟) (B棟) (C棟) (D棟)

センター棟

多目的フィールド

体育館

食堂

談

管理

(専)

テニスコート

特別研修棟
(音楽室)(和室)

武道館
(柔道場)(剣道場)

特別講師棟

ゲストハウス

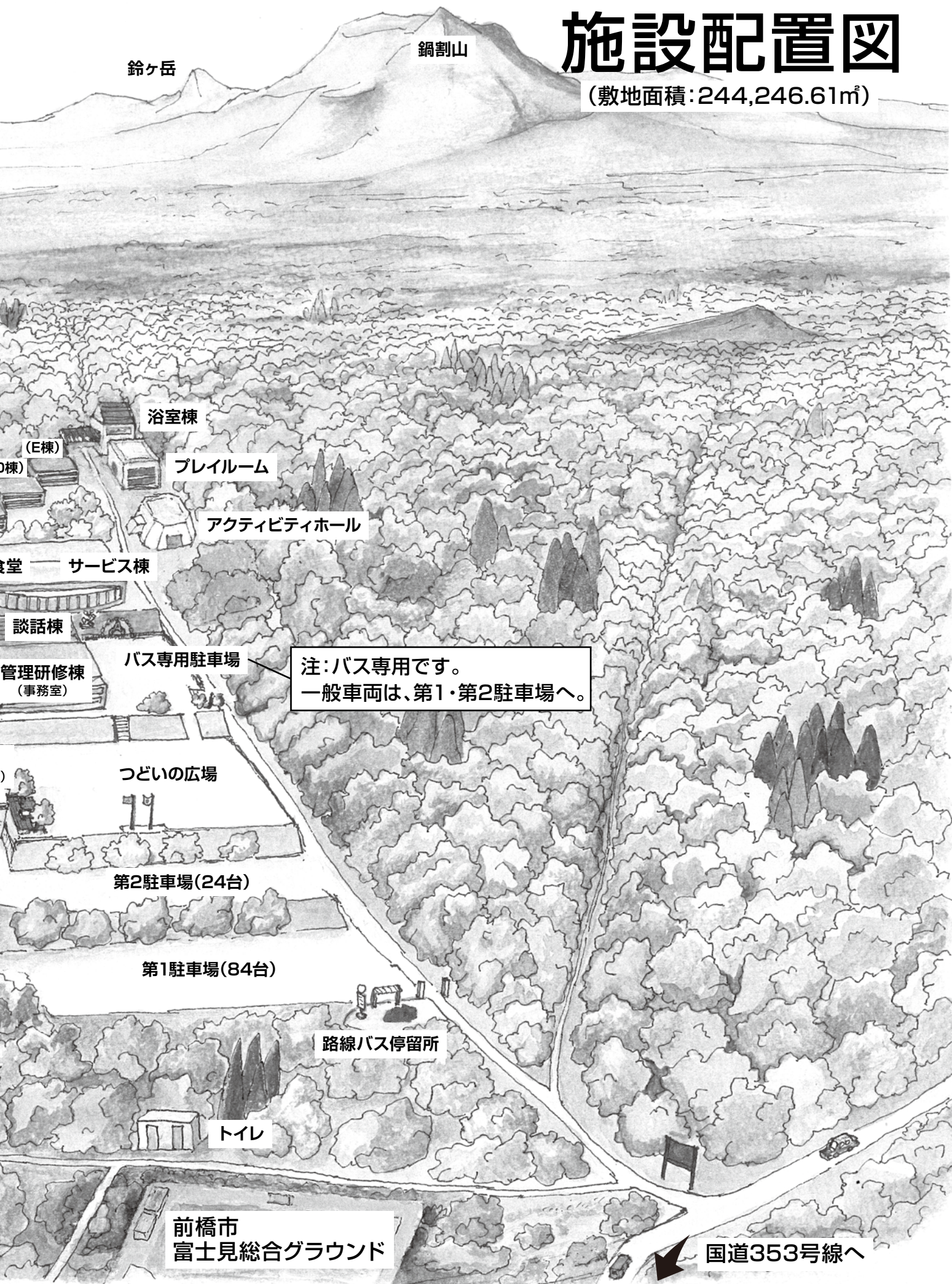
営火場

施設配置図

(敷地面積: 244,246.61㎡)

鈴ヶ岳

鍋割山



浴室棟

(E棟)

プレイルーム

アクティビティホール

サービス棟

談話棟

バス専用駐車場

注: バス専用です。
一般車両は、第1・第2駐車場へ。

つどいの広場

第2駐車場(24台)

第1駐車場(84台)

路線バス停留所

トイレ

前橋市
富士見総合グラウンド

国道353号線へ

施設利用ガイドブック 目次

・施設配置図

・目次

国立赤城青少年交流の家について 1

1 申し込みの前に

(1)はじめにお読みください 2

(2)赤城の周辺情報 3

2 利用の申し込み

(1)申し込み期間 4

(2)申し込みから利用当日までの流れ 4

(3)利用日までの留意事項 5

3 入所から退所まで

(1)入所 6

・到着・受付・オリエンテーション

・食堂売店・シーツ受取・入室

(2)研修 7

・標準生活時間

・設備や備品

(3)宿泊 8

・代表者会議・タベのつどい・食事・入浴・消灯

・起床・朝のつどい

(4)退所 9

・整理・整頓・清掃・シーツ返却・退所点検

・カギの返却・料金の精算・退所手続き

(5)料金の精算 10

・支払先・方法

(6)宿泊施設の使い方 11

・本館での宿泊・キャンプ場での宿泊

・テントサイト以外の設備と使い方

4 利用に際してのお願い

(1)健康管理・館内保健設備等 12

(2)近隣の医療機関・公共機関 12

(3)利用に際しての注意 13

①喫煙・飲酒

②冷暖房

③ゴミの処理

④車両駐車場

⑤利用者への電話・FAXの取り次ぎ

⑥郵便物・荷物の事前送付

⑦飲食物の持ち込み

⑧身体障害者補助犬・ペット

⑨施設・設備・備品等を壊した場合

(4)添乗員やバス運転手の施設利用 15

5 その他の情報

(1)研修支援プログラム 16

(2)各種料金一覧 18

①宿泊にかかる料金

②食事にかかる料金

③売店で購入できる活動備品

④料金例

(3)貸出備品一覧 20

(4)研修施設の概要 22

(5)施設マップ 23

①本館配置マップ

②あかぎアドベンチャーエリア配置マップ

③非常時の避難経路

6 プログラム紹介 26

1「プログラム紹介」の使い方 27

2 プログラムを実施するまでの手続き 28

3 全体日程を企画するには 29

4 プログラム一覧表 30

5 各プログラムの紹介 31

6 安全基準 56

7 服装・持ち物について 57

8 プログラム指導のしかた(野外炊事編) 59

9 プログラム指導のしかた(キャンプファイヤー編) 60

10 教科等に関連付けた体験活動プログラム(例) 62

7 よくある質問 72

8 国立赤城青少年交流の家利用細則 74

9 提出書類一覧 77

・2ヶ月前までに事務室に提出

①活動計画書1(様式1)

活動計画書2(様式2)

・飲酒許可申請書兼許可書(様式9)

・1ヶ月前までに食堂に提出

②教材申込書(様式5)

③食事申込書(様式3)

④食物アレルギー事前確認票(様式4)

・当日入所受付時に提出

⑤利用者名簿(宿泊者用)(様式6)

⑥利用者名簿(日帰り利用者用)(様式7)

⑦利用団体票(表)(様式8)

⑧利用団体票(裏)

・キャンセル決定後すぐに

・利用取消連絡票(様式10)



国立赤城青少年交流の家について

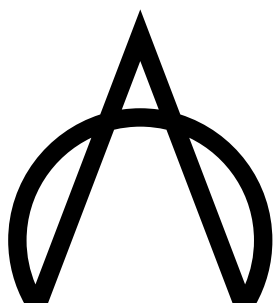
国立赤城青少年交流の家は、昭和 45 年 4 月に全国 7 番目の国立青年の家、「国立赤城青年の家」として誕生しました。(昭和 46 年 4 月開所)

国の中央省庁等改革により平成 18 年 4 月に「独立行政法人国立青少年教育振興機構」に移管され、「国立赤城青少年交流の家」となりました。

当所は赤城山の南麓、標高約 530m にあります。赤城山は群馬県内では上毛三山（赤城山、榛名山、妙義山）の一つとして県民に親しまれ、全国的にも百名山の一つとして多くの人が季節を問わず訪れる人気の山です。その赤城山南麓に広がる森林に囲まれた 244,246.61㎡の広い敷地に多種多様な施設・設備を有し、眼下には関東平野が首都圏まで見渡せ、県内の榛名山や妙義山をはじめ多くの山々、遠くは八ヶ岳から秩父連山等の山々、そして富士山も望むことができます。

当所は、豊かな大自然の中、体験の場と交流の場を提供し、青少年の体験活動の充実に努めています。また、青少年の健やかな成長にとって、体験がいかに重要であるかを広く家庭や社会に伝えています。

所章



△ は、赤城の山と、交流の「家」をかたどり、同時に青少年の向上心を表す。

A は Akagi の A である。
○ は、赤城の地から展望した首都圏を意味するとともに、青少年たちの友情に満ちた連帯と和を示す。

マスコットキャラクター「ササビー」



お掃除



お辞儀



読書



手洗い

ムササビの特徴を残しつつ、愛嬌があり親しみやすいフォルムを考えた。服装はアウトドアをイメージ。色は赤城の「赤」(見た目がきつくなならないように朱色)、青少年と空の「青」、自然豊かな「緑」と、アクセントとして赤城山のレンゲツツジの色(体と同系色になってしまうため黄色寄り、太陽もイメージ)を使用。コンセプトは「好奇心旺盛で野外活動が大好きな子」。趣味はからっ風に吹かれながら山の上を滑空することや、山でお気に入りの木の実を見つけて葉っぱで作ったポーチにコレクションすること。

(デザイン: 箕輪 茜さん/マスコットキャラクター「ササビー」新イラスト募集で最優秀賞/2018年)

1 申し込みの前に

(1) はじめにお読みください

特徴

国立赤城青少年交流の家は、青少年を主対象とした研修施設です。いくつかのきまりをご理解いただいた上でご利用いただいています。

- ①利用申し込み、入所から退所までの日程及び活動内容や活動場所などについては、当所の職員と相談しながら決定していきます。
→ P4 を参照。
- ②標準生活時間が設定されており、利用上のきまりやお願いがあります。当所での活動は、この標準生活時間やきまりをふまえて、計画するようお願いいたします。この標準生活時間にあわせた活動ができない場合には、ご利用をお断りすることもあります。
→ P7 を参照。
- ③準備や片づけ、清掃などは利用者自身が行うセルフサービスとなります。
→ P8～9 を参照。

利用できる団体

- ①成人の引率者がいて、あらかじめ具体的な研修計画を持った団体であること。
主に学校、教育関係の施設や団体、青少年を対象とした活動を行う団体、地域などの団体やサークル、官公庁、企業、ファミリーなどの団体が利用しています。
 - ②1 団体における最少利用人数や最大宿泊定員などは以下の通りです。

<1 団体における最少利用人数 >	2 名	
< 最大宿泊定員 >	・本館	: 400 名
	・谷のキャンプ場	: 48 名 (常設 8 人テント×6 サイト)

※持ち込みテントでの宿泊も可能です。事前に相談してください。
 - ③以下に当てはまる団体はご利用できません。
 - ・政治的活動、宗教的活動、営利目的の活動、反社会的な活動をする団体
- ※当所のきまりに反する行為や他の利用者に迷惑の及ぶ行為があった場合は、退所をお願いしたりその後の利用をお断りしたりすることもあります。

休館日

当所は以下のとおり、休館日を定めています。

- < 休館日 > ・年末・年始：12 月 28 日～1 月 4 日 (※ 12 月 27 日の宿泊および 28 日の日帰りの活動は可能)
- ・施設・設備の整備日：年間で 24 日程度
- ・天災・その他のやむを得ない事情があるとき
- < キャンプ場閉鎖期間 > ・11 月 1 日～4 月 30 日

利用形態と活動プログラム

利用には『宿泊利用』と『日帰り利用』の2種類の形態があり申し込み開始の期日が異なります。なお、当所は研修施設ですので宿泊のみの利用は受け付けていません。

- 指 導 型 < 指 > 直接指導プログラム・・・有料講師を依頼する活動プログラム。
 ↑ ↓
 < 選 > 選択指導プログラム・・・希望に応じて有料講師を依頼できる活動プログラム、有料講師を依頼しない場合は < 自 > に準じる。
 自 主 型 < 自 > 自主型活動プログラム・・・団体が自ら実施する活動プログラム。

※雨天プログラムも設定します
 活動については → P16～17 を参照。
 活動できる場所については → P22～24 を参照。

(2) 赤城の周辺情報 年間を通して野外で活動できます。



4月上旬はまだ肌寒いですが、中旬の桜の開花とともに少しずつ暖かさが増してきます。その後は新緑の美しい季節です。

おすすめの活動

3月でも十分に野外活動が楽しめます。5～7月の新緑の頃は野外活動がおすすめです。例年鍋割山は4月中旬、黒檜山・地藏岳は5月連休まで雪が残っていることがあるため、事前の下見が必要です。



前橋市街地と比較すると気温は少し下がりますが、暑い日が続きます。この時期は夕立と雷に注意してください。近年特に猛暑日が続くことがありますので、十分な熱中症対策をお願いします。

おすすめの活動

赤城山での地藏岳などへの登山や覚満淵へのハイキングなどが涼しくておすすめです。



9月は残暑が続きます。赤城山山頂は10月頃から、施設のある赤城山中腹では11月中旬頃から紅葉が見頃となります。

おすすめの活動

11月は寒い日もありますが、虫も少なく動きやすいので野外での活動に最も適しています。天候も安定しているので、大変おすすめです。



赤城おろしの冷たい風（からっ風）が吹き、寒い日が続きます。施設付近で雪が積もることはあまりありませんが、寒さ対策は必要です。

おすすめの活動

星空観察などが特におすすめです。防寒対策を行えば野外での活動も可能です。



前橋市の気温・湿度（2018年の平均値 / 気象庁のデータより）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均気温	3.5	3.8	10.2	15.8	19.7	22.8	28.8	27.9	22.3	18.1	12.9	6.8
最高気温	16.1	15.5	25.3	30.5	30.8	35.9	39.0	39.1	33.2	31.4	23.3	19.6
最低気温	-5.4	-4.5	0.4	3.6	8.1	14.1	18.7	15.6	14.2	7.6	2.6	-3.2
平均湿度	54	53	54	56	62	71	74	73	74	68	62	57

※観測地点は市街地ですので交流の家の地点では2・3度低い気温でお考えください。

月別「日の出」時刻

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
各月1日	6:55	6:45	6:15	5:31	4:51	4:27	4:29	4:50	5:15	5:38	6:06	6:36
各月15日	6:55	6:32	5:55	5:11	4:38	4:25	4:37	5:01	5:26	5:50	6:20	6:47

月別「日の入」時刻

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
各月1日	16:39	17:09	17:38	18:05	18:31	18:56	19:06	18:50	18:13	17:28	16:48	16:29
各月15日	16:52	17:24	17:51	18:17	18:43	19:03	19:02	18:35	17:52	17:08	16:36	16:30

※日の出・日の入は国立天文台の2018年のデータです。

2 利用の申し込み

(1) 申し込み期間

利用人数・利用形態	受付開始時期	申込期限
10名以上の団体	2020年度利用受付 10月1日 10:00～	原則 利用日の1ヶ月前 ※ただし、施設利用の制限を承諾 していただければ、以 降も受け付けます。
	2019年度利用受付 随時受付中	
9名以下の団体	3ヶ月前より	
日帰りの団体	2ヶ月前より	利用日の前日

※当所を利用した学校団体（小・中・高・特別支援学校）については、上記とは別に次年度の「先行予約」を行っています。

(2) 申し込みから利用当日までの流れ（□：申し込み、提出等） （○：団体受け取り）

利用の申し込み



書類の提出

※提出書類はすべてHPからダウンロードできます。



書類の受け取り

□希望日の空き状況をHP等であらかじめ確認してください。

□HPまたは電話で申し込んでください。
※仮予約はございません。

○FAXか郵便で「内定通知書」が届きます。

□2ヶ月前までに「活動計画書（1・2）」をFAX又は郵送で事務室に提出してください。（必要に応じて「飲酒許可申請書兼許可書」も）
（P79・81・83）

□クラフト等のプログラムで材料の購入が必要な場合は、
1ヶ月前までに「教材申込書」をFAX又は郵送で食堂に提出してください。（P85）

□1ヶ月前までに「食事申込書」、「食物アレルギー事前確認票」（該当者のみ）をFAX又は郵送で食堂に提出してください。（P87・89）

○FAXまたは郵便で「利用承諾書」が届きます。
・利用区分により宿泊施設使用料（宿泊料）が変わります。

○宿舍割が届きます。
・部屋数が足りているか確認してください。
・宿舍の定員は、本館配置マップ（P23）で確認してください。

○ご利用の3週間前に日程表が届きます。
・活動の内容、会場が間違いないか確認してください。
・食事や入浴の時間は、予め調整しますが、
利用期間中に行われる代表者会議で、相談させていただくことがあります。

○指導料金のかかる活動を行う場合は、この他に関係書類が届きます。
・活動によっては団体と担当講師との事前の電話打ち合わせが必要です。
（活動の2週間前までにお願いします。）

※活動内容、会場及び宿泊場所は、希望が重複することがあります。
ご利用3週間前に調整の上、決定させていただきます。

(3) 利用日までの留意事項

<p>準備について</p>	<p>○引率者全員で、活動内容や使用会場の把握をお願いします。 ※必要に応じて、団体内で事前学習を行ってください。 ※下見及び事前の打ち合わせをお勧めしております。 希望される場合は、あらかじめ電話で連絡してください（予約制です）。</p> <p>○施設利用ガイドブックをよくお読みになって、利用者全員に施設の使い方やきまりについて周知してください。 ※不明な点がある場合は気軽に相談してください。</p>
<p>相談について</p>	<p>○当所の職員と、プログラムの時間や会場について相談します。 ※他団体と時間や会場が重複した場合は、調整の後決定します。 ゆずりあいの精神を持って、調整に協力してください。</p> <p>○活動の目的に沿って、当所の職員がアドバイスをいたします。 ※こんな時にも気軽に相談してください。 ・自分達の目的を達成するには、どんなプログラムを行えばいいのかわからない。 ・プログラムの所要時間や必要物品について不安だ。 ・プログラムの進行の仕方がわからない。</p>
<p>変更が生じた場合</p>	<p>○利用人数、活動内容に変更が生じた場合は、すでに提出されている活動計画書（P79・81）に変更を書き入れ、変更箇所が分かるようにして再度提出してください。 ※他団体の宿舎や活動場所に影響が出る場合、希望に添えないことがあります。</p> <p>○宿泊人数の変更→国立赤城青少年交流の家（027-289-7224） ○食数の変更→食堂業者（027-288-3333）に連絡してください。 ※食事の変更期限：本館食・お弁当の場合は、利用前日の16時まで 野外炊事食材・特別注文品は、利用7日前の16時まで ※変更期限を過ぎての変更は出来ません。変更期限を過ぎますと、お申し込みいただいている食数分をお支払いいただくこととなります。 ※キャンセルの場合、キャンセル料が発生することがあります。</p>
<p>キャンセル について</p>	<p>○やむを得ず利用を取り消す場合は、当所に電話で連絡の後、「利用取消連絡票」（P95）に必要事項を記入の上、FAX または郵送してください。 ※送っていただいた書面をもって、正式なキャンセルの手続きをさせていただきます。</p> <p>※大幅な人数の変更、正当な理由がない直前のキャンセル等については以降の利用をお断りすることがあります。（P75「利用細則」第13条参照）</p>
<p>身体の不自由な方 ご利用の場合</p>	<p>○身体の不自由な方のご利用の際には、配慮いたします。 予約の際に申し出てください。</p>
<p>アレルギー 対応について</p>	<p>○基本的に7大アレルギー（卵、牛乳、小麦、そば、落花生、えび、かに）で対応しています。食堂に直接相談してください。 食堂・売店 TEL 027-288-3333（7：20～17：00）</p>
<p>保険について</p>	<p>○活動中のケガや事故などのリスクに備えて、あらかじめ国内旅行保険等に加入しておくことをお勧めします。</p>

3 入所から退所まで

(1) 入所

到着・受付
(9:00～16:00)

- 研修担当者が事務室にて受付をします。(20分程度)
 - ・9:00～16:00の間に入所できるようにしてください。
 - ・担当者の方が先に入所して受付を済ませておくともスムーズです。

- 受付では**3種類**の書類を提出します。

- ①**利用承諾書**：事前に送付されます。日程や利用区分を確認します。
- ②**利用団体票**：人数を確認するために使用します。
- ③**利用者名簿**：宿泊する全ての方の名前を確認するために使用します。
 - ・②、③は当日記入することもできますが、事前に用意していただくとも時間短縮できます。HPからダウンロードすることができます。
 - ・急な人数の増減など、変更や訂正は手書きで結構です。

- 下記の確認をします。

- ①日程と活動場所、特定研修活動(有料講師)の有無などを確認します。
- ②**宿舍割**を確認し、鍵を渡します。
- ③**支払い方法**を確認し、手続きについて説明します。

オリエンテーション
(施設の使い方の説明)

- 引率の先生や大人の方、バスの乗務員さんなどを含めた『宿泊する全ての方』**が対象です。

- ・オリエンテーションと入所の手続きは並行して行うことができます。
- ・事前に動画をご覧いただければ当所でのオリエンテーションを省略できます。
- ・**当所では、入所式は特に設定しておりません。**団体独自の入所式で当所の職員の出席や挨拶が必要な場合は事前に事務室へ相談してください。

食堂売店
(営業時間 7:20～19:00)

- 事務室での受付後すみやかに**食堂の売店でも受付**をおこない、下記の項目について確認します。

- ・**支払いの方法** …P10(5)「料金の精算」を参照。
- ・**食数・宿泊者数**…受付で確認した人数を報告してください。
- ・**シーツ使用組数**…利用期間中に使用するシーツの数を報告してください。

- ⑨ 受付終了後、すみやかにお願いします。

シーツ受取・入室

- リネン室**でシーツを受け取り、入室します。

- ・シーツの受け取りは19:00までをお願いします。
- ・宿泊棟用のシーツはサービス棟1階、寝袋用シーツはセンター棟のリネン室に用意してあります。
- ・宿泊用の荷物を置くなど、入室がシーツ受け取りよりも先になってもかまいません。

宿泊棟・谷のキャンプ場・・・10:00以降に入室可能

(2) 研修

標準生活時間

当所では標準生活時間を設定しております。
活動計画はこの標準生活時間をふまえて作成してください。
みなさんが気持ちよく生活するために、
時間を守って過ごしてください。

6:00	起床・寝具整理・洗面・清掃
7:00～7:15	朝のつどい(司会/旗2本/ラジオ体操)
7:20～9:00	朝食 ※退所日の朝8:45～退所点検
9:00～12:00	午前の活動時間
12:00～13:30	昼食
13:30～16:30	午後の活動時間
16:30～16:45	代表者会議
17:00～17:15	夕べのつどい(司会/旗2本/挨拶)
17:30～19:00	夕食
19:00～22:00	夜の活動時間(屋外は、～21:00)
～23:00	片付け・就寝

注意事項

- ◆入退所可能時間
9:00～16:00
- ◆研修可能時間
開始…9:00～
終了…21:00(屋外)
22:00(屋内)
- ◆入浴時間
17:30～
代表者会議で決定し
た時間まで

設備や備品

○消耗品

- ・活動に必要な消耗品は各団体に事前に準備してください。
＜例＞筆記用具、接着剤、マジック、のり、セロテープなど研修で使用するもの。
ライター、新聞紙、洗剤、トランシーバー用の電池、ライン用石灰など野外炊事や登山、
スポーツ等で使用するもの。

○備品

- ・当所で貸し出している備品についてはP20・21「貸出備品一覧」を参照してください。

○貴重品の管理

- ・**コインロッカーが管理研修棟1階トイレの前に**あります。(使用後100円硬貨が戻るタイプ。サイズ(cm):たて30×よこ24×奥行43。12個使用可)
紛失や盗難等については、当所では責任を負いかねます。
研修担当者の方は貴重品の管理を徹底してください。

○洗濯…洗濯機6台(無料)とガス乾燥機2台(15分100円)

- ・場所：**プレイルーム1階**
- ・時間：6:30～21:30
洗剤は持参してください。食堂売店でも購入できます。
次の方のために洗濯、乾燥が終了した方は、速やかに中身を取り出してください。

○パソコン使用

- ・貸出用のパソコン、プリンターはありません。使用する場合は持参してください。
- (1) インターネット環境
研修での利用に限り、管理研修棟でWi-Fiが利用できます(無料)。事務室へ申請してください。
パスワードをお渡しします。LANケーブル使用での有線接続も可能です。
- (2) コピー
食堂売店でコピーできます。(有料：A4・B5サイズ1枚10円、A3・B4サイズ1枚20円)

(3) 宿泊

代表者会議
16:30 開始

夕べのつどい
17:00 開始

目的

- ◆規則正しい生活をおくる
 - ◆他団体の様子を知る
(互いに尊重し合い、思いやりの心を)
 - ◆団体間の交流
 - ◆当所からの連絡
 - ◆各団体の健康観察
 - ◆1日の活動のふりかえり など
- ※朝のつどいも同様

食 事
最大 250 席

< 食堂の営業時間 >

朝食 7:20 ~ 9:00
昼食 12:00 ~ 13:30
夕食 17:30 ~ 19:00

入 浴

入浴時間
17:30 ~
代表者会議で決定した時間まで

消灯・起床

消灯時刻 23:00
起床時刻 6:00

朝のつどい
7:00 開始

□管理研修棟 1 階 講師ロビーで行います。

- ・団体の代表者又は研修担当者、もしくはそれに代わる方が必ず出席してください。
- 内容

- ①顔合わせ (各団体の研修担当者と当所の宿直・警備担当)
- ②団体状況の確認 (宿泊者数・健康状態など)
- ③つどいの役割分担 (司会進行・国旗と所旗の掲揚 / 降納)
- ④当所からの連絡
- ⑤食事・入浴時間の確認

□晴天時：つどいの広場・雨天時 & 冬期：体育館

左記の目的で実施しています。研修の一環として、宿泊される方全員で参加してください。なお、野外炊事など研修の都合上どうしても参加できない場合は、事前に了承を得てください。

□各団体の皆様に役割をお願いしています。

< 各団体で分担する役割 >

- ・司会進行 …全体の中から 1 名
- ・国旗と所旗の降納…全体の中から各 2 名
- ・団体代表挨拶 …各団体 1 名

- ・各団体より代表挨拶をしていただきます。代表を 1 名決めておいてください。
- ・希望があれば団体旗の掲揚・降納ができます。旗の管理は各団体でお願いします。(つどいの広場で行う場合のみ)

□食堂で食事する場合

- ・終了時には退席できるよう、時間にゆとりを持って食堂に入ってください。
- ・利用者が多い場合は、小さな子供たち、障がいのある方、退所する団体を優先したり、開始時間を早めたりする場合があります。

< お願い >

- ・**食中毒防止**…食事の前に必ず手洗いをお願いします。また、食物の持ち込み・飲食物の持ち出しは禁止です。
- ・**アレルギー**…アレルギー表については、HP で確認してください。代替食などの個別対応が必要な場合は必ず食堂に相談してください。
- ・**ゆずり合い**…席を詰めて座る・食べ終わったら席をゆずる、など多くの人が利用できるよう、ご協力をお願いします。
- ・**セルフ方式**…食べきれない分だけ取るようにしてください。食後はテーブルを拭くなど、片付けをお願いします。

- ・利用団体ごとに時間を割り振らせていただきますので、入浴開始・終了の時間を守って、お互いにゆずりあって入浴してください。
- ・入浴終了 (浴室棟施設) 時間は、利用人数等の状況で異なりますので、当日の代表者会議で決定します。
- ・終了時には入口は施設され、清掃がはじまります。時間に余裕をもって入浴・退室してください。

□消灯時刻・起床時刻を守ってください。

- ・**23:00 ~ 6:00 の間は活動ができません。**お部屋で静かに過ごしてください。
- ・多くの方が利用しています。お互いに気持ちよく生活できるよう時間厳守をお願いします。
- ・安全のため、夜間は建物の出入口を施設します。22:00 以降は外出しないでください。
- ・緊急の場合は下記へ連絡してください。
8:00 ~ 17:00 事務室 < 内線 224 >
17:00 ~ 8:00 事務室または宿直室 < 内線 227 >

□晴天時：つどいの広場・雨天時：体育館

< 各団体で分担する役割 >

- ・司会進行…全体の中から 1 名
- ・国旗と所旗の掲揚…全体の中から各 2 名
- ・ラジオ体操係…各団体数名

(4) 退所

整理・整頓・清掃

(来た時よりも美しく)



シーツ返却



退所点検
8:45 開始



カギの返却
9:30 まで



料金の精算



退所手続き
16:00 まで

- 寝具の整理整頓**をしてください。
 - ・宿泊室の**掲示写真**、または HP の「ご利用方法」-「施設利用ガイドブック」-しおりに使えるデータバンク (4) 寝具の扱い方と片づけ方を参照。
- 宿泊棟 (キャンプ場) を**清掃**し、出たゴミは退所点検担当の職員に渡してください。
 - ・宿泊棟の掃除方法について …HP の「ご利用方法」-「施設利用ガイドブック」-しおりに使えるデータバンク (5) そうじの仕方を参照。
 - ・ゴミの分別方法などについて…P13「ゴミの処理」を参照。
- 荷物を**指定場所**に移動してください。
 - ・退室後の荷物置き場を事前に指定します。
- 使用したシーツを**リネン室**に返却します。
 - ・部屋でまとめてリネン室の返却ワゴンの中に入れてください。
 - ・シーツと枕カバーはそれぞれ別々のワゴンに返却します。
 - ・鼻血等で布団やシーツが汚れてしまった場合は職員までお知らせください。
 - ・衛生管理のため、4泊以上される団体の方にはシーツの交換をさせていただきます。
- 退所日の朝には職員の点検を受けてください。
 - ・各フロア 1 名の引率者の方と各部屋 1 名以上の研修生の方の立ち会いをお願いします。
 - ・そうじで出たゴミは職員に渡してください。

< 退所点検の内容 >

- ① 宿泊棟 (キャンプ場) の**清掃**がされているか
- ② **寝具**は適切に片付けられているか
- ③ **忘れ物**はないか

- 宿泊棟のカギを事務室に返却します。
 - ・**団体**でまとめて返却をお願いします。
 - ※部屋のカギは開けておいてください。
- 食事代やシーツ代などを精算してください。
 - ・詳細は P10「料金の精算」を参照。
 - ・請求書発行時間：退所日の 8:45 ~ 16:00
- 受付時にお渡しした以下の 3 点を提出してください。
 - ① **リーダーファイル**
 - ② **利用団体代表者アンケート**
 - ③ **疾病処置報告書**
 - ・②、③は事前に記入してください。③は該当者がいない場合でも「該当者なし」ということがわかるよう、「0 名」などと記入してください。

当所では、退所式は特に設定しておりません。団体独自の退所式で当所の職員の出席や挨拶が必要な場合は事前に事務室へ相談してください。

◎表彰制度について

当所では、ご利用いただいた団体の善行に対する表彰を行っています。

表彰基準

- ① 当所職員が推薦した場合
 - ② 利用団体引率者の方から申告していただいた場合
- が対象となります。どちらも退所式や退所する際に賞状をお渡しします。

(5) 料金の精算

大変お手数ですが、支払先が異なるため精算方法が下記の2種類になります。
支払方法とあわせて確認してください。

料金の精算方法

- ・食事料金
- ・野外炊事料金
- ・活動備品料金
(キャンプファイヤー薪代、竹とんぼ材料費など)

支払先：食堂業者

入所後、「食堂売店」に支払い方法を伝えてください。

①現金支払

食堂の売店窓口で支払ってください。
手数料はかかりません。

②銀行振込

期日までに食堂業者の口座へ振込んでください。
振込手数料は利用者負担となります。

※銀行振込・コンビニ払込の場合のお支払い期限は、請求日（請求書発行日）から起算して30日目となっております。早目の納入をお願いいたします。

- ・シーツ等洗濯代
- ・特定研修活動指導料 (AAP 有料講師など)
- ・宿泊施設使用料
- ・有料宿泊施設使用料
- ・リーダー浴室使用料
- ・ゴミ (初日持参弁当容器・残飯) 処分料

支払先：国立青少年教育振興機構

退所日に請求書を「事務室」で受け取ってください。

請求書発行時間

退所日の8:45～16:00

①現金支払

食堂の売店窓口で支払ってください。(売店が集金代行業務を行っています)
手数料はかかりません。

②銀行振込

期日までに国立青少年教育振興機構の口座へ振込んでください。
振込手数料は利用者負担となります。

③コンビニ払込 (取扱限度額 30万円)

期日までに近くのコンビニエンスストアで払込んでください。
取扱手数料 (1件100円) は利用者負担となります。

※各種料金について…詳細は P18・19「各種料金一覧」を参照。

※請求書の分割について…請求書を分割して発行することができます。

<対応が可能なもの>

例 1) 児童生徒と職員、添乗員やカメラマンなど、それぞれのシーツ代を別々で処理したい。

2) シーツ代と特定研修活動指導料 (キャンプファイヤーの講師代など) を分けてほしい。

注意：銀行振込やコンビニ払込の場合、請求書1枚ごとに「手数料」が発生します。

カメラマン1名分のシーツ代など、合計金額の低いものは現金支払をおすすめします。

現金支払の場合、請求書を分割しなくても、領収書の分割が可能です。

<対応できないもの>

例 1) 食事代とシーツ代を一緒にしてほしい。

2) 8,000円の指導料を5,000円と3,000円にするなど、特定研修活動指導料を分割したい。

注意：支払先が違うものをまとめたり、1つの項目を分割したりすることはできません。

◆お願い◆

団体の会計担当の方は P94「利用団体票(裏)」を参考に、来所前に支払方法を検討しておいてください。

(6) 宿泊施設の使い方

本館での宿泊



宿泊棟の使い方について

- ・原則、男女で使用するフロアーが分かります。
(トイレ設備及び安全管理の都合上、男性が2階、女性が3階です。)
- ・宿泊室での飲食は禁止です。虫が発生する原因になります。体育館前の談話棟と各棟2階東の談話室を利用してください。(ただし、熱中症対策の水分補給は除く。)
- ・館内は全面禁煙です。喫煙される場合は指定の場所をお願いします。(P23 本館配置マップ参照)
※健康増進法の改正により変更する場合があります。
- ・貴重品の管理は団体でお願いします。部屋を離れるときは施錠してください。管理研修棟1階のロッカーも利用できます。
- ・利用している棟やフロアー以外への出入りは遠慮してください。

キャンプ場での宿泊



キャンプ場の生活について (整備状況により変更する場合があります。)

キャンプ場開設期間：5月1日～10月31日

キャンプ場定員：48名(谷のキャンプ場に常設8人用テント6張)

寝袋：貸出用あり。

シーツ：貸出用の寝袋を使用する場合のみ利用します。1枚160円。使用後はセンター棟リネン室に返却してください。

時間：夜間の活動は21:00までに終了してください。

諸注意：

- ・地震や雷、台風、暴風など危険と思われる場合は、宿泊場所の変更(センター棟研修室等への避難)をお願いすることがあります。
- ・敷地内の喫煙は、林野火災の恐れがあるため厳禁です。(喫煙指定場所：センター棟北端を除く)
※健康増進法の改正により変更する場合があります。
- ・火気の使用は、炊事用かまどや備え付けのかまど、コンロまたは許可を受けた道具を使い、**野外炊事場・センター棟周辺での使用に限らせていただきます。**
- ・食中毒防止のため、食材の持ち込みは禁止しております。必要な食材は、食堂へ注文してください。
- ・食事の準備・片付け等については、「野外炊事の留意事項」を参照して、きちんと行ってください。最終日の退所点検の際には、なべ点検(鉄板点検)やゴミの処理状況の点検も行います。
- ・持ち込んだ物から出たゴミはすべて持ち帰ってください。ゴミ庫へ出せるのは食堂で購入した物のゴミのみです。
- ・ケガなどにそなえて、薬や防虫スプレーなど、医薬品や救急用具は十分な準備をお願いします。



キャンプ場の安全やマナーについて

- ・消灯時刻の後、起床時刻の前は静かに過ごしてください。
- ・夜間のトイレの使用は複数で行くようにしてください。**足もとを照らすライト(ヘッドランプ)を準備してください。**
- ・夜間は野生動物が近くに來ることもあります。食料や生ゴミなどは野生動物を呼び込む可能性があるため、テント内や近くに置かないでください。
- ・センター棟裏に緊急車両の駐車が可能です。**1団体1台限定**で許可証を発行しますので、事務室へ申し出てください。



シャワーについて ※キャンプ場宿泊の方も、本館の浴場を使うことができます。

- ・場所：センター棟シャワー室 南側7ヶ所 北側7ヶ所(うち車イス対応1ヶ所)
- ・期間：5月1日～10月31日
- ・時間：6:00～23:00
- ・注意事項：宿泊の方が優先です。日帰り利用の方は遠慮していただくこともあります。
利用の際には、事務室でカギを受け取ってください。
タンクのお湯は、一度にたくさん使うと出なくなります。節約して使ってください。
石鹸やシャンプーなどはありません。利用する場合は団体で準備してください。
利用後は必ず清掃を行ってください。

テントサイト以外の設備と使い方



炊事場やトイレなどについて

《しらさぎ炊事場》

- ・定員約80名の野外炊事場(雨天でも実施可能) ・トイレ(冬季は凍結防止のため、原則閉鎖しています)

《センター棟》

- ・洗い場2カ所(蛇口は各18個、車イス対応シンク有) ・車イス対応トイレ
- ・研修室(約50人収容・エアコン完備) ・AED ・冷蔵冷凍庫

《屋根付き広場》

- ・定員200名の野外炊事場(雨天でも実施可能)
- 雨天時は、炊事以外の活動でも使用可能です。ただし、地面が削れるような活動は遠慮してください。車両進入禁止です。

4 利用に際してのお願い

(1) 健康管理・館内保健設備等



① 事前準備と利用中の保健指導

- 法律に則り医薬品の提供は行っておりません。団体や参加者自身であらかじめ準備してください。
- 食物アレルギーのある参加者がいる場合は、食堂へ直接相談してください。
- 体調不良者の発生を防ぐため、健康な状態での参加を促してください。
- 来所中は、参加者の健康調査や保健指導を行い、ケガや病気の有無を代表者会議にて報告してください。
※熱中症が心配される時期には、活動中のこまめな水分補給と休養を徹底してください。
※感染症が心配される時期には、定期的な手洗い・うがいを実施してください。



② 負傷事故や疾病が発生した場合の対処 (事務室 TEL:027-289-7224 (昼) 7227 (夜) 内線 昼8時-17時:224 夜17時-8時:227)

- 緊急の場合は、すぐに救急車を呼び、事務室に連絡してください。
- 応急処置を行うとともに事務室に連絡してください。
- 引率者(研修担当・保健担当)が付き添い、事務室へ来てください。
- 静養室で静養していただくか、必要に応じて医療機関等の情報提供を行います。
- 感染症(インフルエンザやノロウイルスなど)が疑われる場合は、直ちに医療機関を受診してください。



③ 医療機関を受診する場合

- 受診に必要な準備(保険証・金銭・付添い・移送準備など)をしてください。
- 医療機関への移送は、団体の担当者が付添い、団体の用意した車で行ってください。
※タクシー手配の連絡先を案内することもできます。事務室へ相談してください。
- 医療機関からの帰所後、受診結果を事務室へ報告してください。
※集団生活が困難な場合には、速やかに帰宅の手配をお願いします。
※感染症、またはその疑いがある場合は、感染拡大を防ぐために、退所していただきます。



④ 保健設備等

管理研修棟 1階ロビー	AED(自動体外式除細動器)1台・車イス1台
保健室	ベッド1床・担架・松葉杖・副木・氷のう・氷枕・製氷機
静養室	ベッド3床・ストレッチャー

- ※AED(自動体外式除細動器)は、他に食堂前・浴室棟・センター棟の3ヶ所にもあります。
- ※担架はセンター棟にもあります。

(2) 近隣の医療機関・公共機関

- ・近隣の病院まで、車で15分、前橋市街地の病院へは30分以上かかります。
- ・市街地の5病院は救急24時間受付可。受診前に電話で問い合わせてください。

病院等	前橋市 富士見町	相澤医院	呼吸器・胃腸	TEL 027-288-6806	原之郷 734-3
		あべクリニック	内・外・胃腸・整形・肛門	TEL 027-288-9511	原之郷 940-1
		五十嵐医院(女医も)	内・小児・肛門	TEL 027-288-2026	原之郷 295-1
		梅枝内科医院	内	TEL 027-288-7250	原之郷 660-5
		堺堀整形外科医院	整形・リウマチ・リハビリ	TEL 027-260-5125	時沢 2051-4
		ささき整形外科	整形	TEL 027-288-2006	小暮 867
		武田クリニック	内・小児・アレルギー	TEL 027-226-1114	時沢 1869-1
		つくも内科医院	内・呼吸器・アレルギー(～20時)	TEL 027-230-5085	原之郷 450-4
	富士見内科小児科	内・小児	TEL 027-288-2210	田島 410-1	
	市街地	前橋広域消防本部 救急病院等 案内(24時間対応)		TEL 027-221-0099	朝日町 4-22-2
前橋市夜間急病診療所 内・小児(20～24時)		TEL 027-243-5111	朝日町 4-9-5		
前橋赤十字病院		TEL 027-265-3333	朝倉町 389-1		
群馬大学医学部附属病院		TEL 027-220-7111	昭和町 3-39-15		
群馬中央病院		TEL 027-221-8165	紅雲町 1-7-13		
群馬県済生会前橋病院		TEL 027-252-6011	上新田町 564-1		
老年病研究所附属病院		TEL 027-253-3311	大友町 3-26-8		
その他	富士見町	前橋警察署 小暮駐在所	TEL 027-288-2048	富士見町小暮 305-1	
	市街地	前橋市消防局 北消防署(白川分署)	TEL 027-288-2719	富士見町小沢 191-1	
		前橋市消防局	TEL 027-220-4500	朝日町 4-22-2	
		前橋市保健所	TEL 027-220-5781	朝日町 3-36-17	

注:総合病院では、紹介状がないと通常の医療費の他に料金がかかる場合があります。受診前に電話で問い合わせの際にご確認ください。

(3) 利用に際しての注意

① 喫煙・飲酒

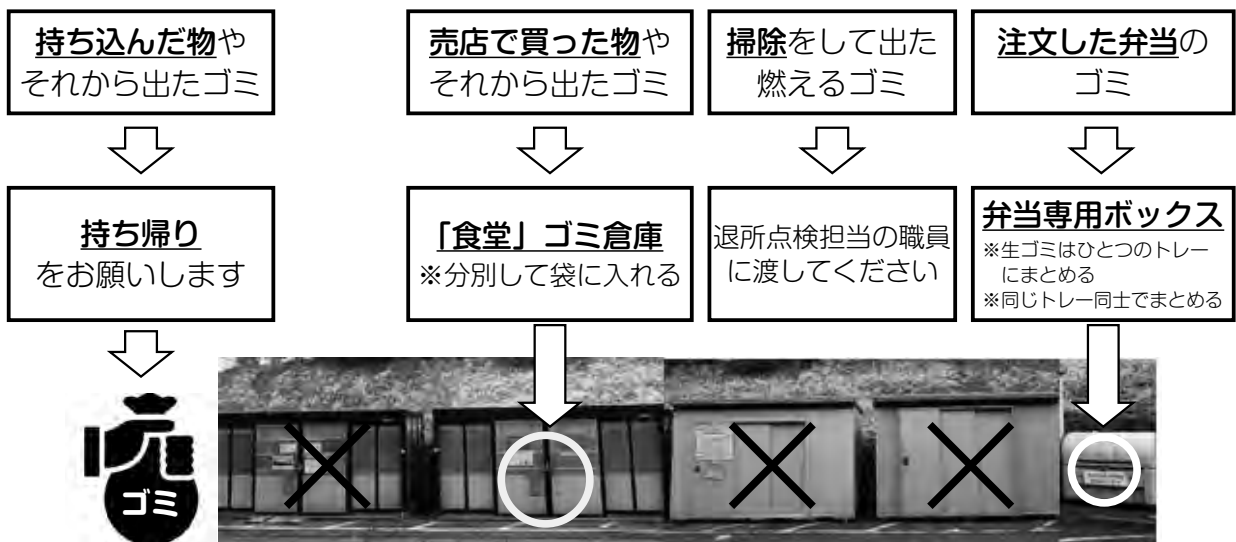
- 【喫煙】 指定場所以外は禁煙です。(指定場所は P23 「本館配置マップ」参照)
施設内だけでなく、野外(敷地内外)での喫煙も、林野火災の恐れがあるため、厳禁です。
※健康増進法の改正により変更する場合があります。入所前にご確認ください。
- 【飲酒】 個人での飲酒は禁止です。懇親会等で飲酒を希望する場合は、必ず事前に相談し、「飲酒許可申請書兼許可書」を提出してください。(飲酒できる時間・場所は限られております。)
※お酒・つまみ等の持ち込み不可。食堂で購入できます。
- ※時間内・指定場所であっても、他団体のプログラムの関係で飲酒できない場合があります。
※他団体の迷惑となる行為があった場合、その場で退所していただくこともあります。

② 冷暖房

- 冷暖房の運転期間は下記のとおりです。
- 【夏期】 7月第3土曜日 ～ 8月31日 (27℃設定)
【冬期】 11月1日 ～ 4月20日 (20℃設定)
- ※事務室にて冷暖房の集中管理をしています。天候、気候の状況により柔軟に対応しますので、冷暖房の運転操作については、事務室まで相談してください。
- ※消し忘れ防止のため自動停止があります。(冷房 7:00、9:00、13:30、17:30、暖房 9:00、13:30、17:30) 使用を続ける場合はスイッチを入れなおして(ONにして)ください。
- ※冬季は大変冷え込みますので、室内で羽織れる服やひざかけなどを用意してください。
- ※冬季の体育館・武道場・講堂には灯油ストーブを設置しています。

③ ゴミの処理

- 環境への配慮からゴミの分別、減量化に協力してください。
※ゴミ倉庫の場所はリネン室のわきのドアを出て右手です。(P23を参照。)



- 初日に持参したお弁当の容器等の処分が有料でできます。
45ℓゴミ袋1枚につき300円(ゴミ処分料)にて処分できます。(要分別)
- ※①生ゴミ
②燃えるゴミ(ビニール・プラ容器、紙類など)
③ペットボトル(ラベルやキャップを分ける必要はありません)
- ※請求書の発行可

④ 車両駐車場

- 一般車は玄関前のバス専用駐車場への駐車はできません。第1・第2駐車場への駐車をお願いします。
※本館前には、障がい者専用の駐車場があります。事務室で「駐車許可書」を受け取ってください。
※駐車スペースに限りがありますので、できるだけ乗り合わせて来所してください。

⑤ 利用者への電話・FAXの取り次ぎ

- 緊急時以外の電話・FAXの取り次ぎはしていません。
- 研修担当者は、携帯電話番号などの緊急連絡先を利用者やその家族などに周知してください。

⑥ 郵便物・荷物の事前送付

- 利用団体宛て郵便物（信書）は原則として受け取りができません。
- 当所宛に荷物を送付する際は、必ず事前に電話連絡をしてください。
- 荷物の宛名には、「国立赤城青少年交流の家・利用団体名・団体代表者名・利用日」を明記してください。
- 団体名の明記がないもの、着払い、料金不足、生もの、貴重品は受け取りができません。
- 当施設からの発送は、食堂売店にて可能です。（着払いのみ）
- 荷物のお渡しは原則9：00 - 17：00です。
レンタカーのカギの預かりはしていません。業者から直接、受け取りができるようにしてください。

⑦ 飲食物の持ち込み

- 食中毒防止のため、食物（野外炊事用含む）の持ち込みや、食堂からの持ち出しは禁止です。
- アルコール以外の飲料持参は可能です。（P72 よくある質問参照）

⑧ 身体障害者補助犬・ペット

- 盲導犬、介助犬及び聴導犬を同伴される方は、事前に連絡してください。
- ペットを伴っての入所はできません。

⑨ 施設・設備・備品等を壊した場合

- 原則として、弁償していただきます。当所の施設・設備・備品等を破損したときは、すぐに事務室に報告してください。
- カギや熊よけ鈴等の備品を紛失した場合も弁償していただきます。

(4) 添乗員やバス運転手の施設利用

- 当所に宿泊する添乗員や運転手も、団体の宿泊者数に加えて申し込んでください。
- 添乗員や運転手の方へも、必ずこのページの内容を知らせてください。

● 利用団体代表の方へ

- 添乗員等の人数を加えて団体の宿泊・食事数の申し込みをしてください。
※添乗員等のアレルギーの有無の確認、**団体が野外炊事の時の添乗員等の食事の確認**をお願いします。
- ※請求書は、分割して宛名を変えることができます。
- ※**添乗員等の宿泊室も退所点検を行います**。添乗員本人か、団体の代表者が立ち会ってください。
- ※緊急避難時は、添乗員等も一緒に行動し、避難場所で利用者名簿により点呼をしてください。

● 当所に宿泊する添乗員や運転手の方へ

- ※国立赤城青少年交流の家は、青少年を主対象とした**研修施設**です。
食事の配膳や寝具の準備・片づけ、清掃なども自分で行うなど、生活体験もプログラムとして考えている「**社会教育施設**」であることを理解してください。
- 添乗員や運転手も、同行した団体として登録させていただきます。**
- 食事・宿泊については、**団体を通して申し込んでください。**
※料金の請求書及び領収書は分割することが可能です。利用団体の代表の方へ相談してください。
- 入所時に、同行団体と一緒に、入所オリエンテーションを受けてください。
- 宿泊室のカギは、団体の代表の方から受け取り、最終日の9:30までに団体の代表の方へ返してください。
- シーツは、リネン室の利用団体名の表示がある棚から、一人シーツ2枚・枕カバー1枚をお持ちください。お帰りの際は、ただんでリネン室の返却カゴへ戻してください。
- 宿泊に必要な持ち物（タオル、洗面用具等）は各自で用意してください。
- 宿泊室や研修室、野外では禁煙**です。喫煙は指定の場所をお願いします。
- 個人での飲酒は禁止**です。
- ゴミは持ち帰ってください。売店で買った物については売店に相談してください。
- 食事・入浴は、団体と同じ時間をお願いします。
- 宿泊室内では飲食できません。談話室を使ってください。談話室での**飲酒は禁止**です。
- 退所日の朝8:45から、宿泊室の点検があります。時間までに荷物の整理と清掃をお願いします。

※**点検は宿泊者本人か、団体の代表者が必ず立ち会ってください。**

5 その他の情報

(1) 研修支援プログラム

指 導 型 <指> 直接指導プログラム・・・有料講師を依頼する活動プログラム
 ↑ ↓
 <選> 選択指導プログラム・・・希望に応じて有料講師を依頼できる活動プログラム、有料講師を依頼しない場合は<自>に準じる
 自 主 型 <自> 自主型活動プログラム・・・団体が自ら実施する活動プログラム。

↓
 ↙ 有料講師の依頼が必要なプログラムは雨天時のみの対応ができません。

指 導	雨天時	活動名	指導料金 / 単位時間 (有料講師1名あたりの料金)	備考
< 野外活動 >				
		あかぎやま登山 以下の5コース		
選		┌ 鍋割山コース (約5～6時間)	15,400円 / 6時間	
		└ 鍋割山・荒山縦走コース (約8時間)	17,600円 / 8時間	
		┌ 地藏岳・覚満淵コース (約4時間)	15,400円 / 4時間	
		└ 黒檜山・駒ヶ岳コース (約6時間)	19,800円 / 6時間	
自		┌ 鷲山(うすらやま)コース(約90分～120分)		
自		オリエンテーリング		
自		アドベンチャーラリー		
選		キャンプファイヤー	6,600円 / 2時間	別途、薪代等が必要です。
自	○	たき火		薪代が必要です。
選	○	キャンドルファイヤー	6,600円 / 2時間	
自		ウォークラリー		
自		富士見ウォークラリー		
指	○	ネイチャーゲーム	8,000円 / 3時間 6,600円 / 2時間	昼間に実施する場合 夜間に実施する場合
自		グリーンアドベンチャー		
選	○	星空観察	6,000円 / 2時間	講師を依頼した場合は、雨天時はお話を聞く形になります。
指	○	あかぎ植物観察	6,000円 / 2時間	
自		ナイトウォーク		
< 仲間づくり >				
指	○	あかぎアドベンチャープログラム (AAP)	10,000円 / 3時間	2019年度より
選	○	レクリエーション	6,600円 / 2時間 8,000円 / 3時間	
自	○	館内ラリー		
自	○	館内フォトラリー		
自		グラウンドゴルフ (ニュースポーツ)		
自	○	クップ (ニュースポーツ)		
自	○	キンボール (ニュースポーツ)		
自		ディスクゴルフ (ニュースポーツ)		
< 食事づくり >				
自	○	野外炊事		自・指共に別途、食材費・薪代等が必要です。 食堂に食事申込書を提出してください。
指	○	野外炊事 (特別プログラム:火おこし、おつきりこみ、防災食)	8,000円 / 3時間	
指	○	野外炊事 (ドラム缶ピザ & ポトフ)	8,000円 / 3時間	
指	○	うどん打ち	8,000円 / 3時間	

指導	雨天時	活動名	指導料金 / 単位時間	備考
<ものづくり>			(有料講師1名あたりの料金)	
指	<input type="radio"/>	凧づくり	8,000 円 /3 時間	別途、材料費が必要です。 直接有料講師に問い合わせてください。
指	<input type="radio"/>	土笛・オカリナ	8,000 円 /3 時間	
指	<input type="radio"/>	陶芸	8,000 円 /3 時間	
指	<input type="radio"/>	七宝焼	8,000 円 /3 時間	
指	<input type="radio"/>	てん刻	8,000 円 /3 時間	
指	<input type="radio"/>	切り絵	8,000 円 /3 時間	
指	<input type="radio"/>	新聞紙であそぶ	8,000 円 /3 時間	
指	<input type="radio"/>	厚紙ブーメラン	8,000 円 /3 時間	
指	<input type="radio"/>	ドリームキャッチャー	8,000 円 /3 時間	
選	<input type="radio"/>	スーパー竹とんぼ	8,000 円 /3 時間	
自	<input type="radio"/>	くるくるタネ		
選	<input type="radio"/>	かな箸づくり	8,000 円 /3 時間	別途、材料費が必要です。 食堂に教材申込書を提出してください。
自	<input type="radio"/>	勾玉		
自	<input type="radio"/>	ミニサークルスタンド		
自	<input type="radio"/>	プラホルダー		
自	<input type="radio"/>	森のこびん		
自	<input type="radio"/>	押し花		
自	<input type="radio"/>			
<環境>				
指	<input type="radio"/>	森のパワーをさがしてみよう	8,000 円 /3 時間	
<その他>				
自		テニス・ソフトボール サッカー・ラグビー（ゴールポスト有）		野外スポーツ
自	<input type="radio"/>	バレーボール・バスケットボール・卓球 バドミントン・ソフトバレーボール フットサル・綱引き・長縄跳び 柔道・剣道・空手などの武道 インディアカ・ドッジビー・キンボール		屋内スポーツ
自	<input type="radio"/>	ボランティア活動 (屋内外の清掃・整備・下草刈りなど)		
自	<input type="radio"/>	講演会・研究集会（講堂などを利用）		
自	<input type="radio"/>	学習活動・研修会（研修室などを利用）		

・プログラムの直接指導を依頼する場合は、P81 活動計画書 2 の【有料講師】の欄の「有」に○をつけてください。

- ・対応可能人数や概要などは、P26～P71「プログラム紹介」のページ参照。
- ・施設を使つての自主活動（上記以外の活動）は、職員に相談してください。
- ・使用する用具・備品で貸し出せるものについては P20・P21「貸出備品一覧」を参照。
- ・事前に貸出希望備品の有無や使用の可否を問いあわせてください。

※ 2019 年 10 月 1 日より消費税が改定された際には、料金の見直しを行う予定です。

(2) 各種料金一覧 (※消費税含む)

※2019年10月1日より消費税が改定された際には、料金の見直しを行う予定ですので、HPで確認して下さいませうお願いします。

① 宿泊にかかる料金

□ シーツ等洗濯代

・本館 300円 ・キャンプ場 160円 (寝袋を借りた場合のみ)

※長期宿泊の場合、3泊ごとに4日目からシーツを交換します。(交換ごとにシーツ等洗濯代がかかります)

□ 宿泊施設使用料 (宿泊料)

・青少年区分の団体 無料
・一般区分の団体 一人1泊につき800円

※団体区分がわからない場合は問い合わせてください。

※活動場所に使用料は発生しません。(研修室や体育館など屋内施設、キャンプ場や屋根付き広場など屋外施設)

○ ゲストルーム (旧講師室 1~4) 使用料 (原則として1団体1室)

・一人1泊 1,200円 (別途、シーツ等洗濯代300円がかかります)

○ ゲストハウス (旧ボランティア棟) 使用料 (1団体貸切)

・一人1泊 800円 (別途、シーツ等洗濯代300円がかかります)

○ 特別講師棟 (旧特別研修棟講師棟) 使用料 (1団体貸切)

・一人1泊 1,600円 (別途、シーツ等洗濯代300円がかかります)

○ リーダー浴室 (1・2) 使用料

・1室1時間 1,000円 (利用時間8:30~21:30)

・使用後、床そうじとゴミの処理をお願いします。

※それぞれ事前予約が必要です。

② 食事にかかる料金

□ 本館食

	朝 食	昼 食	夕 食	合 計
中学生以上	440円	540円	660円	1,640円
小学生	430円	530円	640円	1,600円
幼児 (3歳以上)	350円	430円	550円	1,330円

□ お弁当

・赤城弁当 (鮭照焼)・榛名弁当 (唐揚)・妙義弁当 (ハンバーグ) 3種類 (で6通り) 全て540円

※それぞれ幕の内弁当・おにぎり弁当をお選びいただけます。HPにお弁当の写真とアレルギー表を掲載しています。なお、おにぎり弁当は「子ども弁当 (おにぎり2つでおかず充実/同額)」にすることもできます。

※弁当袋は付いておりません。必要であれば前日までに売店へお申し出ください。

※飲み物も別途注文できます。

□ 野外炊事：既存メニュー

メニュー	内 容 基本は8人分 4人分だと1/2量	金 額
朝食用 ご飯セット <和食> 440円/1人当り	米(1,200g) インスタントみそ汁(8) コースハム(8) ウインナー(8)、味付けのり(8) 切り干し漬(100g) しょうゆ、サラダ油	8人セット 3,520円
		4人セット 1,760円
朝食用 パンセット <洋食> 440円/1人当り	ロールパン(24) わかめスープ(8) ウインナー(24) ミニトマト(24)、きゅうり(2) オレンジジュース(1ℓ×2) ケチャップ・マヨネーズ(各8)	8人セット 3,520円
		4人セット 1,760円
カレー ライス 550円/1人当り	米(1,200g)、豚肉(300g) ジャガイモ(600g位) 人参(300g位)、玉ねぎ(800g位) カレールー(230g) 福神漬(1袋)、サラダ油	8人セット 4,400円
		4人セット 2,200円
ドラム缶 ピザ& ポトフ 555円/1人当り	強力粉(500g)、薄力粉(250g) ドライイースト(2) スティックシュガー(2) 塩(10g)、オリーブオイル (30ml)、打ち粉(70g)、 ピザソース(2)、ミニトマト (12)、黄ピーマン(1)、玉ね ぎ(1)、スイートコーン(120g)、 ウインナー(8)、ミックスチー ズ(320g)、キャベツ(1/2)、 ジャガイモ(4)、人参(1)、 ベーコン(2)、食塩(20g)、 チキンコンソメ(4)、胡椒(2g) など	8人セット 4,440円
		4人セット 2,220円

メニュー	内 容 基本は8人分 4人分だと1/2量	金 額
豚汁 & ご飯 420円/1人当り	米(1,200g)、豚肉(250g) 長ねぎ(1)、人参(1) 玉ねぎ(2)、ごぼう(1) 大根(1/2本) みそ(400g)、ごま油	8人セット 3,360円
		4人セット 1,680円
焼きそば & ゆかりご飯 680円/1人当り	米(1,200g)、ゆかり(8) 焼きそば(8)、豚肉(300g)、 キャベツ(1)、玉ねぎ(2)、 人参(1)、ピーマン(2)、 もやし(800g) 紅生姜(1)、 サラダ油	8人セット 5,440円
		4人セット 2,720円
バーベキュー 840円/1人当り	牛カルビ肉(640g) 豚ロース肉(640g) キャベツ(1)、玉ねぎ(2) ピーマン(4)、しいたけ(8) もやし(800g)、焼きそば(8) 焼肉のたれ、サラダ油	8人セット 6,720円
		4人セット 3,360円
うどん打ち	うどん粉(150g)、打ち粉(75g) 海老かきあげ(1) 野菜天ぷら(2) ※1人分の材料です。つゆと 薬味は食堂で用意します。	1人分 620円

※内容は時価により多少変更になることがあります。

※かまどを利用する場合は、別途薪代などがかります。

→ P19「③売店で購入できる活動備品」を参照。

※ご飯炊き上げは1人分80円(8人セットで640円)のプラスとなります。注文の際に「食事申込書」の記入欄に明記してください。

□ 野外炊事：自主メニュー

- ・自主的なメニュー構成で野外炊事を行う場合は、食材は食堂に注文してください。
- ・食材の注文は、食事申込書へ記入してください。→記入については、P86「食事申込書記入例」を参照。
- ・食材の持込は、食中毒防止のため原則お断りしています。→詳細は P14「⑦飲食物の持ち込み」を参照。

◆ 食事・野外炊事用食材等の〈食数の変更〉について

- ・食堂・お弁当：ご利用前日の 16 時まで
 - ・野外炊事用食材・特別注文品：ご利用する 7 日前の 16 時まで
- ※変更期限を過ぎますと、お申し込みいただいている食数分をお支払いいただくこととなります。
※キャンセルについては、キャンセル料が発生する場合があります。

③ 売店で購入できる活動備品

活動	備品	料金	活動	備品	料金	活動	備品	料金	
野外炊事	薪 (1 束)	420 円	キャン プ フ ア イ ヤ ー	ファイヤー薪 (1 束) (3~4 束で約 1 時間)	1,050 円	創作 活 動	押し花用色紙	110 円	
	木炭 (3kg)	630 円		トーチ棒セット (角材 1、針金 3、布 1)	210 円		スーパー竹とんぼキット	110 円	
	固形燃料 (20g 位)	20 円			灯油 (1ℓ)		110 円	ミニサークルステンド	320 円
	ぞうきん	110 円			焚き火用薪 (1 束)		420 円	勾玉 (まがたま)	350 円
	ふきん	160 円			アルミホイル (1 本)		180 円	くるくるタネ	410 円
	軍手	50 円			ローソク大 (1 本)		420 円	プラホルダーキット	250 円
	洗剤 (200ml)	210 円	ローソク小 (1 本)	30 円	森のこびん		210 円		
	クリームクレンザー (400g)	110 円	FAX 送信	B4 サイズ (1 枚)	200 円		かんな箸	150 円	
	スポンジたわし	150 円	コピー 1 枚	A4 サイズ (1 枚)	100 円		接着剤 (木工ボンド)	160 円	
	金たわし	150 円	コピー 1 枚	A4・B5 サイズ	10 円		瞬間接着剤 (2g30 人分)	320 円	
	電池 (単 1)	270 円	日常用品	A3・B4 サイズ	20 円		セロテープ	130 円	
	電池 (単 2)	210 円		スリッパ	250 円		のり	130 円	
	電池 (単 3)	160 円		ノート	110 円		その他	その他、氷(ロック・板)、ジュース、菓子、土産、タオル・歯ブラシ等の生活用品、アルコール類など。詳細は食堂売店へ。	
	電池 (単 4)	160 円							
野外活動	オリエンテーリング コースマップ	110 円							
	熊鈴	1,500 円							
	コンパス	2,200 円							

※ローソク大 (50 号 直径 3cm×長さ 32cm / 燃焼時間：約 20 時間)
※ローソク小 (3 号 直径 1.1cm×長さ 14.5cm / 燃焼時間：約 1 時間 40 分)

④ 料金例 (ア 青少年団体、イ 一般団体)

ア 大人 1 名・小学生 10 名 + 本館宿泊 1 泊 2 日 + 野外炊事 (バーベキュー)・本館食 (夕食 + 朝食) + AAP 有料講師 1 人

		青少年団体	
① 宿泊施設使用料	0 円		
② シーツ洗濯代	3,300 円 … 内訳 300 円 × 11 名 = 3,300 円		
③ 食費	22,720 円 … 内訳	大人夕食 660 円 + 大人朝食 440 円 × 1 名 = 1,100 円	
		小学生夕食 640 円 + 小学生朝食 430 円 × 10 名 = 10,700 円	
④ AAP 指導料	10,000 円	BBQ8 人セット × 1 6,720 円 + 4 人セット × 1 3,360 円 = 10,080 円	
合計	36,020 円	薪代 420 円 × 2 束 = 840 円	

イ 大人 10 名 + 本館宿泊 4 泊 5 日 + 本館食 (夕 4 回・朝 4 回・昼 3 回)

		一般団体	
① 宿泊施設使用料	32,000 円 … 内訳	800 円 × 10 名 × 4 泊 = 32,000 円	
② シーツ洗濯代	6,000 円 … 内訳	300 円 × 10 名 × 2 回 = 6,000 円	
	(4 泊目シーツ交換)		
③ 食費	60,200 円 … 内訳	大人夕食 660 円 × 10 名 × 4 回 = 26,400 円	
		大人朝食 440 円 × 10 名 × 4 回 = 17,600 円	
		大人昼食 540 円 × 10 名 × 3 回 = 16,200 円	
合計	98,200 円		

(3) 貸出備品一覧

・右端の数字が貸出可能な備品数です。
 ・消耗品は各団体で準備してください。(筆記用具、新聞紙、ライター、のり、電池など)

物品倉庫			
湯沸かしポット		8	
保温ポット		4	
ジャグ 9ℓサイズ		9	
湯呑セット (内急須なし1セット) 洗剤・スポンジは持参		5	
やかん		1	
カセットコンロ	カセットボンベが必要	11	
メジャー 100m		5	
マーカーコーン		29	
ゼッケン 黄色		28	
ゼッケン 青色		49	
ゼッケン 緑色		49	
ゼッケン 水色		50	
コンパス		80	
熊鈴		90	
懐中電灯 (大)	1ヶにつき単1電池×4本必要	8	
懐中電灯	1ヶにつき単1電池×2本必要	6	
星座早見盤		83	
双眼鏡		16	
クップセット		4	
フライングディスク		41	
ドッチビー		10	
Xロープ		5	
インディアカ		5	
ロケットボール		8	
キンボールセット		2	
バドミントンラケット		30	
シャトル		179	
テニスラケット		12	
テニスボール		270	
卓球ラケット		24	
卓球ボール		112	
卓球ネット		16	
野球グローブ		22	
野球ボール (軟式)		15	
水性マーカーセット		31	
基準時計 (電波受信式)		1	
ブルー倉庫			
ラグビー用ゴール (組)		1	
野球バット		10	
ベースセット		2	
ディスクゴルフターゲット		9	
グラウンドゴルフクラブ		50	
グラウンドゴルフボール		50	
グラウンドゴルフスタートマット		9	
グラウンドゴルフホールポスト		8	
カラーコーン		30	
コーンバー		5	
ハードル		9	
リレーバトン		9	
ラインカー	石灰が必要	4	
綱引きロープ		1	
ホワイト倉庫			
クップセット		2	
薪倉庫			
たき火台		10	
事務室周辺			
ホワイトボード		5	
スクリーン		4	
台車 (館内用)		4	

体育館倉庫		
バレーボール		10
ソフトバレーボール		3
ミニバレーボール		5
バレーボール支柱		4
バレーボールネット	クランクは事務室にあります	5
バレーボールアンテナ		9
バスケットボール		15
ミニバスケットボール		15
ミニバスケットボール用ゴール (組)		2
フットサルボール		10
フットサル用ゴール (組)		2
バドミントン支柱		6
バドミントンネット		10
ドッジボール		5
長縄 25m		3
長縄 10m		5
長縄 7m		2
綱引きロープ		2
卓球台		4
キャンドルファイヤー用燭台		1
カラーコーン		7
ミニカラーコーン		5

事務室		
延長ドラム		7
延長コード		5
ポータブルアンプ		5
有線マイク		4
DVD プレイヤー		4
CD カセットデッキ		4
PC スピーカー		3
トランシーバー	1ヶにつき単3電池×3本必要	8
雷探知機	1ヶにつき単4電池×2本必要	4
プロジェクター		8
スクリーン (3研・6研・7研・アクティビティホールは常設)		2
LAN ケーブル		7
拡声器		6
ホワイトボード用マーカーセット		8
チョークセット		3
テニス用クランク		2
バレーボール用クランク		2

クラフト用ロッカー (管理棟 2F)		
ハサミ (右利き)		84
ハサミ (左利き)		7
カッター		50
カッター板		50
ブラホルダー用オープン		2
ブラホルダー作成セット		1
押し花作成セット		1
竹ひきのこぎり		10
小刀		50
ニッパー		30
きり		50
棒やすり		30
スーパー竹とんぼ作成セット		80

※キャンドルファイヤー用燭台は、体育館倉庫 (ローソク立ての数: 27本)、アクティビティホール (ローソク立ての数: 17本)、剣道場 (ローソク立ての数: 11本)、講堂 (ローソク立ての数: 11本) に1台ずつあります。どの燭台もロウソクは7~8本程度あれば楽しめます。
 ※備品の予約はできません。

※野外活動時に必要に応じて

- ・熱中症対策セット 5セット
 (応急処置法の資料、補水液 OS-1 500ml × 2本、急冷剤 2個、タオル 1本)
- ・ミニハンドマイク (サイレン付) 9個

センター棟	
寝袋 (夏用)	106
毛布	84
電池式ランタン	1ヶにつき単3電池×4本必要 10
センター棟の野外炊事用備品	
火ばさみ	42
バケツ	22
シャベル	27
ほうき	32
寸胴鍋	15
大鍋 (たてなが)	3
大鍋 (よこなが)	4
コップ	53
やかん	12
まな板	62
包丁	61
マグカップ	276
計量カップ	27
缶切り	10
皮むき器	56
すりおろし器	3
はかり	2
鉄板	36
おたま	31
しゃもじ	31
さいばし	30
トング	40
ゴムべら	50
木べら	41
焼きそば用へら	28
泡立て器	20
ザル (大)	69
ザル (小)	15
すくいザル	7
ボウル (ステンレス)	37
どんぶり (青)	243
どんぶり (白)	59
どんぶり (茶)	37
小鉢 (白)	59
青平皿 (大) ※カレー用	239
青平皿 (小)	277
白平皿 (大)	66
白平皿 (小)	60
はし	235
スプーン	217
フォーク	100

生ごみ用ざる (プラスチック)	23
炊事用かまど	32
炊事用かまど (小)	10
ピザカッター	9
ピザ用焼き網	26
スクレーパー	63
のし棒 (長)	5
のし棒 (短)	11

あかぎプレイパーク	
電池式ランタン	1ヶにつき単1電池×4本必要 10

しらさぎ炊事場の野外炊事用備品	
火ばさみ	12
バケツ	10
シャベル	10
ほうき	10
コップ	20
マグカップ	80
シリコンへら	10
しゃもじ	10
計量カップ	10
さいばし	10
トング	10
はし	740
皮むき器	20
フライ返し	10
おたま	10
平皿 (大)	78
平皿 (小)	78
どんぶり	68
ボウル	10
ザル (大)	11
ザル (小)	11
まな板	20
鉄板	10
包丁	20
はかり	1
フォーク	80
スプーン	80
生ごみ用ざる (プラスチック)	10
生ごみ用バケツ	10

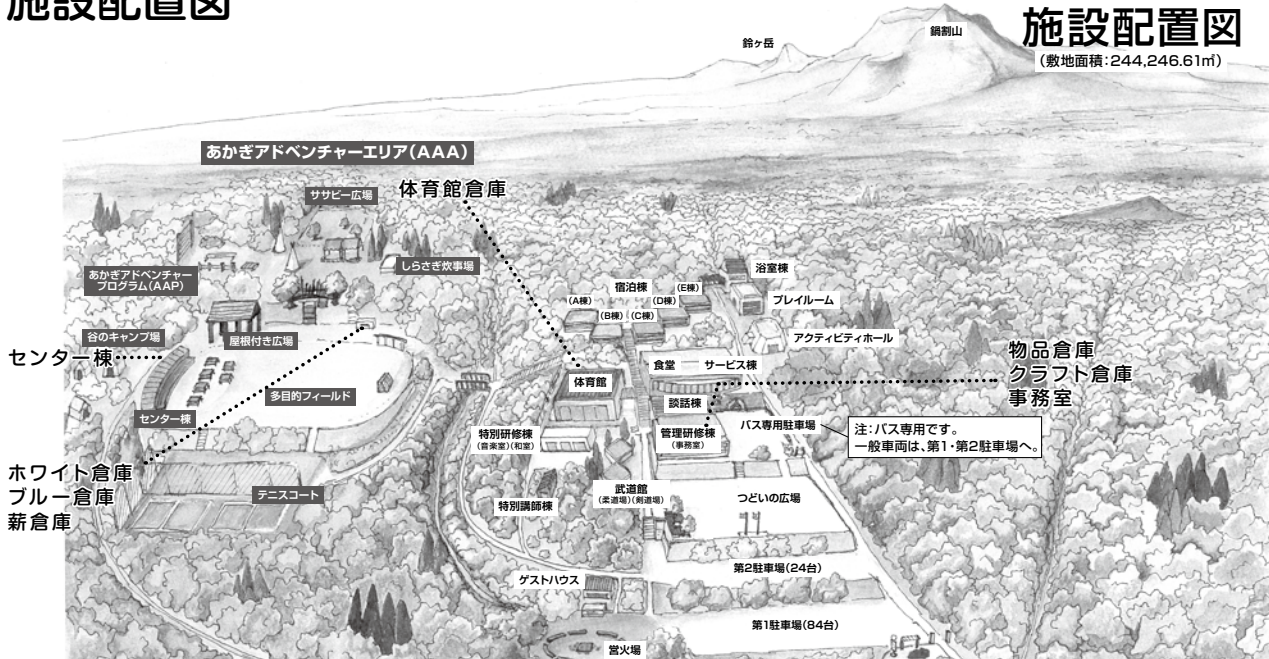
多目的フィールド	
少年用サッカーゴール (組)	2
大人用サッカーゴール (組)	1
ラグビーゴール (組)	1

施設配置図

※備品数は、変動する可能性があります。

施設配置図

(敷地面積: 244,246.61㎡)




(4) 研修施設の概要

※使用後は、必ず、清掃と備品の整理整頓をお願いします。

名称	収容人員	冷暖房の有無	主にできる活動	設備・備品等
管理研修棟1階	講堂	400人	F・S・C オリエンテーション 講演会、レク キャンドルファイヤー など	フローリング (16m × 16m)、イス、折りたたみ式長机、グランドピアノ、暗幕、燭台 (ローソク立 11本)
	ゲストルーム	4室	A 宿泊	シングルルーム (バス・トイレ付) × 4室 (有料P18参照)
	講師ロビー	10人程度	A 代表者会議	テーブル、ソファ
	保健室	1人	A —	ベッド1床、製氷機、担架、松葉杖、副木、体温計、氷枕、他保健用品
	静養室	3人	A —	ベッド3床、ストレッチャー
	荷物置き場	約200人分		荷物の一時保管
管理研修棟2階	第1研修室 第2研修室	81人	A・F 学習活動創作活動 など	長机27台、イス81脚、インターネット回線 ※第1研修室には暗幕あり。
	第3研修室	36人		長机12台、イス36脚、 インターネット回線、スクリーン
	第4研修室 第5研修室 第6研修室	42人		長机14台、イス42脚、インターネット回線(6研:スクリーン)
	第7研修室 第8研修室	36人		黒板、長机12台、イス36脚、インターネット回線 (7研:スクリーン)
	音楽室	120人		A・F 創作活動、学習活動 うどん打ち など
和室	50人	A・F 宿泊、茶道など	畳敷(15畳×2室)、畳敷(じゅうたん敷)(30畳)、座卓13台、 給排水設備、寝具20組	
アクティビティホール	200人	A・F レク キャンドルファイヤー など	じゅうたん敷き (17m × 17m)、電子ピアノ、長机38台、 イス105脚、ホワイトボード2台、燭台 (ローソク立17本)	
プレイルーム	乾燥室		—	陶芸・オカリナ・土笛などの作品専用の乾燥棚です。
	洗濯室		—	洗濯機6台、ガス乾燥機2台 (有料)、給排水設備
2Fプレイルーム	50人	A 創作活動 など	フローリング、座卓12台、座布団、DVD・ビデオデッキ、 テレビ、給排水設備、冷蔵庫、イス10脚ホワイトボード1台	
体育館	31m × 29m	S 各種スポーツ キャンドルファイヤー など	各種コート (バレー2面、バスケット2面、バドミントン6 面、フットサル1面、卓球台4台) 各種ゴール (ミニバスケット、 フットサルなど)、燭台 (ローソク立27本)	
武道館	剣道場	50人	F・S 剣道 キャンドルファイヤー など	試合場1面、長机9台、イス18脚、卓球台6台、 燭台 (ローソク立11本)
	柔道場	50人	F・S 柔道・空手 など	畳 (72畳)、イス10脚
談話棟	自動販売機 コーナー		A —	自動販売機、テーブル、イス、給排水設備
浴室棟	浴室棟	100人	A・F —	あかぎ (50人)、とね (50人)、かくまんぶち (車イス対応・ 2人)、自動販売機、AED・(リンスインシャンプー・ボディ ソープは備え付けてあります「ヤシノミ〜業務用」です)
サービス棟1F	なごみの間	42人	A 宿泊 など	壺、式 各21畳 (パーティション有)、寝具24組
	リーダー浴室		—	リーダー浴室① (定員3人)、リーダー浴室② (定員1人) (有料P18参照)
	リネン室		—	
サービス棟2F	食堂ホール	250席	A —	角テーブル25台、丸テーブル13台
	売店・ラウンジ		A —	活動備品・日用品・菓子類の販売、コピー機、FAX (送信の み)、宅配 (着払いのみ)、自動販売機、AED
宿泊棟	宿泊棟	400人	A・F 宿泊	宿泊室、リーダー室、サブリーダー室、談話室 (冷蔵庫あり)
営火場	営火場	100人	キャンプファイヤー	営火台
テニスコート	テニスコート		テニス・キャンプファイヤー	テニスコート2面 (オムニコート仕様)、営火台
多目的フィールド	多目的フィールド		各種スポーツ他 キャンプファイヤー (1カ所)	小学生用サッカーゴール2組、大人用サッカーゴール1組、 ラグビーゴールポスト1組、移動式営火台1
AAPコース	AAPコース		AAP	※AAP指導者がいる時のみ使用可能です。
谷のキャンプ場	谷のキャンプ場	48人	テント泊、野外炊事	常設8人用テント6張、空中回廊
しらすぎ炊事場	しらすぎ炊事場	80人	野外炊事	常設かまど (20基)、木製テーブル、木製イス、蛇口20個
屋根付き広場	屋根付き広場	約200人	野外炊事、AAP など	移動式かまど (大32基、小10基)、木製イス (長40脚・短40脚) 木製テーブル40 (内20はイス付)、蛇口36個 (北・南側各18個)
センター棟	センター棟		A・F (研修室) 創作活動 キャンプ場避難場所 など	研修室A・B (パーティション有)、車イス対応トイレ、男女 トイレ、食器保管庫、食材保管庫、リネン室、シャワー室、炊 事場2カ所、冷蔵庫、冷凍庫、製氷機、冷蔵冷凍庫、AED

机や椅子の数は最大数です。
通常時は2~6セットが
折りたたんであります。

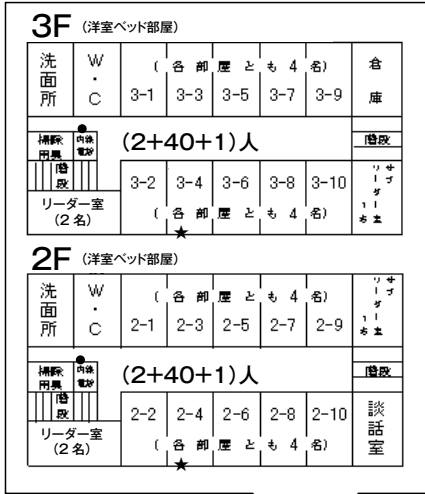
 … 飲食のできる部屋。自動販売機コーナー以外は懇親会などの会場としても利用可能。

A: エアコン、F: 扇風機、S: ストープ、C: 冷風機

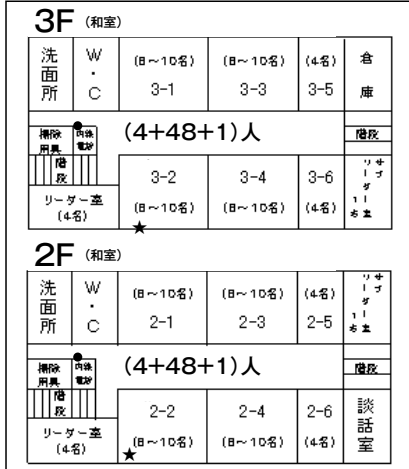
(5) 施設マップ

① 本館配置マップ

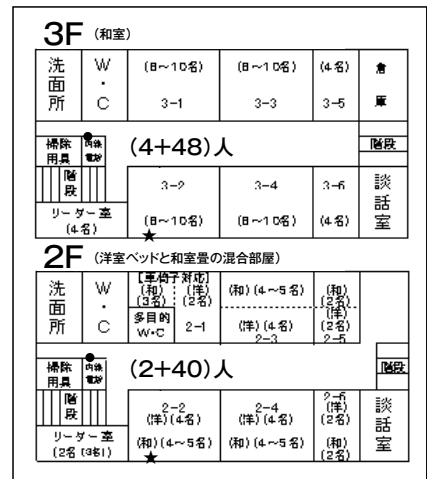
A・B棟 (定員 86人) ×2棟



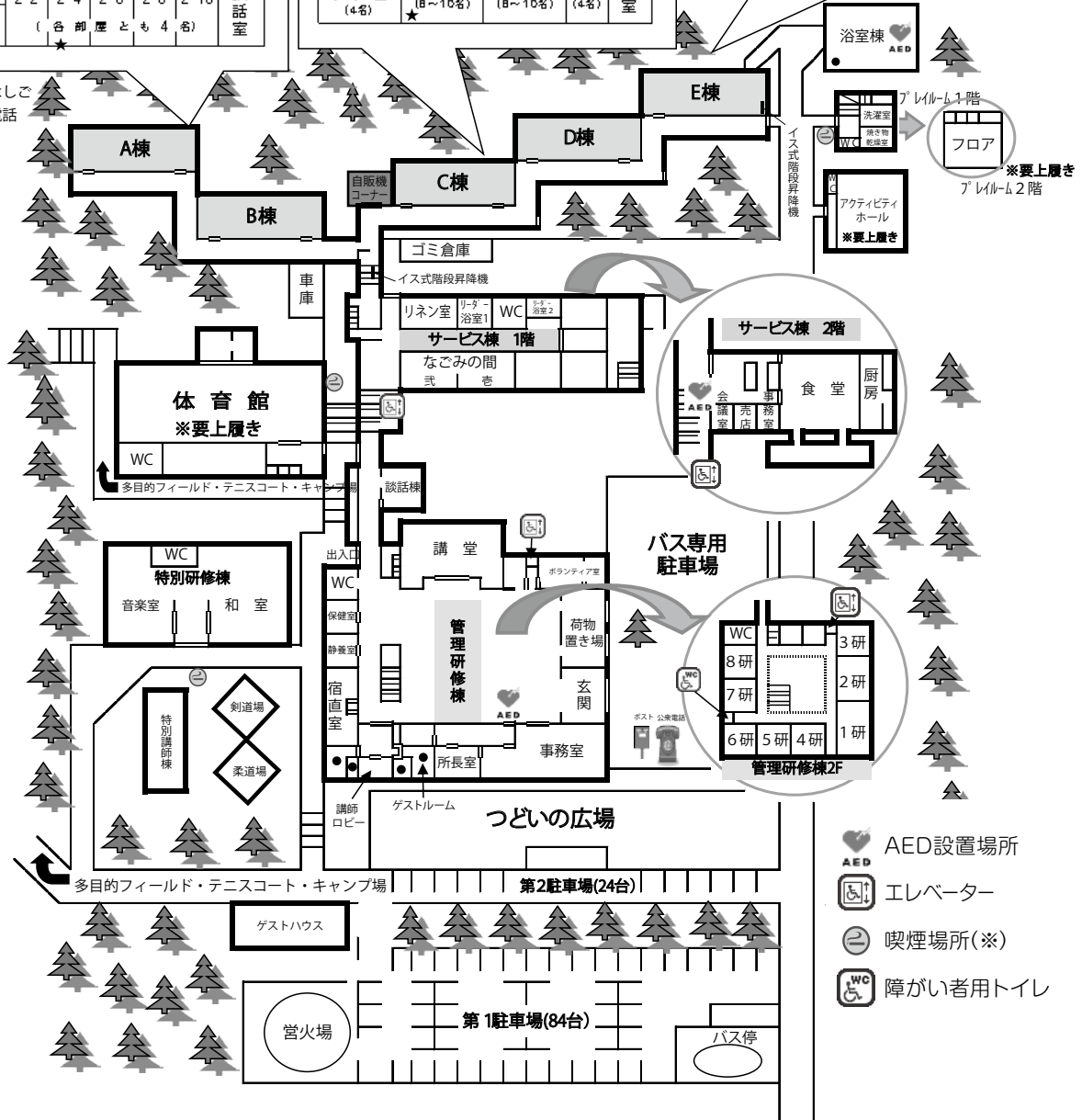
C・D棟 (定員 106人) ×2棟



E棟 (定員 94人)



★・・・避難はしご
●・・・内線電話

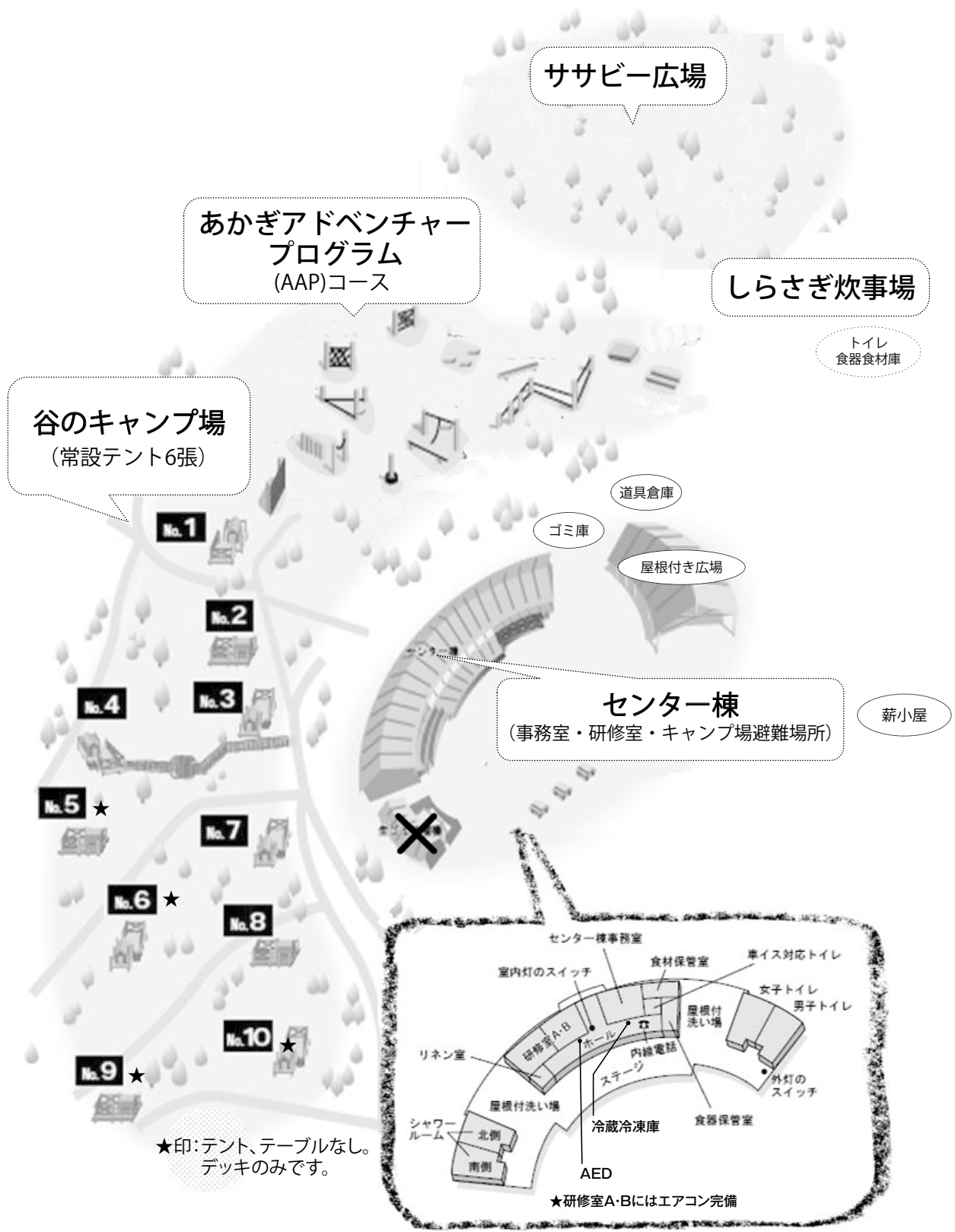


5 その他の情報
施設マップ

- ♥ AED設置場所
- ♿ エレベーター
- ☞ 喫煙場所(※)
- ♿ 障がい者用トイレ

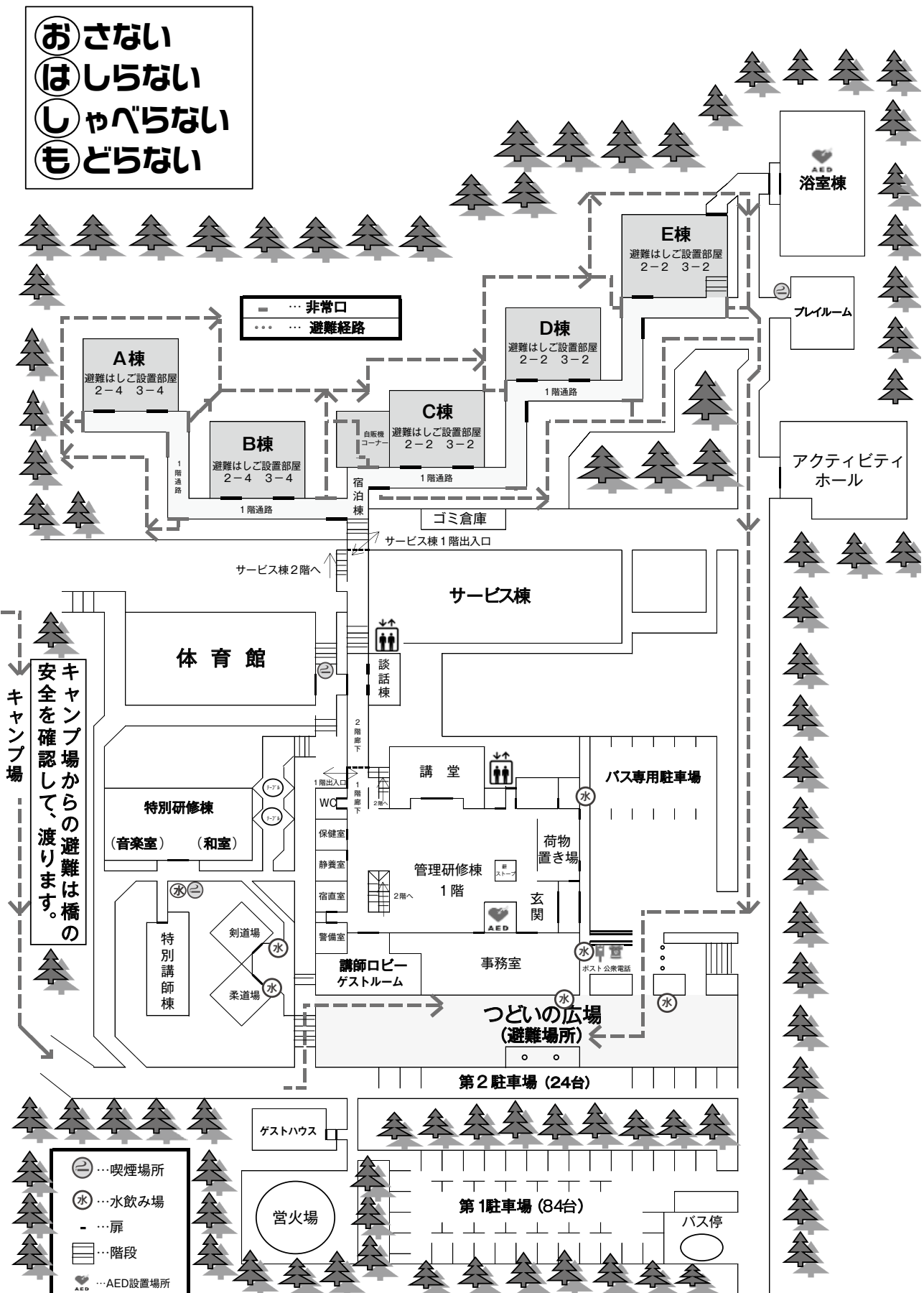
※健康増進法の改正により、喫煙場所は変更する場合があります。入所前にご確認ください。

②あかぎアドベンチャーエリア配置マップ



5 (5) 施設マップ
その他の情報

③ 非常時の避難経路（避難場所は「つどいの広場」）



5 その他の情報
(5) 施設マップ

6 プログラム紹介



目次

1 「プログラム紹介」の使い方 ……………	27	6 安全基準 ……………	56
2 プログラムを実施するまでの手続き ……	28	7 服装・持ち物について ……………	57～58
3 全体日程を企画するには ……………	29	8 プログラム指導のしかた (野外炊事編) ……………	59
4 プログラム一覧表 ……………	30	9 プログラム指導のしかた (キャンプファイヤー編) ……………	60～61
5 各プログラムの紹介 ……………	31	10 教科等に関連付けた 体験活動プログラム(例) ……	62～71
・野外活動 ……………	31～39		
・仲間づくり ……………	39～40		
・食事づくり ……………	40～41		
・ものづくり ……………	41～43		
・環境活動 ……………	44		
・周辺地域での活動 ……………	44～55		

1 「プログラム紹介」の使い方

このプログラム紹介は、国立赤城青少年交流の家、もしくはその周辺で行えるプログラムを収録したものです。この内容を参考に各団体での全体日程を企画してください。

各団体のねらいが達成できるよう、交流の家の職員が支援をさせていただきます。不明な点は遠慮なくご相談ください。参加者がこの赤城の自然のもと、すばらしい体験ができるようお手伝いいたします。



■プログラムの凡例

記号の説明

(指導)

- 指** 直接指導：講師がつくもの
- 自** 自主活動：各団体が自主的に行うもの
(希望に応じて職員からの助言・説明も可能)
- 選** 選択指導：講師ありと自主活動の選択ができるもの


(天候)

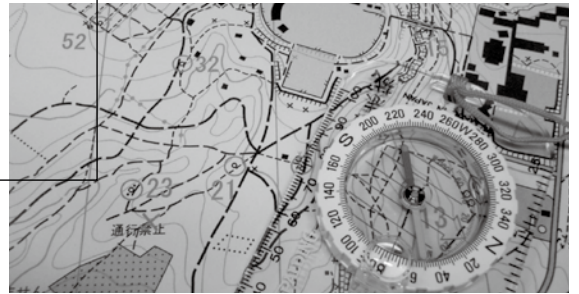
-  晴天でも雨天でも実施できるプログラム
-  晴天の場合のみ実施できるプログラム

項目の説明

- 【キーワード】…プログラムの特徴をキーワードで表記しています。
- 【適正人数】…プログラムに適した人数です。
- 【対象】…プログラムに適した対象者です。
- 【所要時間】…準備～片付けまでを含めた時間です。
- 【費用】…プログラム実施に必要な費用です。
- 【おもな会場】…基本的な会場です。プログラム相談で最終的に決定します。

2. オリエンテーリング

自  キーワード：地図読み、判断力、スポーツ



地図とコンパスを頼りに、周辺の森に点在するポストを探します。コースどりや地図の読みとりなど、グループで力をあわせて進みます。

- 適正人数：1グループ5人程度で実施、200人まで
- 費用：マップ代1枚110円(1グループで1枚)
- おもな会場：オリエンテーリングコース

西コース

- 対象：小学校高学年以上
- 所要時間：2時間

※マップは、食堂で購入してください。(コピー不可)
※マップは、全員に持たせるのが望ましい。

■国立赤城青少年交流の家での活動プログラムについて

こちらで実施する活動プログラムは、3つの区分に分かれています。

活動プログラム

自主活動

直接指導

利用者の方が実施するプログラムの総称です。すべての利用団体の方が事前に計画を提出していただきます。(活動計画書への記入)

国立赤城青少年交流の家で提供しているプログラム

この「プログラム紹介」に記載しているプログラムのことです。

講師を国立赤城青少年交流の家へ依頼するプログラム(直接指導)

講師料(正式名称:特定研修活動指導料)がかかります。

2 プログラムを実施するまでの手続き

～事前～

プログラムの相談「どんな活動をしようかな…?」

活動の計画段階での相談に応じます。電話でも見学時でも構いませんので、気軽に相談してください。

「活動計画書 1・2」(P79・81)の提出(2ヶ月前まで)

- ・「活動計画書 2」(P81)内の『活動内容』の欄へ希望プログラムを記入してください。
- ・プログラムの直接指導を依頼する場合は、【有料講師】の欄の『有』に○をつけてください。
- ・雨天時の計画も記入してください。

プログラム相談(2ヶ月前～1ヶ月前)

活動計画書をもとに、担当職員がプログラムを含め日程全体の調整・確認を行います(こちらから連絡いたします)。

【内容確定FAX】(3週間前)

最終的に決定した内容をFAXまたは郵送で送ります。
もっと早いタイミングで確定内容が必要な場合は遠慮なく問いあわせてください。

事前準備(3週間前～前日)

活動に必要な服装・持ち物(P57・58参照)は**必ず確認**し、準備してください。
ホームページから打ち合わせシートやプログラムマニュアルをダウンロードし、事前に内容を確認してください。
打ち合わせシートは必要箇所を記入し、当日持参してください。

《直接指導のプログラムを行う場合》

電話での打ち合わせ

担当講師と連絡をとり、実施2週間前までには打ち合わせをお願いします。
(連絡先は、【内容確定FAX】時にお伝えします)

～当日(到着後)～

事前打ち合わせ

(直接指導・自主活動に関わらず)必ず担当者との事前打ち合わせをしてください。(集合場所・時間・参加者の状況など)

プログラム実施

備品の借用・返却、会場の準備・清掃など、ご協力をお願いします。

費用の支払い

宿泊費、食費など他経費と一緒に支払ってください。(事後振込みも可能)

活動の留意点!

- ・当施設のフィールドは大変広く、玄関から活動場所まで移動に時間がかかります。あらかじめ余裕を持ったタイムスケジュールを設定してください。

3 全体日程を企画するには

●国立赤城青少年交流の家がおすすめするプログラム作成の基本的な考え方

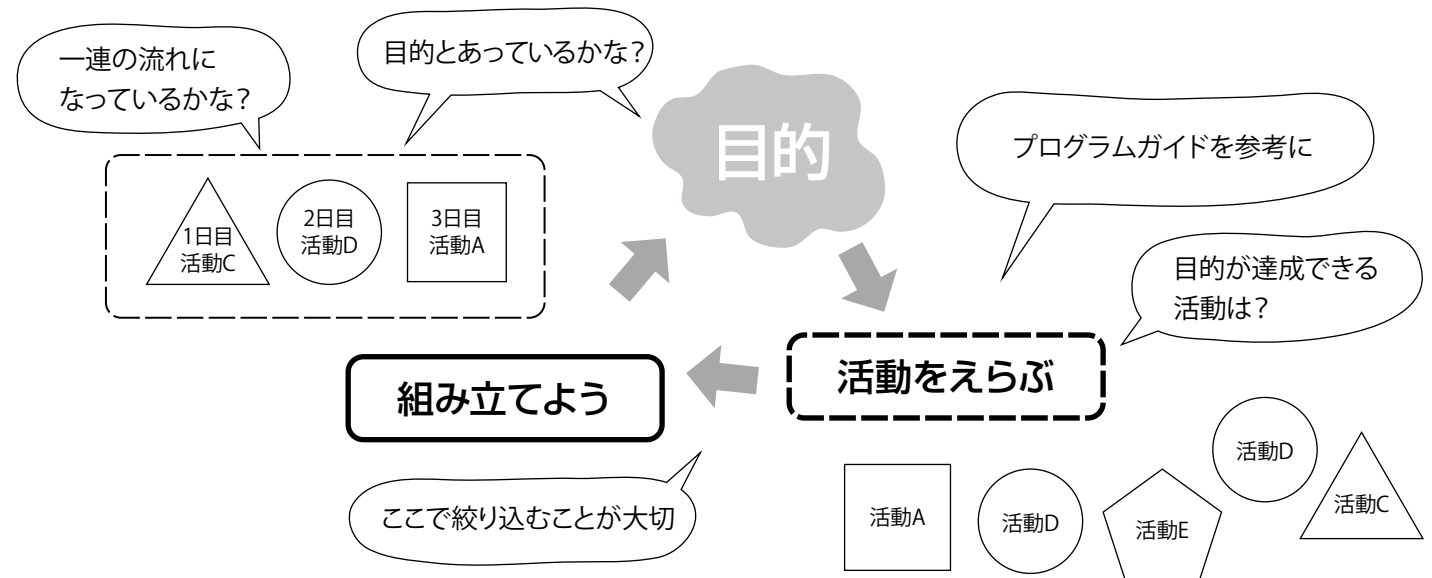
自然環境に配慮し、かつ、自然に親しむ活動であること

国立赤城青少年交流の家では、利用される方がよりよい成果を上げられるように、職員が支援をさせていただきます。また一方で当所は、赤城山南麓地域の「環境保全」に努め、人と自然が共存する持続可能な体験活動を提案していくという役割も持っています。人と自然のよりよい関係づくりのためにも、活動を企画する際には「環境保全」への配慮をお願いします。

●目的

宿泊活動などの「目的」を明確にし、「目的」に適した「活動」と「方法」を組み合わせます。効果を高めるために、「目的」を明確にするとともに、「絞り込む」ことも大切です。

また、「目的」に応じた「活動」と「方法」を選択し、「一連の流れ」になるよう組み立てます。必要に応じてアドバイスいたしますので、遠慮なくご相談ください。



●それぞれの活動では…

ねらいの確認

それぞれの活動の「ねらい」(例: 協力、親睦、責任、自然とふれあう等)をはっきりさせましょう。

ねらいをいくつも入れ込まないことがおすすめです。

活動の実施

ふりかえり

活動の中で「どんなことがあったのか」、「それはなぜか」など、活動の目的に沿って、気づきや学びを確認したり、仲間と分かち合ったりします。

※当所が行う「あかぎアドベンチャープログラム」では、「ふりかえり」を必ず行います。どのような活動を行っても、参加者の感情の変化や気づきに寄り添う指導を行うことで、効果を上げることが可能だと考えています。

●安全

気象条件の考慮や活動場所の安全確認を行う

朝晩の気温の低下や炎天下での熱中症、春季や夏季の落雷、冬季の強風、日没時刻等の気象条件及び活動場所の危険箇所の確認や危険行動の予測など、安全面への配慮が必要です。

●ゆとり

日程にゆとりがあり、休憩や移動のための時間などが配慮されている

団体で行動する際には、移動に時間がかかったり、人数確認、連絡事項などに思いのほか時間をとられます。参加者が時間に追われて活動すると焦りが出て事故やケガにつながります。時間に余裕を持たせたプログラムを組み立てましょう。

4 プログラム一覧表

すべてのプログラムを、活動の持つ性質をもとに、目的別に分類しています。
又、教育課程上の位置付けとして各プログラムと特に関連の深い教科をのせてあります。

●…関連性大
△…関連性小

■目的別一覧

	タイトル	関連の深い教科	身体をはぐくむ	人間関係づくり	自然について学ぶ	ものづくり	暮らし・郷土	環境教育
野外活動	1 あかぎやま登山	体	●	●	△		△	△
	2 オリエンテーリング		●	●	△			
	3 アドベンチャーラリー		△	●				△
	4 キャンプファイヤー	音		●				△
	5 たき火			●	△			△
	6 キャンドルファイヤー			●				
	7 ウォークラリー	体		●	△			
	8 富士見ウォークラリー			●	△		△	△
	9 ネイチャーゲーム	理		△	●			●
	10 グリーンアドベンチャー				●			●
	11 星空観察				●			
	12 あかぎ植物観察				●			●
	13 ナイトウォーク				△	●		
仲間づくり	14 あかぎアドベンチャープログラム(AAP)	特別活動		●				
	15 レクリエーション	体	△	●				
	16 館内ラリー			●				
	17 館内フォトラリー			●				
	18 グラウンドゴルフ		●	△				
	19 クップ		△	●				
	20 キンボール		●	●				
21 ディスクゴルフ	●		△					
食事づくり	22 ドラム缶ピザ&ポトフ	家		●			●	
	23 野外炊事			●			●	
	24 うどん打ち			●			●	
ものづくり	25 凧づくり	図画工作				●	△	
	26 土笛・オカリナ					●		
	27 陶芸					●	△	
	28 七宝焼					●		
	29 てん刻					●		
	30 切り絵(白黒・カラー)					●		
	31 新聞紙であそぶ					●		
	32 厚紙ブーメラン					●		
	33 ドリームキャッチャー					●	△	
	34 スーパー竹とんぼ					●	△	
	35 くるくるタネ					●		△
	36 かな箸づくり					●	△	△
	37 勾玉(まがたま)					●	△	
	38 ミニサークルステンド					●		
39 プラホルダー				●				
40 森のこびん				△	●			
41 押し花				△	●			
環境	42 森のパワーをさがしてみよう	理			△		△	●
地域	43 富士見ゆかりの偉人物語	道徳					●	

5 各プログラムの紹介

●プログラムの紹介／野外活動

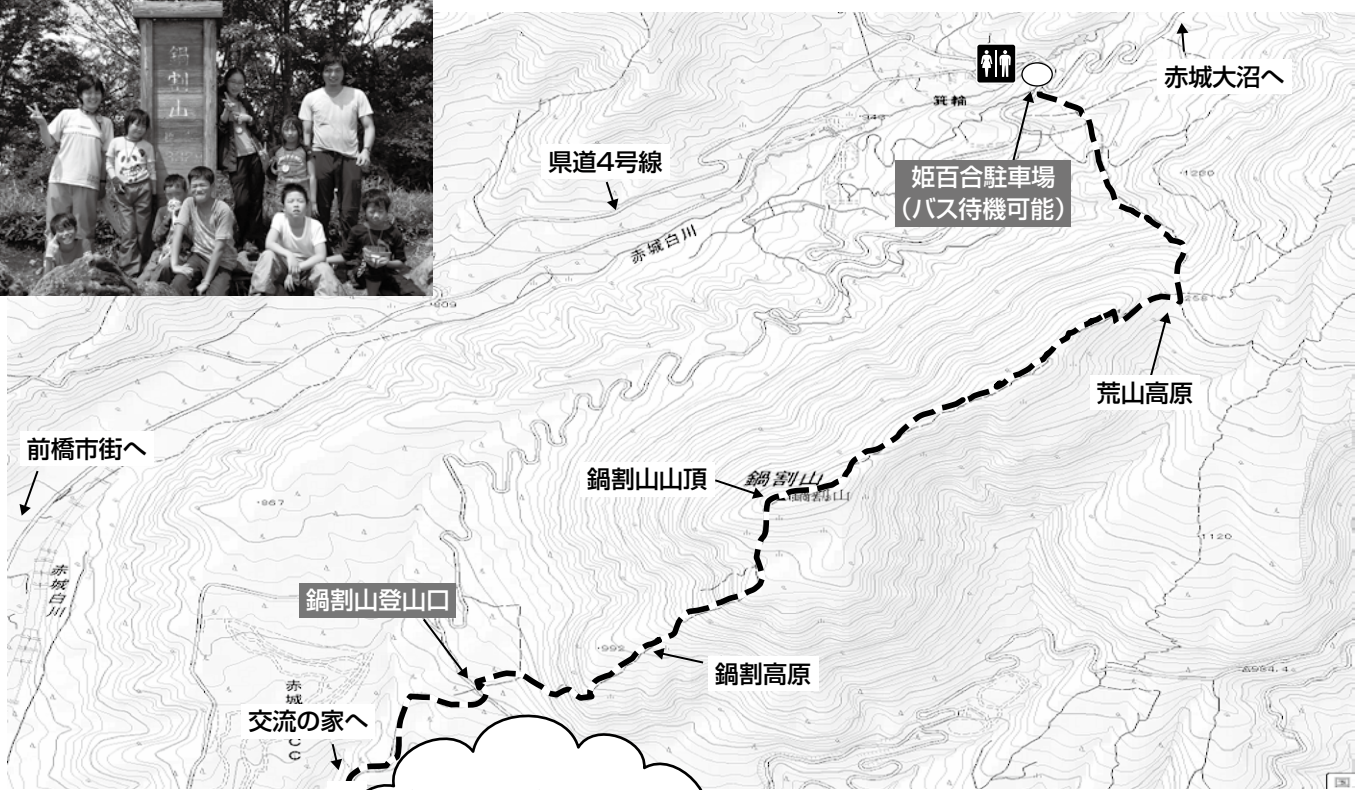
1. あかぎやま登山



キーワード：チャレンジ、達成感、仲間



① 関東平野を望む! 鍋割山コース



青少年交流の家

プログラムの流れ

事前説明 15分

関東平野を望む! 鍋割山コース

交流の家～鍋割山登山口～鍋割山高原～鍋割山山頂～
荒山高原～姫百合駐車場～交流の家

交流の家～鍋割山登山口	60分
鍋割山登山口～鍋割山高原	35分
鍋割山高原～鍋割山山頂	75分
鍋割山山頂～荒山高原	40分
荒山高原～姫百合駐車場	40分
姫百合駐車場～交流の家(バス)	20分

活動後

- ① 交流の家への届け
- ② 人数・健康状態の確認
- ③ 借用物品の返却

約6～7時間

- ①安全面 ②健康面
- ③マナー面について

事前説明をしましょう。

トイレ:交流の家、姫百合
駐車場

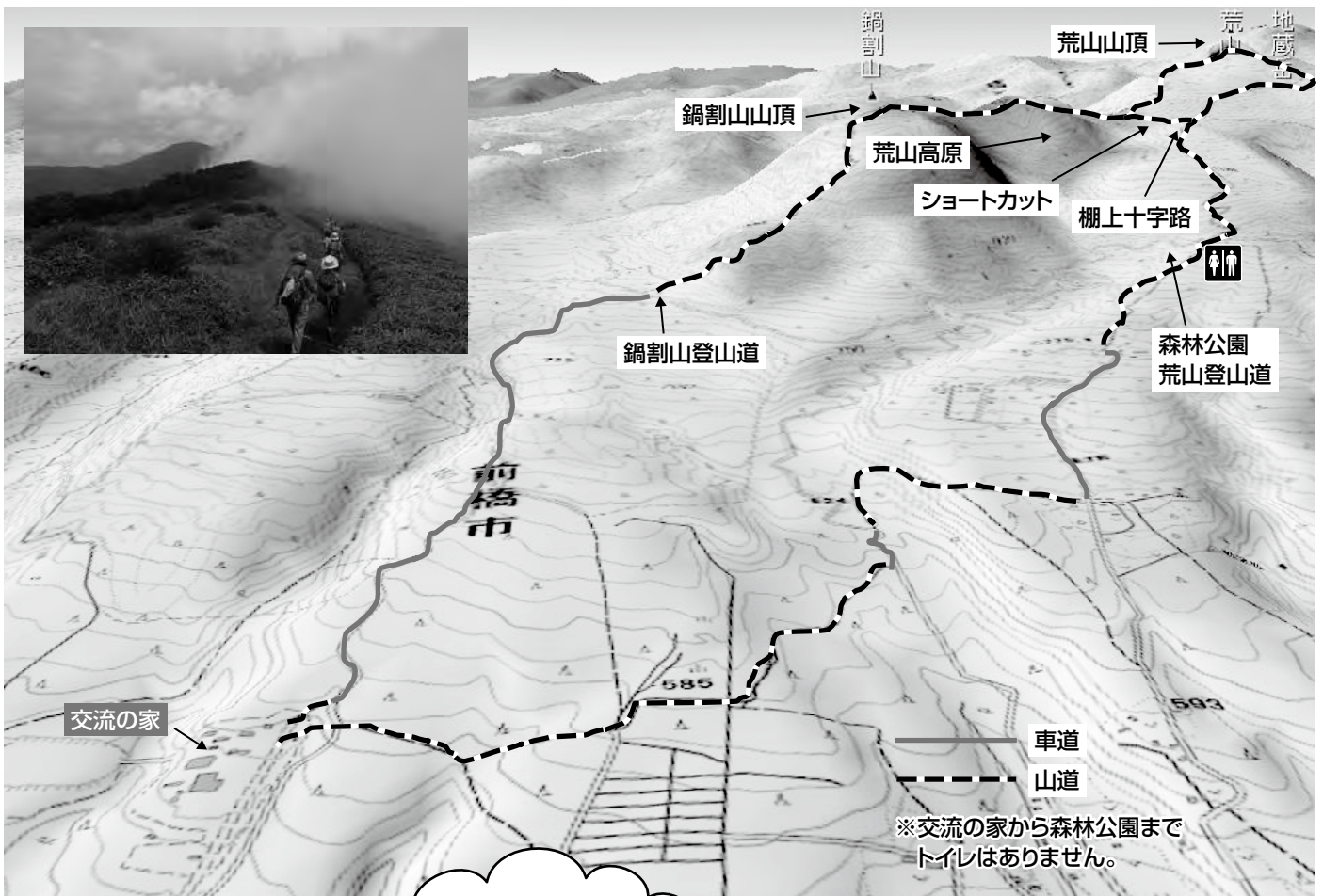
鍋割山コースの概要

関東平野を見渡せる鍋割山山頂(標高1332m)からの景色は見ごたえ充分。天気がよければ富士山も見ることができる。交流の家から登山口まではアスファルトの道路を歩き、登山口からは急な岩場をいくつかのり越え山頂を目指す。山頂から荒山高原に抜ける尾根づたいの山道は、赤城の山々を見渡すことができる。荒山高原は5月上旬からレンゲツツジが咲き誇る。荒山高原から姫百合駐車場へは途中岩場があり、後半は整備された木の階段が続く。

登山口まで大型バスの通行はできません。また、交流の家からの送迎も行っておりません。

※講師料は講師1名につき15,400円です。
事前にお申し出ください。

②長距離チャレンジ！ 鍋割山・荒山縦走コース



青少年交流の家

プログラムの流れ

事前説明 15分

- ①安全面 ②健康面
③マナー面について
事前説明をしましょう。

トイレ:交流の家、
森林公園

鍋割山・荒山縦走コースの概要

赤城山の南に面する二つの山頂を極めるロングトレイル。鍋割山山頂(標高1332m)から一望できる関東平野の眺めは最高。天気がよければ富士山も見ることができる。鍋割山から荒山への尾根づたいの山道は、赤城の山々を見渡すことができる。荒山山頂(1572m)を目指す最後の登りは登り応え十分。帰り道は約3時間の下り道が続き、標高によって見られる植物が異なる。登山道途中には松枯れ地帯がある。

登山口まで大型バスの通行はできません。また、交流の家からの送迎も行っておりません。

長距離チャレンジ!鍋割山・荒山縦走コース

交流の家～鍋割山登山口～鍋割高原～鍋割山頂～
荒山高原～荒山山頂～棚上十字路～
森林公園～交流の家

交流の家～鍋割山登山口	60分
鍋割山登山口～鍋割山山頂	120分
鍋割山山頂～荒山高原	40分
荒山高原～荒山山頂	60分
荒山山頂～赤城森林公園駐車場	90分
赤城森林公園駐車場～交流の家	100分

活動後

- ①交流の家への届け
②人数・健康状態の確認
③借用物品の返却

約8時間

※講師料は講師1名につき17,600円です。
事前にお申し出ください。

③山頂は大パノラマ!地蔵岳・覚満淵コース



青少年交流の家

プログラムの流れ

事前説明 15分

山頂は大パノラマ!地蔵岳・覚満淵コース

交流の家～新坂平～地蔵岳山頂～八丁峠～小沼～鳥居峠～覚満淵～ビジターセンター～交流の家

交流の家～新坂平(バス)	30分
新坂平～地蔵岳山頂	55分
地蔵岳山頂～小沼	30分
小沼～鳥居峠	20分
鳥居峠～ビジターセンター	20分
ビジターセンター～交流の家(バス)	35分

活動後

- ①交流の家への届け
- ②人数・健康状態の確認
- ③借用物品の返却

約4時間

- ①安全面 ②健康面
 - ③マナー面について
- 事前説明をしましょう。

トイレ:観光案内所、ビジターセンター、小沼駐車場

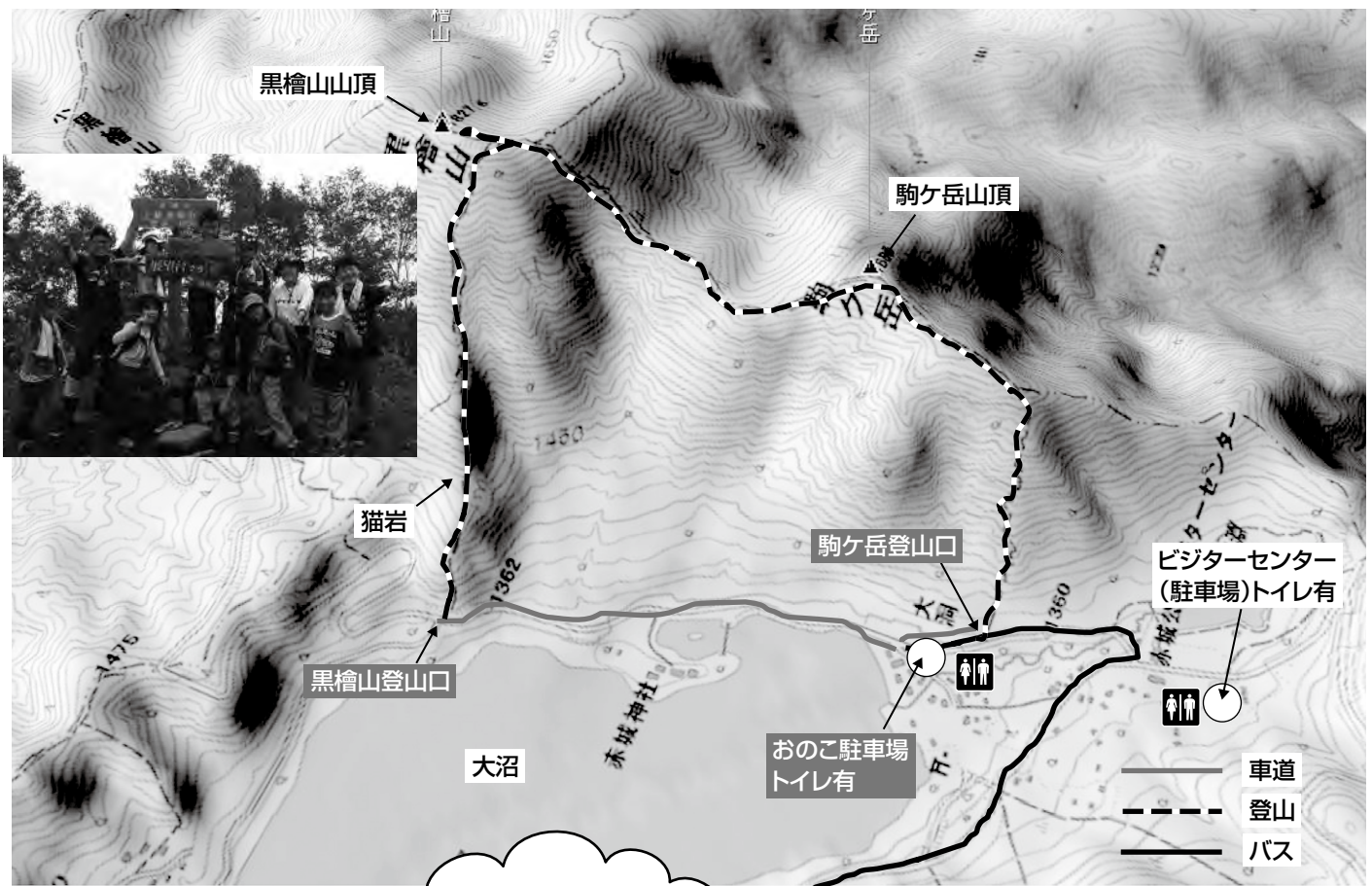
地蔵岳・覚満淵コースの概要

比較的容易に登れ、幼児から高齢者まで人気の登山コース。地蔵岳山頂からは、北側には黒檜山、駒ヶ岳、南側は関東平野一望という赤城随一の広大な展望が期待できる。覚満淵は湿生植物と高山植物の宝庫で、小尾瀬といわれる。周囲800mほどで平坦な道と木道が整備されていて、年齢を問わず散策することができる。ニッコウキスゲやモウセンゴケといった湿原特有の様々な植物が見られる。鳥居峠は、覚満淵の向こうに大沼を見渡す絶景を見ることができるビューポイント。

※小沼駐車場のトイレは、冬季(11月下旬～5月上旬)閉鎖します。

※講師料は講師1名につき15,400円です。事前にお申し出ください。

④最高峰チャレンジ! 黒檜山・駒ヶ岳コース



青少年交流の家

プログラムの流れ

事前説明 15分

最高峰チャレンジ! 黒檜山・駒ヶ岳コース

交流の家～おのこ駐車場～黒檜山登山口～
黒檜山山頂～駒ヶ岳山頂～駒ヶ岳登山口～
おのこ駐車場～交流の家

交流の家～おのこ駐車場(バス)	35分
おのこ駐車場～黒檜山登山口	20分
黒檜山登山口～黒檜山山頂	120分
黒檜山山頂～駒ヶ岳山頂	55分
駒ヶ岳山頂～駒ヶ岳登山口	60分
駒ヶ岳登山口～おのこ駐車場	5分
おのこ駐車場～交流の家(バス)	30分

活動後

- ①交流の家への届け
- ②人数・健康状態の確認
- ③借用物品の返却

約6時間

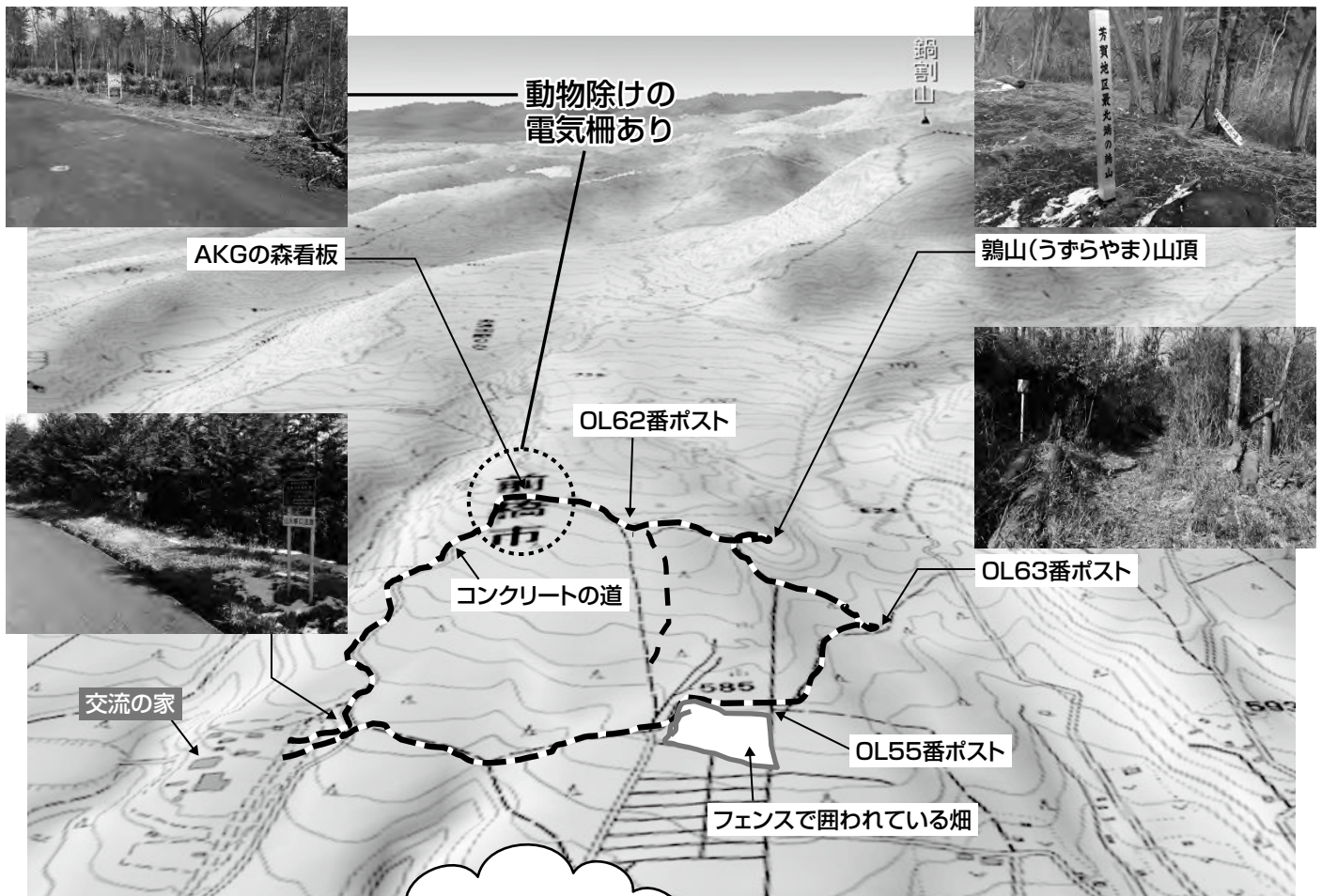
①安全面 ②健康面
③マナー面について
事前説明をしましょう。
トイレ:おのこ駐車場、
ビジターセンター

黒檜山・駒ヶ岳コースの概要

赤城山の最高峰である黒檜山をめざすコース。登山口から山頂付近までは岩場の急勾配が続く。途中の猫岩は眺望が開け、大沼や地蔵岳を望める。山頂からは谷川岳をはじめ、皇海山や奥日光連山、武尊山などの大パノラマが広がる。駒ヶ岳の頂上に出るには稜線を南にすすみ、ツツジが点在する大ダルミという草原をぬける。駒ヶ岳山頂からは東南に関東平野が眺望できる。下山は稜線を歩き、大沼を見おろしながらの下山となる。鉄と木の階段が整備され歩きやすい。

※講師料は講師1名につき19,800円です。
事前にお申し出ください。

⑤気軽にハイキング！ 鶉山(うずらやま)コース



青少年交流の家

プログラムの流れ

事前説明 15分

気軽にハイキング!鶉山(うずらやま)コース

交流の家～OL(オリエンテーリングポスト)55番～
OL63番～鶉山～OL62番～AKGの森～交流の家

交流の家～OLポスト55番	20分
OLポスト55番～63番	10分
OLポスト63番～鶉山山頂	20分
鶉山山頂～OLポスト62番	10分
OLポスト62番～AKGの森	5分
AKGの森～交流の家	15分

活動後

- ①交流の家への届け
- ②人数・健康状態の確認
- ③借用物品の返却

約90分～
120分

①安全面 ②健康面
③マナー面について
事前説明をしましょう。
トイレ:交流の家のみ

鶉山コースの概要

旧前橋市最北端であった鶉山(標高639m)を目指し、交流の家周辺の森を歩くコース。急な登り坂は山頂手前の30m程度で、あとは緩やかなアップダウンのハイキングコース。コースのほとんどはオリエンテーリング(OL)コースで、赤城の森の松枯れの様子を見ながら、OLポストを目印に進む。AKGの森と交流の家の間はコンクリートの車道となる。山頂には、20～30人程度集まれるスペースあり。幼児や小学校低学年のハイキングにおすすめ。

※このコースは自主活動のみのコースです。
(詳細地図は事務室にあります)

●プログラムの紹介／野外活動

※適正人数とは、直接指導、選択指導の場合は指導者1人あたりの人数です。自主活動の場合は最大人数です。

2. オリエンテーリング



キーワード：地図読み、判断力、スポーツ



地図とコンパスを頼りに、周辺の森に点在するポストを探します。コースどりや地図の読みとりなど、グループで力をあわせて進みます。

- 適正人数:1グループ5人程度で実施、200人まで
- 費用:マップ代1枚110円(1グループで1枚)
- おもな会場:オリエンテーリングコース

西コース(下から交流の家に至る車道より西側)

- 対象:小学校高学年以上
- 所要時間:2時間

※マップは、食堂で購入してください。(コピー厳禁)
※マップは、全員に持たせるのが望ましい。

3. アドベンチャーラリー



キーワード：地図読み、チームワーク、課題解決



交流の家のフィールドを、地図を見ながらまわるポイントラリーです。無人ポイントでは文字や記号を探し、有人ポイントでは課題に挑戦します。グループで課題をクリアし、ポイントを貯めながら進みます。

グループでコースどりを決めたり、課題に挑戦していくことを通じて、コミュニケーション、意思疎通、友人への思いやりなど、グループの力を高めることを目的とした活動です。

- 適正人数:1グループ8人程度、200人まで
- 対象:小学生以上
- 所要時間:2~3時間
- おもな会場:オリエンテーリングコース、多目的フィールド

4. キャンプファイヤー



キーワード：火、親睦、ふりかえり



自然の中で過ごす夜、火のぬくもりとともに、仲間と親睦を深めたり、活動をふりかえったりする時間を過ごしましょう。大音量での音楽や花火は禁止です。

- 適正人数:50~200人(会場によって異なる)
- 対象:幼児以上
- 所要時間:1~2時間
- 費用:キャンプファイヤー用薪1束1,050円(3~4束で約1時間)、トーチ棒1本210円、灯油110円、講師料(直接指導の場合)6,600円(講師1人あたり)、講師1人あたりの適正人数100人
- おもな会場:営火場、センター棟広場、つどいの広場

5. たき火



キーワード：火、静けさ、語り



火は見ていなくても飽きません。ただ火を囲むだけで、気持ちが落ち着いたり、時間を忘れていたり、心が開いたり…シンプルに火の力を感じてみませんか?

- 適正人数:1グループ5~8人程度。100人くらいまで可能。
- 対象:幼児以上
- 所要時間:1~1.5時間
- 費用:備品代/薪1束420円
- おもな会場:屋根付き広場、しらさぎ炊事場

6. キャンドルファイヤー



キーワード：灯り、親睦、ふりかえり



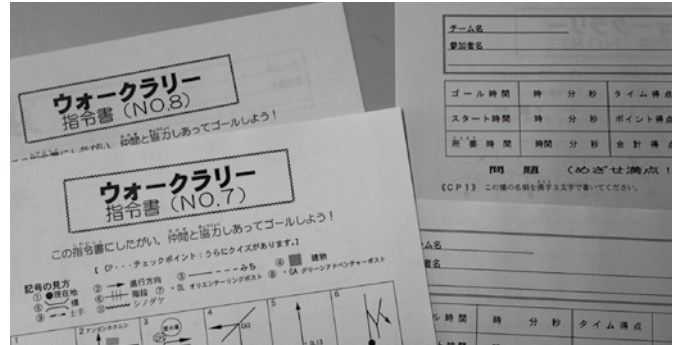
ろうそくの灯りを囲み、仲間との気持ちをまた一歩近づけるのがキャンドルファイヤーです。光の明と暗を効果的に演出することができる活動です。

- 適正人数:50~200人(会場によって異なる)
- 対象:幼児以上
- 所要時間:1~2時間
- 費用:備品代/ろうそく(大)420円/本、ろうそく(小)30円/本、アルミホイル180円※備品は持ち込み可、講師料(直接指導の場合)6,600円(講師1人あたり)、講師1人あたりの適正人数100人
- おもな会場:体育館、講堂、アクティビティホール、剣道場

7. ウォークラリー



キーワード：コマ図、散策、協力



記号で簡略され、いくつか分割された「コマ図」をもとに進んでいく活動です。途中のチェックポイントでは課題が用意されています。体力と知力を使う、謎解きゲームのような面白さを味わえる活動です。

- 適正人数:1グループ5人程度、100人まで
- 対象:小学高学年以上
- 所要時間:2時間
- 費用:なし
- おもな会場:建物周辺の散策路、オリエンテーリングコース

NEW

8. 富士見ウォークラリー



キーワード：コマ図、散策、協力



記号で簡略され、いくつか分割された「コマ図」をもとに、富士見地区を進んでいく活動です。途中のチェックポイントでは、富士見地区出身の偉人を知ることができる課題が用意されています。体力と知力を使う、謎解きゲームのような面白さを味わえる活動です。

- 適正人数:1グループ5人程度、100人まで
- 対象:中学生以上

1日コース/所要時間5時間

- 費用:なし(お弁当が必要です)
- スタート、ゴール:道の駅ふじみ

半日コース/所要時間3時間

- 費用なし(お弁当が必要です)
- スタート:富士見商工会、ゴール:道の駅ふじみ

9. ネイチャーゲーム



キーワード：発見、自然の不思議、感性発見



自然に親しみ、自然を理解し、素晴らしさを感じとる活動をパッケージ化したプログラムです。様々なゲームを通して、自然の不思議や仕組みを学び、自然と自分が一体であることに気づくことを目的としています。

- 適正人数:1グループ10~15人程度、50人まで
- 対象:幼児以上
- 所要時間:3時間程度(昼の場合)、2時間(夜の場合)
- 費用:講師料8,000円(昼の場合)、6,600円(夜の場合)(講師1人あたり)
- おもな会場:建物周辺の散策路、オリエンテーリングコース
- 雨天時:屋内での実施も可能

10. グリーンアドベンチャー



キーワード：樹木、自然観察、歩く



コースを歩きながら、樹木に親しむ活動です。単に植物の名前を覚えるだけでなく、目で見ると、聞いて調べる、嗅いで調べる、味で調べる、触れて調べるなどの五感を使って、植物を具体的に観察しながらコースを巡ります。

- 適正人数: 1グループ5人程度、100人程度まで
- 対象: 小学校高学年以上
- 所要時間: 1～2時間
- 費用: なし
- おもな会場: グリーンアドベンチャーコース

11. 星空観察



キーワード：宇宙、天体、暗闇

**天体望遠鏡
5台配備**



四季折々に見られる星座や惑星を見つけに行きます。星の持っている本当の輝き、身近にある神秘に出会いましょう。

- 適正人数: 100人
- 対象: 小学生以上
- 所要時間: 2時間
- 費用: 講師料(直接指導の場合)6,000円(講師1人あたり)
- おもな会場: 多目的フィールド、つどいの広場、講堂、テニスコート周辺
- 雨天時: 屋内でスライドなどを用いて実施

12. あかぎ植物観察



キーワード：生態、植物、野鳥、昆虫



身近な草木や動物、野鳥などをじっくり観る時間です。植物や生き物が持つおもしろさや不思議さに触れましょう。

- 適正人数: 1グループ10～15人程度、50人まで
- 対象: 小学生以上
- 所要時間: 2時間
- 費用: 講師料6,000円(講師1人あたり)
- おもな会場: 建物周辺の散策路、オリエンテーリングコース
- 雨天時: 屋内でスライドなどを用いて実施

13. ナイトウォーク



キーワード：暗闇、静寂、自然との触れ合い、発見、感性



夜の森を歩くプログラム。暗闇と光、静寂と物音、自然と自分など、五感を通して様々なことを感じ、感性を磨きます。

- 適正人数: とくになし(グループで歩く場合は2～5人くらい)
- 対象: 小学生以上
- 所要時間: 15～90分(コースや内容によって変わります)
- 費用: なし
- おもな会場: 交流の家の敷地内(5つのモデルコースがあります。)

14. あかぎアドベンチャープログラム(AAP)



キーワード：チームワーク、課題解決、関係づくり



設定された課題をグループで解決していく活動を通じ、人との関わりで大切なものに気づき、お互いの信頼関係を高める活動です。グループにわかれて活動を行います。各グループに1名のファシリテーターがつき、その集団にあったサポートを行います。

- 適正人数:1グループ10~15人、最大5グループまで実施可能。
- おもな会場：AAPコース、屋根付き広場、体育館
- 対象:小学校高学年以上 ●雨天時:屋内で実施
- 1日コース/●所要時間:5~6時間
- 費用:講師料20,000円(講師1人あたり)×グループ数
- 半日コース/お互いを理解する、気づきをうながす程度の活動となります。●所要時間:3時間
- 費用:講師料10,000円(講師1人あたり)×グループ数

15. レクリエーション



キーワード：交流、仲間、体ほぐし



体を動かしたり、コミュニケーションをすることで、はじめて会う人同士がうちとけたり、グループの親睦を深める活動です。

- 適正人数:200人くらいまで
- 対象:どなたでも
- 所要時間:2~3時間
- 費用：講師料(直接指導の場合)6,600円/2時間、8,000円/3時間(講師1人あたり)、講師1人あたりの適正人数100人
- おもな会場：多目的フィールド、体育館、講堂、アクティビティホール
- 雨天時:屋内で実施

16. 館内ラリー



キーワード：交流、仲間、施設を知る



マップをたよりに館内をまわりながら、課題にチャレンジするポイントラリーです。

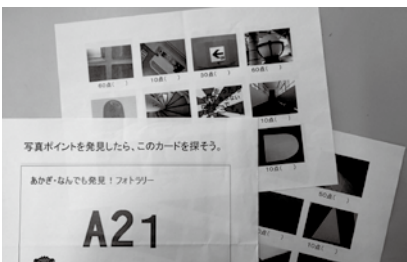
- 適正人数:5~8人のグループで活動、150人くらいまで
- 対象:小学生以上
- 所要時間:2時間程度
- 費用:なし
- おもな会場:館内全体

17. 館内フォトラリー

2019年
改定



キーワード：交流、仲間、施設を知る



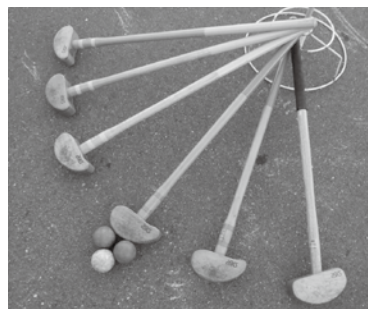
館内を撮影した写真を見て、その写真がマップ上のどこから撮ったものかを推察しながら歩き、グループで得点を競います。

- 適正人数:1グループ5人程度で150人くらいまで
- 対象:小学生以上
- 所要時間:1~2時間
- 費用:なし
- おもな会場:館内全体

18. グラウンドゴルフ



キーワード：生涯スポーツ、楽しさ、交流



ゴルフのようにボールをクラブで打ち、ホールポストにホールインするまでの打数を競います。

- 適正人数:1グループ2~4人、40人程度まで
- 対象:どなたでも
- 所要時間:1~2時間
- 費用:なし
- おもな会場:多目的フィールド

19.クubb



キーワード：生涯スポーツ、楽しさ、木



平坦な自然のフィールドであれば老若男女誰もが楽しめる、バイキングが生み出したスポーツです。相手チームの木(クubb)を倒して争います。

- 適正人数：1グループ5～6人でゲームをします。12グループ、72人まで
- 対象：どなたでも
- 所要時間：1～2時間

- 費用：なし
- おもな会場：多目的フィールド、屋根付き広場、柔道場、アクティビティホール
- 雨天時：アクティビティホール、柔道場

20.キンボール



キーワード：生涯スポーツ、楽しさ、交流



大きなゴムボール(キンボール)を使って、「ヒット」「レシーブ」で争います。コート全体に広がり、他チームの球をレシーブできるかどうかで争うニュースポーツです。

- 適正人数：12～50人
- 対象：どなたでも
- 所要時間：1～2時間
- 費用：なし
- おもな会場：体育館、剣道場、講堂

21.ディスクゴルフ



キーワード：生涯スポーツ、楽しさ、交流



フラインクディスク(一般的に「フリスビー」と呼ばれているもの)を投げ、ゴルフのように専用のバスケットに何投で投げ入れることができるかを競うニュースポーツです。

- 適正人数：1グループで2～4人程度、40人まで
- 対象：どなたでも

- 所要時間：1～2時間
- 費用：なし
- おもな会場：多目的フィールド

23.野外炊事



キーワード：食事、焚き火、チームワーク



火をおこし、自分たちの手で食事を作ります。野外でおいしい食事を楽しみましょう。

- 適正人数：1グループ8人程度で実施、200人まで
- 対象：どなたでも
- 所要時間：3～4時間(バーベキューや朝食セットは早くできます)
- 費用：薪代1束420円(かまど1つにつき1束が目安)
- おもな会場：屋根付き広場(200人)、しらすぎ炊事場(80人)
- 雨天時：屋根付き広場・しらすぎ炊事場共に可

カレーライス ●費用：食材費8人セット4,440円/4人セット2,220円

バーベキュー ●費用：食材費8人セット6,720円/4人セット3,360円

焼きそば&ゆかりごはん ●費用：食材費8人セット5,440円/4人セット2,720円

豚汁&ごはん ●費用：食材費8人セット3,360円/4人セット1,680円

朝食セット(和食・洋食) ●費用：食材費8人セット3,520円/4人セット1,760円

自主メニュー ●自主的なメニューも可能です。必要量をリストにして注文してください。

※食中毒防止の理由により、食材の持ち込みはできません。

※炊いたごはんを使う場合1食80円追加です。

※それぞれの内容については、P18(食事にかかる料金)をご覧ください。

22.ドラム缶ピザ&ポトフ



キーワード：食事、手作り、チームワーク



ドラム缶の^{かま}を使って、手作りのピザを作ります。自分たちで生地から作ったピザはとてもおいしいです。

- 適正人数：50人まで
- 対象：どなたでも
- 所要時間：4時間
- 費用：食材費8人セット4,440円/

4人セット2,220円、講師料8,000円(講師1人あたり)
薪代 ポトフ用1束420円、ドラム缶ピザ用1束1,050円

- おもな会場：屋根付き広場

24.うどん打ち



キーワード：郷土料理、食育



群馬は“粉もの”王国です。からっ風と長い日照時間が生んだ郷土の食を楽しく体験しましょう。

- 適正人数:1グループ
4~5人、50人まで
- 対象:小学生以上
- 所要時間:4時間

- 費用:講師料 :8,000円(講師1人あたり)、食材費1人620円
- おもな会場:音楽室、屋根付き広場

25.凧づくり



キーワード：手づくり、個性、昔あそび



和紙と竹骨を使って凧を作ります。凧に自分の好きな模様やイラストを描くので、オリジナルデザインの凧が出来上がります。天気がよければ作った凧をあげることもできます。

- 適正人数:50人まで
- 対象:どなたでも
- 所要時間:3時間

- 費用:講師料8,000円(講師1人あたり)、材料費1人700円
- おもな会場:研修室

※材料については、講師と打ち合わせしてください。

26.土笛・オカリナ



キーワード：創作、個性



粘土を使い、土に親しみとともに造形することの楽しさや素朴な音色が楽しめます。土笛製作の経験がある方は、オカリナを作ることができます。

- 適正人数:20人まで
- 対象:小学校高学年以上
- 所要時間:3時間
- 費用:講師料8,000円

(講師1人あたり)、材料費1人1,000円(粘土、梱包等)、送料/時価 ※乾燥、焼成等のため、完成まで約30日かかります。

- おもな会場:音楽室、研修室

※材料については、講師と打ち合わせしてください。

27.陶芸



キーワード：造形、個性、表現



粘土での器の造形を通して、手作りの陶芸の喜びを体験します。既製品と異なり、1つ1つに厚みや形の違いがある

ので、自分らしさが表れると共に味わいがあります。

- 適正人数:100人まで ●対象:中学生以上 ●所要時間:3時間
- 費用:講師料8,000円(講師1人あたり)、材料費1人2,000円(粘土、梱包等)、送料時価

※乾燥、焼成等のため、完成まで約30日かかります

- おもな会場:音楽室、研修室

※材料については、講師と打ち合わせしてください。

28.七宝焼



キーワード：個性、色彩、創作



七宝焼の名には、金、銀、サング、メノウなどの宝に並ぶほどの美しいやきものだからという意味があります。世界に1つだけの七宝焼を作ってみましょう。作品は、キーホルダーやストラップにします。

- 適正人数:40人まで
- 対象:小学校高学年以上

●所要時間:3時間 ●費用:講師料8,000円(講師1人あたり)、材料費1人1,000円(ストラップ、キーホルダー等)

- おもな会場:研修室

※材料については、講師と打ち合わせしてください。

29.てん刻



キーワード：表現、創作、個性



中国の石印材に好きな文字や絵を刻り、印をつくります。その印を色紙に押しつけて仕上げます。てん刻の技法と創る楽しさを体感します。

- 適正人数:30人まで
- 対象:小学校高学年以上
- 所要時間:3時間
- 費用:講師料8,000円

(講師1人あたり)、材料費1人800円(印材、色紙等)

- おもな会場:研修室

※材料については、講師と打ち合わせしてください。

30. 切り絵 (白黒・カラー)



キーワード：創作、芸術



下絵をもとにアートナイフで和紙を切り抜き、台紙(色紙)に貼ってきれいに仕上げます。絵画とは違う、版画のような独特の味わいが楽しめます。【白黒・カラーについて】白黒は和紙を切り抜いたもの、カラーは切り抜いた和紙に色和紙を貼ったものです。

- 適正人数:60人まで
- 対象:白黒/小学5年生以上、カラー/中学生以上
- 所要時間:3時間
- 費用:講師料8,000円(講師1人あたり)、材料費(白黒の場合1人300円、カラーの場合1人500円)
- おもな会場:研修室

※材料については、講師と打ち合わせしてください。

31. 新聞紙であそぶ



キーワード：手づくり、個性



古新聞紙とはさみだけでたくさんのお遊びができます。さらにボンドや絵の具を使うとオリジナルキャラクターのマスクも作れます。

- 適正人数:100人まで
- 対象:小学生以上
- 所要時間:3時間

- 費用:講師料8,000円(講師1人あたり)、材料費1人300円
- おもな会場:研修室

※材料については、講師と打ち合わせしてください。

32. 厚紙ブーメラン



キーワード：手作り、作ってあそぶ



厚紙を使ってよく飛ぶブーメランを作ります。指で弾く小さなものから5メートル以上飛ぶ本格的なものまであり、練習すると手でキャッチすることができます。

- 適正人数:50人まで
- 対象:小学生以上

- 所要時間:3時間
- 費用:講師料8,000円(講師1人あたり)、材料費1人400円
- おもな会場:研修室

※材料については、講師と打ち合わせしてください。

33. ドリームキャッチャー



キーワード：創作、民族、異文化



枝や羽などを使って、ネイティブアメリカンのお守り、ドリームキャッチャーを作ります。楽しく異文化に触れるきっかけにしましょう。

- 適正人数:20人まで
- 対象:小学校高学年以上
- 所要時間:3時間

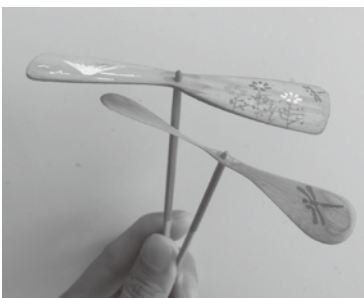
- 費用:講師料8,000円(講師1人あたり)、材料費1人1,000円
- おもな会場:研修室

※材料については、講師と打ち合わせしてください。

34. スーパー竹とんぼ



キーワード：創作、竹、昔あそび



普通の竹とんぼとは異なる作り方をします。竹をあぶってひねり角度をつけ、特製の器具でバランスを調整することで、びっくりするほどよく飛ぶ竹とんぼを作ります。

- 適正人数:100人まで(講師1人あたり50人)

- 対象:小学生以上
- 所要時間:3時間
- 費用:講師料8,000円(講師1人あたり)、材料費1人110円
- おもな会場:研修室、音楽室
- 団体で瞬間接着剤を用意(売店のもの、1本320円で30人程度をおすすめします。)

※材料は、食堂で購入してください。

35. くるくるタネ



キーワード：自然の不思議、作って遊ぶ



自然界に存在する「カエデのタネ」を模したクラフト【くるくるタネ】を作ります。作ったくるくるタネで遊びながら、植物の生き方に触れます。

- 適正人数:100人まで
- 対象:小学生以上
- 所要時間:2時間
- 費用:材料費1人410円

- おもな会場:研修室、音楽室

※材料は、食堂で購入してください。

36. かな箸づくり



キーワード：作って使う、個性、木育



大工道具でおなじみの鉋(かな)を使い、角材から檜(ひのき)箸を加工します。手のサイズにあった自分だけの箸が作れます。

- 適正人数:50人まで
- 対象:小学生以上

- 所要時間:2~3時間
 - 費用:講師料8,000円、材料費1人150円
 - おもな会場:研修室、音楽室
- ※材料は、食堂で購入してください。

37. 勾玉(まがたま)



キーワード：創作、個性、歴史



ヤスリで石を削り、古代人のアクセサリ、勾玉を作ります。磨きながら、古代人に思いをさせよう!

- 適正人数:100人まで
- 対象:小学校高学年以上
- 所要時間:3時間
- 費用:材料費1人350円
- おもな会場:屋根付広場

※材料は、食堂で購入してください。

38. ミニサークルステンド



キーワード：個性、デザイン



キットを用いてペン立てを作ります。オリジナルのデザインを施したステンドグラス風のペン立てです。

- 適正人数:50人まで
- 対象:小学3年生以上
- 所要時間:2~3時間
- 費用:材料費1人320円
- おもな会場:研修室

※材料は、食堂で購入してください。

39. プラホルダー



キーワード：創作、デザイン



キットを用いて、独自のキーホルダーを作ります。大きかったシートがあつという間にきゅっと縮みます。縮んだ板を平らにのばしたら完成!

- 適正人数:50人まで
- 対象:小学校低学年~高学年
- 所要時間:1~2時間

- 費用:プラホルダーキット:250円
- おもな会場:研修室

※材料は、食堂で購入してください。

40. 森のこびん~赤城の自然を小瓶の中にぎゅーっと詰め込んで~



キーワード：木の実、自然の色、感性



森の中で集めた木の実を使って、小瓶の中に自分だけの小さな“あかぎの森”を作ります。

入れる木の実によってまったく違う雰囲気の作品になります。

- 適正人数:100人まで
- 対象:幼児以上
- 所要時間:1~2時間

- 費用:材料費1人210円
- おもな会場:研修室、音楽室、周辺の散策路など

※材料は、食堂で購入してください。(こびんのみ)

41. 押し花



キーワード：創作、草花



自然物で押し花を作るキットを使って作ります。出来上がった押し花は色紙に貼り付けて完成です。

- 適正人数:30人まで
- 対象:どなたでも
- 所要時間:1~2時間
- 費用:材料費1人110円
- おもな会場:研修室
- 花の時期:4~9月

※押し花用色紙は食堂で購入できます。
※花は団体で用意してください。

42. 森のパワーをさがしてみよう



キーワード：松枯れ、森の手入れ、環境、里山



森林のもつ役割（パワー）を実際に森の中で探し、まとめたり、発表したりします。

- 適正人数：1グループ 40人（4グループまで）
- 対象：小学校高学年以上
- 所要時間：3時間

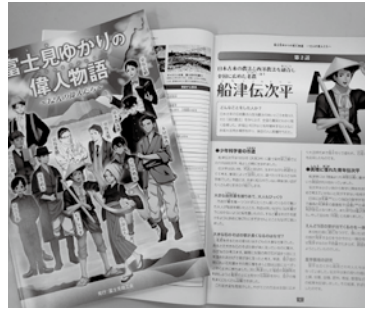
- 費用：講師料 8,000円（講師1人あたり）
- 雨天時：室内で実施

NEW

43. 富士見ゆかりの偉人物語～12人の偉人たち～



キーワード：郷土、関係づくり



前橋市富士見町出身の船津伝次平の生き方について話し合うことを通して、郷土の伝統や文化を大切にしている心やより高い目標に向かって努力しようとする心を育てます。また、自らが生活している地域にゆかりのある偉人に関心をもつ態度を養います。

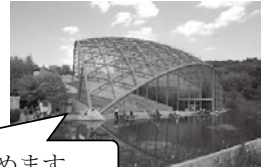
- 適正人数：30人程度
- 対象：小学校高学年以上
- 所要時間：45分以上
- 費用：なし
- おもな会場：研修室

県立ぐんま昆虫の森



群馬県立
ぐんま昆虫の森
GUNMA INSECT WORLD

45haの里山が再現された環境で、虫取り網（無料貸出）で昆虫を捕まえて観察することのできる体験型施設です。



■中学生まで入園無料（一般410円、大高校生200円）

※団体割引、入園料免除制度あり。

春夏秋冬、雨の日でも楽しめます。

体験プログラム紹介 ※事前予約制です。

・ミニクラフトコーナー

昆虫をテーマにした工作体験ができます。まゆクラフトも用意。

・クイズラリー、スタンプラリー

館内やフィールドをめぐるクイズラリーや昆虫スタンプを集めるスタンプラリーができます。



交流の家
から車で
約30分

群馬県立ぐんま昆虫の森 〒376-0132 群馬県桐生市新里町鶴ヶ谷 460-1

お問い合わせ TEL:0277-74-6441 FAX:0277-74-6466

赤城に宿泊したファミリー向けの特典・割引について

施設名	交流の家から		入場料金等
	距離	時間（バス）	
赤城自然園	約12km	約17分	【個人】中学生以下無料 高校生以上 1,000円 ※入場料金 500円
ぐんまフラワーパーク	約8km	約15分	【個人】中学生まで無料 大人 4/1～6/30 700円 7/1～3/31 600円 ※100円割引券配布 1枚につき4人まで有効 ※ファミリーには花の種1袋配布
世界の名犬牧場	約5km	約10分	大人（中学生以上）650円 子供（4歳以上）450円 3歳まで無料 ※10%引き ※4/27～5/6、8/10～16は利用不可。
レオナルド・ダ・ビンチ牧場	約9km	約15分	騎乗料 6,480円 引馬 1,000円（中学生以上）500円（小学生） ※初心者向け体験乗馬 小学生以下 1,500円→800円 大人 1,500円 ※要予約

サンデンフォレストは、サンデングループの事業所の一つで、自動販売機や店舗用のショーケースを生産する「森の中の工場」です。東京ドーム15個分の広大な敷地の中で、自然体験活動と社会科見学の両方を楽しむことができます。

各教科に合わせた体験や案内をご提供していますので、お気軽にお問い合わせください。学校以外の団体もご利用いただけます。

自動販売機の工場見学(社会)



●自動販売機の製造の工程や、働く人の工夫や努力について学びます。
(小学3・5年生)

所要時間: 60~90分

わくわく自販機ミュージアム(社会)



●古代の自販機や近未来の自販機からその機能や、役割について学びます。
(小学3・5年生)

所要時間: 30~40分

●小学3年生「工場ではたらく人の工夫」
小学5年生「日本を支える産業」など体験活動の一環としてご利用いただけます。

【営業時間】

- 9:00~16:30まで受入可能です。
- 土日など工場稼働のない日もございます。お電話にてお問い合わせください。
- 雨天のみのご利用はお断りしています。

【持ち物】

- 工場見学は帽子をご持参ください。
- 自然体験活動の実施の場合は、野外活動に適した服装のご準備をお願いします。(帽子、長ズボン、飲料、虫よけなど)

【プログラム】

- ご到着後、オリエンテーションを30分ほど行います。
- 定員は4クラス120名程度が目安です。
- 雨天時プログラム(自然工作など)がございます。
- 昼食場が屋内外にございます。
- 安全管理上、自然体験を実施する団体は下見をお願いします。

ガイドウォーク(生活、理科、社会、総合)



●生き物や森林の役割についてガイドと一緒に学びます。
所要時間:
60~120分



所要時間: 60~120分

A 生きもの発見コース (小学3・4年)

生き物の暮らし方や季節の変化について学びます。

B 森林学習コース (小学5・6年)

森林の土壌や樹木などに着目し、森林の役割を調査しながら学びます。

C 道草ウォーキングコース (全学年)

道草しながら森に触れ合い、自然を楽しみます。

森の遊び場づくり(生活、体育)



●森の中にハンモックやロープ渡りなどの遊び場をつくります。
(80名まで)



所要時間: 60~120分

●利用料は無料ですが、活動によっては材料の実費をいただく場合があります。

●ご利用の1年前から受付可能です。
お電話で空き状況をご確認ください。

問合せ先

サンデンファシリティ(株) ECOS(イーコス)事業部

TEL:027-285-3225/FAX:027-285-6681

メール:sandenforest@gmail.com ウェブ:http://www.sandenforest.com/

〒371-0201 前橋市粕川町中之沢70-35 サンデンフォレスト内「森の教室」

とんとん広場 体験プログラムのご紹介



ここがオススメ

- ・ミニ豚に会えます
- ・食育体験ができます
- ・お食事、お買い物ができます



●手づくりウィンナー教室



小さな子供から大人まで年齢を問わずに楽しめるウィンナー教室は大人気。とんとん広場、自慢の福豚を使って作るウィンナーは味も格別です。

新鮮なお肉とドイツのスパイス、天然の羊腸を使っての本格的な体験は、ウィンナー職人になった気分にはさせてくれます。ボイルして仕上がったウィンナーはみんなで試食。残ったウィンナーはお持ち帰りできますよ。



<少人数向け>

- 人数：9人まで
- 対象：どなたでも
- 所要時間：1時間程度
- 開催時間：平日 11:00～/14:00～
土日祝 10:30～/15:00～
- 料金：2名様分 3,000円(税別)
1名様追加ごと 1,200円(税別)



<団体向け>

- 人数：10人～50人
- 対象：どなたでも
- 所要時間：1時間程度
- 開催時間：ご相談にて
- 料金：1名様 1,000円(税別)

<出張>

※体験出張もいたします。

●とんとん広場とは？

私たちは赤城の中腹に位置した豚をテーマにした施設です。

はじめは養豚場でした。しかし、それほど美味しい豚肉を作っても、生産者が消費者の方に触れる事は稀です。美味しい豚肉を自分達で届けたいとの思いで、とんとん広場を作りました。

レストラン、ハム工房、ミニ豚広場、ウィンナー教室、豚の堆肥を使用した野菜畑など、全てが豚づくしです。

ミニ豚広場では、どなたでも自由にミニ豚をご覧いただくことが出来ます。売店には、枝肉と呼ばれる骨付きの大きな豚肉がぶら下がっています。そして、ハムソーセージやレストランでのお食事。一連の流れで、豚のいのちを頂くことを感じてもらいたいと思っています。

またハム工房では、外通路より中がのぞけるようになっています。どうぞお気軽に遊びに来て下さいね。



ご利用方法

- ◆事前予約制です
 - ◆利用できる日：プログラムにより異なる
 - ◆利用時間：プログラムにより異なる
 - ◆申込～当日までの流れ：①予約②当日実施
- ＜問合せ・申込み先＞
林牧場 福豚の里 とんとん広場
TEL.027-283-2983
FAX.027-283-2980
〒371-0247 前橋市三夜沢町534
<http://www.fukubuta.co.jp>

●畑の収穫体験



さつまいもやじゃが芋をはじめ、夏野菜や白菜など、四季折々の野菜の収穫体験が出来ます。とんとん広場の畑には、トイレや休憩所が併設されているので、安心して体験できます。

- 適正人数：～50人程度
- 対象：小学生以上
- 所要時間：1時間程度
- 費用：要相談

●豚枝肉の解体見学



枝肉と呼ばれる骨付きの豚肉を職人が解体するところを見学します。見学しながら、豚のこと、豚肉のことを学びます。とんとん広場だから出来るスペシャルコースです。

- 適正人数：～50人程度
- 対象：小学生以上
- 所要時間：1時間程度
- 費用：要相談

交流の家からバスで約 12 分

カネコ種苗ぐんまフラワーパークアクティビティ

中学生まで
入園無料

年中無休 要予約
0120-1187-38

国立赤城青少年交流の家より
バスで約15分
入園料の減免制度あります

鉢替え体験

税込 110円～

花を大きく育てるには鉢を替える事をします。小学生にはぴったりの体験です。30分くらいの短い時間で鉢替え体験をし、花鉢はお土産としてお持ち帰れます。花は4月から7月はマリーゴールド、10月から12月はピオラが代表的な花になります。 ※花は仕入れにより変更となります



遊び体験

無料

5つのテーマ温室で雨の日も楽しめる

たくさん遊んで、世界中の珍しい植物を見られる体験ができるのはぐんまフラワーパークならではの。雨の日も冬も安心の温室体験もできます。



施設概要

面積：184,000㎡（東京ドーム約4個分）
標高：300m～350m
晴天：群馬県関東地方第1位、
全国4位



5～6月

温室エリア

フィリピンエリア

インドネシアエリア

イベント温室

ブラジルエリア

メキシコエリア



5月

庭園エリア

ダリア園

正面ゲート

南駐車場
(無料/397台)

バス専用
駐車場
(無料/35台)

南駐車場

体験教室

税込 600円

短い時間で様々なものが作れる体験教室。押し花ストラップ、アロマ石けん、押し花はがきづくりが最大80名(小学生なら100名)までお楽しみ頂けます。20名様以上の場合2週間程の事前予約が必要となります。40名様以下2～30分、40名様以上3～40分かかります。



押し花ストラップ



押し花はがき・しおりのセット



アロマ石けんづくり

おみやげ

税込 310円～

ショッピングプラザには群馬産のおみやげを取り揃えています。全国ゆるキャラグランプリで日本一になった人気キャラクターのぐんまちゃんグッズをはじめ、群馬ならではの土産はこちらで。



ゆるキャラグランプリ全国第1位
(2014)のぐんまちゃんグッズ

広大な園内はバリアフリーで安心して遊べます。

- トイレ
- 障害者用トイレ
- 電話
- 障害者用電話
- インフォメーション
- バス乗り場
- コインロッカー
- 水のみ場

ふれあい・引き馬体験しませんか！

① 幼児～大人まで、団体でのご利用が出来ます。

② 国立赤城青少年交流の家から車で15分。

③ バーベキュー・流しそうめん器具の貸し出しが出来ます。

日常生活では体験する機会が少ない、ポニー・馬であり、小動物では得ることが出来ない自分より大きな動物に実際に触れ・乗ってみる体験をしてもらい、乗せてくれてありがたい気持ちと共に、動物を慈しむ心を育ててもらえる。



*ふれあい体験内容

- ・ 餌を食べる姿をみる。
- ・ 人参を食べさせる。
- ・ 一緒に写真を撮る。
- ・ 手綱を引いて散歩させる。
- ・ ブラシ掛けをしてみる。
- ・ 牧場作業を体験する。(要相談)

●適正人員：1グループ25人

●対象：3歳以上

●所要時間：30分～1時間

●費用：1人 500円～

*引き馬体験内容

- ・ 1頭に3人(職員1名・従業員2名)が付き添うため安全です。
- ・ 初めての方は、付き添いの方の意見を伺い、対応します。
- ・ 乗馬ヘルメット無料貸し出し

●適正人員：1グループ25人

●対象：ポニー 3歳以上(体重70kg未満)
：サラブレッド 小学生以上

●所要時間：1時間(20人～30人)

●費用：1人 1,000円～

*乗馬体験内容

- ・ 乗馬の基本操作
止まる・進む・曲がる
を体験し、最後に速歩(はやあし)にチャレンジ!
- ・ 内容はお客様に合わせて調整いたします。

●適正人員：1グループ4人

●対象：ポニー 3歳以上(体重70kg未満)
：サラブレッド 小学生以上

●所要時間：1人 15分

●費用：1人 2,000円～

*ご希望の場所まで出張いたします。費用はご相談ください。

ご利用方法

事前予約制です。

利用できる日：通年(毎週木曜日を除く)

利用時間：9:30～16:00

申込～当日の流れ

①予約②プログラムの相談・下見③利用申込④当日実施

《問合せ・申込先》

社会福祉法人 巢立ちの杜 レオナルド・ダ・ヴィンチ牧場

TEL 027-288-2901 fax 027-289-9090

〒371-0105 前橋市富士見町石井1880-11

ご要望に合わせたプログラム・料金を提案させていただきます。

社会福祉法人 巢立ちの杜 レオナルド・ダ・ヴィンチ牧場とは？

知的障害者の方達が、馬を中心に展開される実際の仕事を体験的に学び、動物や人と触れ合うことにより生きる喜びを感じ、また働くことにより、家庭や地域で共に暮らせるように、社会的・経済的に自立できるよう支援し、一般就労に近い形態を提供することを目的としています。売り上げは全て、知的障害者の賃金として支払っています。

国立赤城青少年交流の家以外でもアドベンチャープログラムが体験できます。

千年の森アドベンチャープログラム

千年の森 J-wings とは？

標高 750m。群馬県昭和村の高原の清々しい森林の中、築 100 年の古民家のクラブハウスを中心に人工芝サッカーグラウンドが 2 面あります。近年注目されている、研修プログラムを通じて、効果的な組織、クラス作りやチームをまとめる手法（チームビルディング）、リーダーシップ、自己成長などを育成する「千年の森アドベンチャープログラム施設」です。また、合宿やゼミ学習などに最適な研修棟も完備！子どもからシニアまでスポーツを楽しめ、お客様の様々な用途でご利用いただける「スポーツ総合施設」です。企業研修や各種催しなど様々な要望に応えることが可能です。

●人数

5 名以上

●対象

小学生以上

●所要時間

3 時間～ 6 時間／日

●料金

施設利用料 + 指導料

1 日 3,500 円／人

（人数によりプログラム要相談）



千年の森アドベンチャーって??

1971 年にアメリカで生まれたプロジェクトアドベンチャーをモデルに作られたものです。「個人の可能性を最大限に発揮するチームビルディング」を目的とし、チーム・組織コミュニティーの一員として活躍する事が出来る人材の育成を目指すプログラムです。この研修ではそれぞれの人間が各自持っている価値観にふれながら、課題に取り組み、振り返りを行い、お互いの信頼性の構築や集団で行動していく為に何が大切か、参加者が自らの体験を通じて気づき、学んでいきます。

千年の森 J-wings

TEL : 0278-21-2377

FAX : 0278-21-2378

〒379-1205

群馬県利根郡昭和村大字川額 3716-595

<http://www.j-wings-sc.com>

千年の森



■年中無休

■お電話かHPメールフォームよりお問い合わせください。

■宿泊プランのプログラムも行っておりますので、お気軽にお問い合わせください。

■交流の家からバスで 1 時間強

赤城山の麓で農家が伝える食育・農業体験



伝えたいことがある。
本物にふれる特別な体験。

野菜の収穫体験

季節に応じた野菜の収穫体験。露地栽培やハウスでの収穫を気軽に行うことができます。
提供：良農園、渡邊ファーム

プリンづくり体験

採れたて新鮮な卵をつかって、プリンづくり体験。卵や鶏のことも学びながら美味しく体験できます。
提供：後閑養鶏園

納豆づくり体験

大豆の圃場見学や、納豆づくりを体験。大豆や納豆の奥深い世界を学ぶことができます。
提供：上州農産

鱒のつかみどり

鱒のつかみどりは、出張も可能。捕まえた鱒は、自分で捌いて、炭焼きにして、おいしくいただけます。
提供：大崎つりぼり

チーズづくり体験

酪農家が教える割けるチーズづくり体験。酪農のこと、チーズのことを伝えます。
提供：スリーブラウン

グリーンツーリズム

インストラクターが、赤城山南麓地域の見どころ、文化を伝えます。



理事長 林

こんにちは。
まえばし農学舎です。
農業仲間が集い、赤城山南麓地域で、食育や農業体験を提供しています。
野菜の収穫体験から、いのちをいただく体験まで、ご要望に合わせて提供します。



あかぎキッズファーム

一年をかけて子どもたちが畑を管理。収穫した野菜は、ファーマーズマーケットで販売します。
農家のやりがいや大変さ、楽しさを仲間たちと一緒に一年間学んでいます。



小さい子どもたちでも楽しめる食育ワークショップや野菜やチーズなどの即売会、地元食材を使用した調理体験なども提供しています。
お気軽にお問い合わせください。



NPO 法人 まえばし農学舎

www.maebashi-ngs.com

群馬県前橋市三夜沢町534とんとん広場内
Tel.027-283-2983

info@maebashi-ngs.com

Original Goods

スポーツ
クラブに!!

楽しい
イベントに!!

オリジナルグッズをつくらう!

どなたでも簡単に
1つから
作れます!

自分の好きなデザインを
さまざまなグッズにプリントいたします。



ハンドタオル

Tシャツ

マフラータオル

フォトスタンド

クリアファイル

感温マグカップ

フードプリントクッキー

パズル

サークル
友達と!!

マグカップ

缶バッジ

コースター

ゴルフボール

モバイルバッテリー

思い出の
プレゼント!!



SHIBAIRI PRINTING CO., LTD
Image Solution Company

芝入印刷株式会社

www.shibairi.co.jp

本社 [Head Office]

〒371-0833 群馬県前橋市光が丘町4-20
TEL:027-253-4937 FAX:027-253-4939

第二工場 [Second Factory]

〒379-2153 群馬県前橋市上大島町98-1
TEL:027-212-7133 FAX:027-212-7134

東京営業所 [Tokyo Office]

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-14-5
渋谷クリエ4F
TEL:03-6419-7191 FAX:03-6419-7903

印刷全般

- 折込チラシ・DM・ポスター・パンフレットなどの企画・制作・デザイン
- 写真撮影/他

総合広告代理

- 交通・屋外広告 (駅・電車・看板など) / 他

プロモーション

- 各種イベントの企画・実施/他

Web関連事業

- ホームページの企画・制作・運営管理
- ドメイン登録代行
- レンタルサーバー業務



撮影委託・イベントカメラマン派遣



体験学習！・企業研修！・各種イベント！

- ◆プロのカメラマンが、各種イベントを(写真・動画) しっかり撮影・記録・整頓・提出いたします。
- ◆撮影(写真・動画)はデータで提出いたしますので、クライアント様のHPやパンフレット・フライヤーに自由に利用できます。
- ◆データでご提出なので、写真の複数プリントが自由でカンタン！
- ◆4240万画素の高解像で撮影！ 一生に一度の大切なイベントを キレイに撮影いたします。

◆出張撮影・カメラマン派遣の基本料金表

項目	派遣基本料金	撮影時間	内容
写真撮影	20,000円	2,000円/(時間)	イベントの記録・各スナップ撮影1時間 / 約50枚～100枚撮影(JPG画像データ)
動画撮影	30,000円	2,000円/(時間)	イベントの記録・動画撮影 約30分程度の動画編集してDVDで提出
(写真+動画)撮影	40,000円	2,000円/(時間)	(動画)約30分程度の動画編集してDVDで提出 (写真)1時間 / 約20枚～50枚撮影(JPG画像データ)

※消費税は別途かかります。 ※イベント参加人数が15名以下は基本料金10,000円にいたします。
 ※イベント参加人数が100名を超える場合は別途お見積りとなります。 ご予算・イベントの内容で簡易撮影希望の場合お気軽にご相談ください。

お問い合わせ




 株式会社 <http://s-planplus.com/>
 エス企画 **HP × Movie**



〒371-0846 前橋市元総社町1-3-8 ポレスター
 TEL: 0120-605-262 携帯090-2569-3024



ソニーイメージングサポート プロカメラマン
佐藤 浩多

関越交通(株) 貸切・観光バスのご案内

様々なシーンでご利用いただけます!

社員旅行・研修旅行・グループ旅行に
結婚式・空港送迎・イベントの貸切送迎に
クラブ活動の遠征や社会見学遠足など学校行事に



大型

旅客定員 53名

正座席45席 + 補助席8席



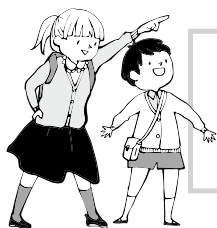
USB充電可

コンセント有

(電動リフト付)大型観光バスもあります!



車いす昇降用リフトを装備
(車いすに座ったまま乗降可能)
車いす固定スペースは2カ所ご用意



その他、旅の用途に合わせたプランをご提案いたします。お気軽にご相談下さい。

中型

旅客定員 28名

小型・マイクロバス

旅客定員 25名/28名

群馬県知事登録旅行業 第2-382号/JATA協会員・ANTA正会員

KES 関越交通株式会社

TEL.0279-20-1900

FAX.0279-24-5116 <http://www.kan-etsu.net/>

〒377-0007 群馬県渋川市石原303-1 渋川営業所内 観光部



周辺施設と教科の関連

※教科との関連については、教科の内容と施設での活動を十分検討する必要があります。

自然史博物館

(交流の家からバスで1時間30分)

お問い合わせ TEL:0274-60-1220 FAX:0274-60-1250

概要

『自然史』をテーマとし、生命の歴史や群馬県の自然を紹介しています。群馬県立自然史博物館では、地球の生い立ちを自然と生命の歩みとともに、分かりやすく展示しています。また、緑豊かな群馬の自然を館内に再現したエリアもあり、群馬の特徴的な動植物等を展示しています。

施設での活動

- ・生命の歴史や群馬県の自然に関する展示見学。

教科との関連 (例)

生活科 1・2年生

公共物や公共施設を利用する活動

理科 4年生

- ・人や他の動物について、骨や筋肉のつくりと働きに着目して、それらを関係付けて調べる活動
- ・身近な動物や植物について、探したり育てたりする中で、動物の活動や植物の成長と季節の変化に着目して、それらを関係付けて調べる活動

理科 6年生

- ・生物と環境について、動物や植物の生活を観察したり資料を活用したりする中で、生物と環境との関わりに着目して、それらを多面的に調べる活動

総合的な学習の時間

探究課題：環境に関すること
例：「群馬の自然について考えよう」



サンデンフォレスト

(交流の家からバスで約20分)

お問い合わせ TEL:027-285-3225 FAX:027-285-6681

概要

サンデンフォレスト・赤城事業所は、群馬県赤城山の南麓にあるサンデングループの事業所の一つです。2002年に自然と産業が矛盾なく共存できることをコンセプトに開発されました。開業当初から県内の小学生をはじめとして、工場見学や自然体験のフィールドとして活用されています。

施設での活動

- ・自動販売機工場・自動販売機ミュージアム見学
- ・森林環境教育・自然体験プログラム

教科との関連 (例)

生活科 1・2年生

- ・身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動
- ・身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動
- ・動物を飼ったり植物を育てたりする活動

社会 3年生

- ・地域に見られる生産や販売の仕事について、学習の問題を追究・解決する活動

社会 5年生

- ・我が国の工業生産について、学習の問題を追究・解決する活動
- ・我が国の国土の自然環境と国民生活との関連について、学習の問題を追究・解決する活動

総合的な学習の時間

探究課題：環境に関すること 例：「生き物を守ろう」



ぐんま昆虫の森 (交流の家からバスで約30分)

お問い合わせ TEL:0277-74-6441 FAX:0277-74-6466

概要

45ヘクタールの敷地に雑木林や棚田、畑、小川などの里山を再現。そこで暮らす昆虫を探し、手に取り、その生態をじっくり観察できます。昆虫観察館では里山の生きものや世界の昆虫をいつでも見ることができ、温室では、チョウを間近で観察できます。そのほか、昆虫クラフトやふれあいコーナーなど各種プログラムも楽しめます。



施設での活動

- ・昆虫を自分で探し、観察する。
- ・昆虫に関する展示を見学する。
- ・学習コーナーで昆虫について調べる。

教科との関連 (例)

生活科 1・2年生

- ・公共物や公共施設を利用する活動
- ・身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動

理科 3年生

- ・身の回りの生物について、探したり育てたりする中で、それらの様子や周辺の環境、成長の過程や体のつくりに着目して、それらを比較しながら調べる活動
- ・動物を飼う活動

理科 6年生

- ・生物と環境について、動物や植物の生活を観察したり資料を活用したりする中で、生物と環境との関わりに着目して、それらを多面的に調べる活動

カネコ種苗 ぐんまフラワーパーク (交流の家からバスで約15分)

お問い合わせ TEL:0120-1187-38

概要

一年を通して様々な花が楽しめます。子供達は迷路やアスレチックなどの遊び場でも楽しめます。その他にも押し花体験など体験活動もできます。さらに、5つのテーマ温室で雨の日も楽しめます。

施設での活動

- ・季節ごとの花などの植物を見学する。
- ・花などの植物の生態について知る。

教科との関連 (例)

生活科 1・2年生

- ・公共物や公共施設を利用する活動
- ・身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動
- ・植物を育てる活動

理科 4年生

- ・身近な動物や植物について、探したり育てたりする中で、動物の活動や植物の成長と季節の変化に着目して、それらに関係付けて調べる活動



6 安全基準

国立赤城青少年交流の家では、安心安全な自然体験活動を提供するために、下記の基準で活動の中止をお願いすることがあります。

事故ゼロでおかえりいただくための大切な考え方ですので、どうぞご理解いただくとともに、プログラムの企画時にも無理のない活動計画を立ててください。



交流の家施設内での活動

1 屋外活動

雷注意報(落雷)の発令時、10m以上の強風が吹いているとき、局地的豪雨が予測されているとき、濃霧のときは、外に出ることをやめていただくよう勧告することがあります。

落雷、倒木、行方不明などのおそれがあり、事故の可能性が高いと判断するためです。

2 オリエンテーリング、グリーンアドベンチャー

原則として上記「1 屋外活動」同様の判断をさせていただきます。

- 台風や強風後の倒木などにより、コースの安全性が確保できないと判断した場合は、ご利用いただけません。
- オリエンテーリングコースは、地域住民の協力により私有地にも立ち入っています。マナーを守ってご利用ください。
- オリエンテーリング東コースは、登山ルートを活用した上級者コースです。野外活動経験が少ない、もしくは団体が安全管理に関する体勢(例えばパトロール等)が取れていないと思われる場合は、西コースのみの利用をおすすめします。

3 キャンプファイヤー

原則として上記「1 屋外活動」同様の判断をさせていただきます。

- 特に風速5m以上の強風や落雷注意報については、予測された時点で屋内活動への変更を提案いたします。
- 必要以上に灯油を使用したり、花火を行うなど、自然環境や動植物に悪影響を及ぼし、参加者にも危険性が高いと判断した場合は、活動そのものを中止していただく場合があります。
- 活動場所までの移動や、衣服についてもご注意ください。詳細はP57～58をご確認ください。

4 ナイトウォーク

原則として、「1 屋外活動」同様の判断をさせていただきます。

- 特に強風や落雷注意報については、予測された時点で屋内活動への変更を提案いたします。
- 参加者を驚かしたり、暗闇で恐怖感をあおるような活動(きもだめし)は、禁止しています。
- 夜の活動については、特に安全に配慮がされている場合を除き、懐中電灯等をご使用ください。
- 周辺での熊の出没情報がある場合には、屋内活動への変更をお願いします。

施設外での活動

1 登山

雷注意報(落雷)の発令時、10m以上の強風が吹いているとき、台風の接近、局地的豪雨、濃霧等、及びそれが予測されているときは、中止を勧告しています。

- 登山にふさわしくない装備、行程に無理がある、安全管理する指導體制が整っていないときは、中止を提案させていただきます。
- 春季および秋・冬季は登山道に雪があることがあります。最新の情報を得て活動してください。

2 その他の施設外活動

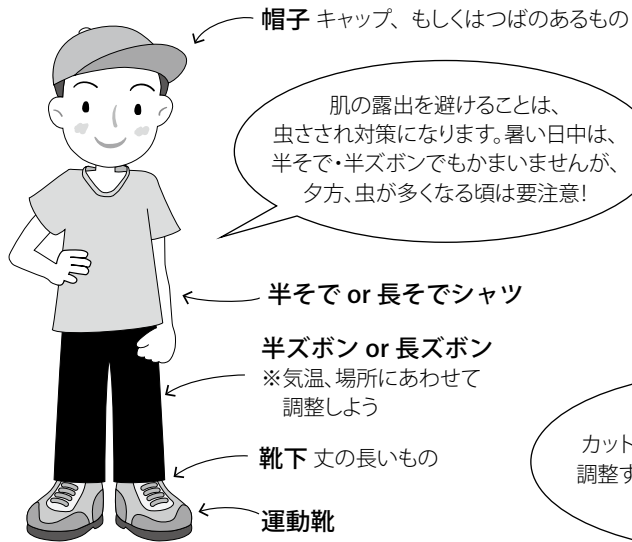
- 「1 屋外活動」と同様に対応いたします。
- それぞれの活動において危険が予測される場合には、中止や活動の変更を提案させていただきます。

7 服装・持ち物について

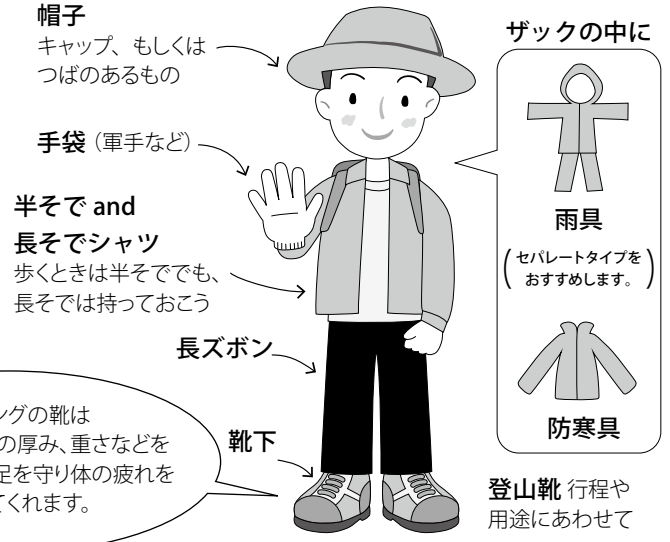
服装や持ち物の準備は、その活動をより楽しむため、そして事故を防ぐために必要不可欠です。季節だけでなく、地域の気候や活動、もしもの時などいろいろな用途を考えてしっかりと準備

しましょう。プログラムの指導を依頼する場合は、必ず事前に指導者と確認してください。

●通常スタイル



●ハイキングスタイル



●カッパについて

カッパは雨天に限らず、防寒着としても活用できる、野外活動の必需品です。

できればセパレートタイプを

上着とズボンの上下にわかれたセパレートタイプが一番活動に適しています。動きやすさに加え、ズボンがあるので、足元の濡れを防ぎます。

●防寒着

交流の家は標高約530mの場所にあります。前橋市街地より2~3℃気温が低く、朝晩は冷え込みます。

また、風が強い時期もあり、その場合、体感温度はさらに下がります。季節に関わらず、気温を過信せず、防寒着をお持ち下さい。

外側に着る服は、冷たい空気を入れず、中の暖かい空気を逃さないものが良く、特に赤城は防風性の高いものが重宝します。

●夏季の服装について

夏は熱中症予防のために涼しい服装がおすすめですが、短パンやサンダルの場合、虫さされの心配があります。特に足首まわりをブヨに刺されるケースが多くみられます。

転倒防止や虫さされ予防のために、くつ下を履き、靴着用がおすすめです。

●軍手について

「軍手」といっても、素材や編み方で様々な種類があります。やけどや怪我を防ぐために軍手を使いますが、軍手の選び方次第では、逆効果になることがあります。素材の特性を理解しておくことが身を守ることに繋がります。

○ 綿100%の軍手

熱の伝わり方が遅く、急に燃えたり溶けだすことがないので、化学繊維を含むものよりは危険は少ないと言えます。野外炊事などは必ず綿100%のものを選びましょう。

△ 化学繊維(アクリル、ポリエステル、ナイロン)の軍手

熱を通しやすく、熱いものに触れた場合、すぐに軍手が溶けだし、やけどをする危険性が大きいと言えます。

× ゴムびきの軍手(イボ付軍手など)

繊維だけの軍手よりは燃えにくいですが、火に近づけると、表面のゴムが溶け出して激しく燃え出し、非常に危険な状態になります。野外炊事等には適していません。

◎ 革手袋

熱湯がかかっても、まずやけどにはなりません。熱が手袋の内部に伝わる時間が繊維性の軍手より長くなります。革手袋は火を扱うときには、最も安全だと言えます。火を使う活動をされる引率の指導者の方などは、携行をおすすめします。

**軍手を過信したり、軽視したりすると、
いろんな事故につながります。**

～出典：日本キャンプ協会CAMPシート～

7 服装・持ち物について

■服装・持ち物一覧表

	タイトル	服装	持ち物
1	あかぎやま登山	帽子、軍手、防寒着（山頂は寒い）、カッパ（できればセパレートタイプ）、脱ぎ着できる動きやすい服装、運動靴	個人：ザック（両手があくもの）、飲み物、行動食、ヘッドランプ、時計、タオル、ゴミ袋 個人やグループ：地図、熊鈴 団体：救急用品、ガムテープ（テーピングテープ）、携帯電話（場所によっては使用不可）※必要に応じ、シート、ナイフ、非常食等 ※装備内容は、コース・経験度によって異なります。
2	オリエンテーリング	帽子、動きやすい服装、運動靴	個人：飲み物、カッパ（少雨決行）、グループ：筆記用具
3	アドベンチャーラリー	同上	同上
4	キャンプファイヤー	長袖長ズボン（虫刺され、怪我防止）、防寒着	団体：新聞紙、マッチ、救急用品、懐中電灯（移動に使用。グループごとにあるとよいでしょう）
5	たき火	軍手、長袖長ズボン（虫刺され、怪我防止）、防寒着	団体：新聞紙、マッチ、救急用品、懐中電灯（移動に使用。グループごとにあるとよいでしょう）
6	キャンドルファイヤー		団体：マッチ、救急用品
7	ウォークラリー	帽子、動きやすい服装、運動靴	個人：飲み物、カッパ（少雨決行）
8	富士見ウォークラリー	同上	個人：お弁当、飲み物、カッパ（少雨決行）
9	ネイチャーゲーム	帽子、動きやすい服装、運動靴	個人：飲み物、カッパ（少雨決行）
10	グリーンアドベンチャー	帽子、動きやすい服装、運動靴	個人：飲み物、カッパ（少雨決行）、グループ：筆記用具
11	星空観察	季節に応じた服装、運動靴	団体：懐中電灯 ※シート（寝ころがって眺めることができます）
12	あかぎ植物観察	帽子、運動靴、動きやすい服装（夏でも長袖長ズボン）	カッパ（少雨決行）
13	ナイトウォーク	帽子、動きやすい服装、運動靴	なし
14	あかぎアドベンチャープログラム(AAP)	帽子、動きやすい服装、運動靴、上履き（スリッパ、サンダル不可）	飲み物、カッパ（少雨決行）
15	レクリエーション	動きやすい服装、運動靴	個人：上履き（スリッパは不可）
16	館内ラリー	動きやすい服装	グループ：筆記具
17	館内フォトラリー	動きやすい服装	飲み物
18	グラウンドゴルフ	帽子、動きやすい服装、運動靴	飲み物
19	クッパ	帽子、動きやすい服装、運動靴	なし
20	キンボール	動きやすい服装、体育館シューズ	なし
21	ディスクゴルフ	帽子、動きやすい服装、運動靴	飲み物
22	ドラム缶ピザ&ポトフ	軍手（綿100%のもの）、帽子、長袖長ズボン（火傷のリスクを防ぎます）、運動靴、カッパ（会場まで距離があります）	個人：飲み物 団体：洗剤・クレンザー（環境にやさしいもの）、スポンジ・金たわし、新聞紙、マッチ、ふきん・雑巾、救急用品、懐中電灯（夕食作りの場合移動時に必要）
23	野外炊事	同上	同上
24	うどん打ち	エプロン、三角巾（バンダナ）	団体：ふきん・台拭き
25	凧づくり		個人：筆記具
26	土笛・オカリナ		個人：古タオル
27	陶芸		個人：古タオル
28	七宝焼		個人：筆記具
29	てん刻		個人：筆記具
30	切り絵（白黒・カラー）		個人：筆記具、消しゴム
31	新聞紙であそぶ		個人：筆記具
32	厚紙ブーメラン		個人：筆記具
33	ドリームキャッチャー		なし
34	スーパー竹とんぼ		団体：瞬間接着剤（1本で30名程度）
35	くるくるタネ		なし
36	かなな箸づくり		小さい袋、筆記具
37	勾玉（まがたま）		蛍光ペン（必要に応じて）
38	ミニサークルスタンド		個人：筆記具
39	プラホルダー		なし
40	森のこびん	帽子、動きやすい服装、運動靴	小さい袋、筆記具
41	押し花		個人：筆記具、消しゴム
42	森のパワーをさがしてみよう	帽子、長袖長ズボン、運動靴	個人：飲み物、軍手、タオル（首に巻ける長さのもの）、カッパ（少雨決行）
43	富士見ゆかりの偉人物語		個人：筆記用具

※医薬品の提供はできませんので、各団体で用意してください。特に虫よけスプレーや虫さされの薬は必携です。

8 プログラム指導のしかた(野外炊事編)

野外炊事について

薪で火をたいて、料理を行うことは、今の便利すぎる生活を見直す良い機会となります。火をおこす技術を身につけることは、たくましさや養育の意味でも大切なことです。ここでは、交流の家の用具を使って火おこしを行うポイントを紹介します。

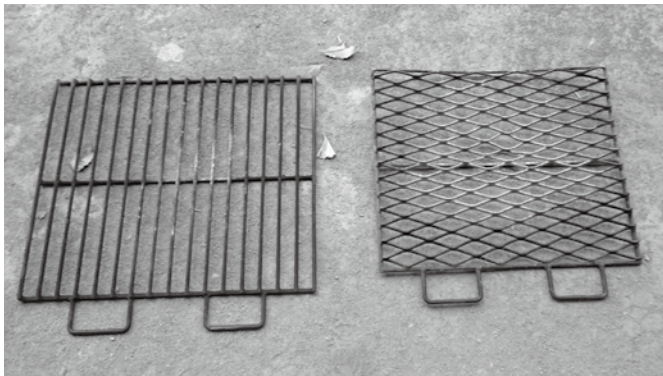
①交流の家では、専用の移動かまどを使います。(鍋2個用)



②鍋1個用のかまどもあります。



③2種類の網があります。格子状になっているものは下の段に、縦目になっているものは最上部に置きます。



④薪を組みます。まず、薪の束から太めの薪を選んで4段程度、井桁に組みます。



⑤焚きつけに新聞紙を使います。1枚あれば十分です。固くなる部分と、ひらひらした部分を作ります(新聞紙が多いと、灰が舞い、炊いたお米やカレーに入ることがあります。紙を使いすぎないようにしましょう)



⑥新聞紙と井桁に立てかけるように、細い薪を立てかけていきます。



⑦これで準備OKです。

⑧点火します。ただ火を燃やしているだけだと、薪がもたないないので、鍋の準備ができてから点火しましょう。



ワンポイントアドバイス!

- 新聞紙に火がついただけで安心してしまい、新聞紙が燃え尽きて消えてしまうことがあります。新聞紙についた火が薪に燃え移るようにすることが大切です。燃えている火の上に、薪のをせていきましょう。
- 6年生で学ぶ「ものの燃え方」を実践する良い機会です。燃えるものには何が必要かなどしくみを考えながら試行錯誤して火をつけるのも良い学習の機会となるでしょう。

9 プログラム指導のしかた(キャンプファイヤー編)

キャンプファイヤーの例

毎年多くの団体のみなさんが実施する定番プログラムですが、そもそもキャンプファイヤーとはどんな活動なのでしょう?楽しみ方は「大人数で盛り上がる」だけではありません。様々なキャンプファイヤーを知って、それぞれの集団にあったスタイルを見つけましょう。

キャンプファイヤーの種類

●セレモニアルファイヤー(儀式的火)

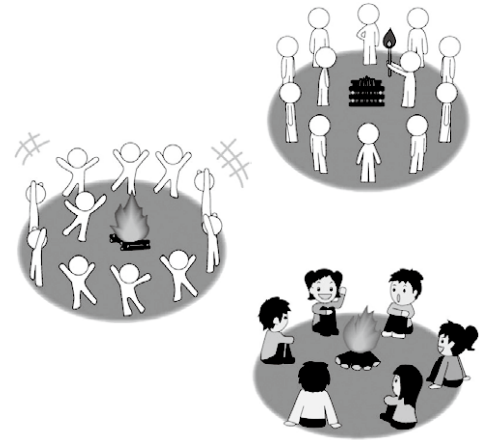
最初の点火や最後の分火(火を分けること)、キャンプ長の言葉や参加者の誓いなど、厳粛な雰囲気の中で行われるファイヤーです。

●ボンファイヤー(親睦の火)

参加者の親睦を深める目的で行われるファイヤーです。歌やゲーム、グループのスタンツ(出しもの)など、楽しい雰囲気で行われます。

●グループファイヤー(団らんの火)

少人数のグループで、小さな火を囲んで過ごすファイヤーです。グループワークを目的とした場合には特に有効で、大人数のファイヤーでは味わえないコミュニケーションや活動のふりかえりを行うことが可能です。



キャンプファイヤープログラムの組み方

キャンプファイヤーのプログラムを組むにあたってまず考えるべきことは、「キャンプファイヤーの目的は何か」ということです。「こうしなければならない」という決まったやり方はありません。目的に応じて自由にプログラムを組み立てましょう。

(プログラム例)

●第1部 点火

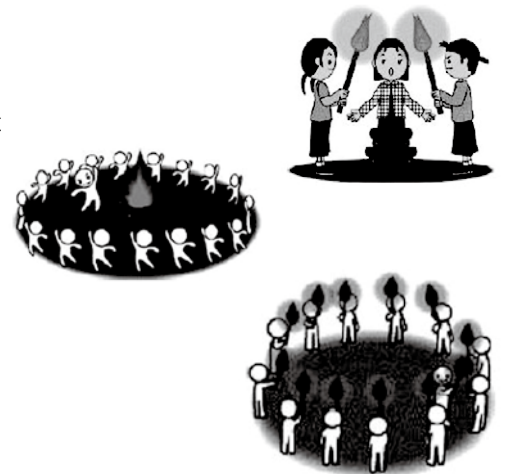
キャンプファイヤーに火をともし儀式で、厳粛な雰囲気で行います(約20分)

●第2部 交歓

参加者が主人公となるスタンツ(出しもの)や、歌・ゲームなどを中心に明るく楽しい雰囲気で行います。(約40分)

●第3部 分火

中央の火から、参加者に火を分ける儀式で、厳粛な雰囲気で行います。(約20分)



キャンプファイヤーの流れ

キャンプファイヤーの流れには大きな波があります。1部と3部は儀式が中心となることから、静かな雰囲気で行い、2部は親睦を目的としているので、にぎやかな雰囲気で行います。全体を通して、「静」と「動」の対比があるほど、感動も深いものになるでしょう。

2部の中でも、動きのあるもの・動きの少ないもの、耳をすますもの・大きな声を出すものなど、「静」と「動」をうまく組み合わせさせていきましょう。

キャンプファイヤーの役割分担

●営火長(ファイヤーチーフ)

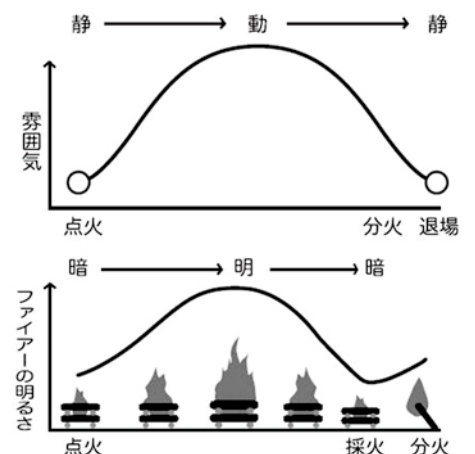
キャンプファイヤーの長です。集団全体の統括者や年長の指導者に引き受けてもらいます。セレモニーの始めや終わりスピーチをします。

●司会者(エールマスター)

ファイヤーの進行係です。1人で行う場合と、司会とは別にゲームの進行係をおく場合もあります。

●営火係(ファイヤーキーパー)

トーチの準備、プログラムに合わせた火の大きさの調節、ファイヤー中の安全管理など、裏方ですが、とても重要な役割です。



適正な時間・人数

【プログラムの時間】

参加者の年齢によって集中できる時間は異なります。幼児や小学校低学年では1時間以内に収めるようにしましょう。また、高校生や大学生を対象とした場合でも1時間程度にとどめましょう。就寝に向かう時間帯であり、翌日も活動は残っています。

【人数】

参加者の人数が50人程度であれば、ファイヤーを囲んで、正面の人の顔が確認できるほどの大きさの一重の円で実施することができます。しかし、100人のキャンプファイヤーでは一重の円になるのは難しく、全員が1つのことに集中することが難しくなります。マイクや拡声器などの音響も必要になります。夜の森に住む生物などに配慮することも必要です。狭い・暗い空間に人が密集すると事故につながりますので、大人数のファイヤーは危険度が高くなります。

トーチ作り

1. ポロ布を棒の片方の端にまきつける。
2. ポロ布の下側を針金で巻き、固定する。
3. ポロ布の上側に向かってくるくると巻いていき、上まで行ったら、下に巻き戻していく。
4. 針金の端をねじって止め、切る。
5. バケツなどに入れた灯油に布の部分浸す。

★ゆるまないように、しっかりと。全ての端を中に折り込んでおくと美しくできる。

★針金がたれないように、きつめに。

★布がはたけないように、一巻きずつ、きつめに。

★たれてこないように余分な灯油を切っておきましょう。

★針金の端が飛び出さないように止めておく。

薪組み

長時間もやし続けることができ、かつ明るく、安全ならばどのような組み方でも構いませんが、基本的なミックス型(井桁型+ティピー型)を紹介します。

ステップ1 ~仮組み

丸太を仮に組んでみてバランスをみる。上段が徐々に狭くなり、どちらかに傾き過ぎないように置いてみる。

ステップ2 ~芯の設置

古新聞で芯をつくる。燃えやすいようにシワシワにして薪を立てかけられるような形状にする。

湿気を避けるため薪を地面に敷き、その中央に芯を置く。

点火用のトーチ棒を差し込むスペースを確保するために、あらかじめ置いてみる。プログラムに合わせてトーチ棒の場所・本数は工夫しよう。

ステップ3 ~薪をつめる(ティピーを組む)

トーチ棒のスペースを確保しながら、まず木っ端をつめる。なるべく垂直に近い状態で一方に偏らないように数人で協力するとよい。

次にもう少し大きな木っ端、さらに太薪をつめていく。

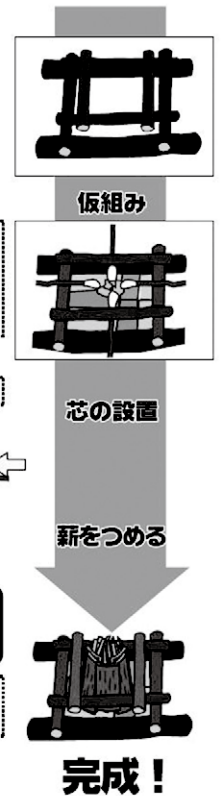
途中で何回か薪をしぼる。

ステップ4 ~仕上げ

木の皮の残る薪で外装する。丸太にも木の皮が残っているため、外観を合わせる。最後にトーチ棒を抜く。

「しぼる」とは、みんなで一緒に、組んである薪を中心に向かって押して、すき間を埋める作業のこと。しぼればしぼるだけ燃え上がるのに時間がかかる。プログラムの進行に合わせて。

最後につけた薪が崩れないようにそっとトーチ棒を抜き、作業のためにはずしておいた丸太を組んで完成!



針金がゆるかったり

布がはたけていたり

灯油をつけすぎたり

すると…

布の部分が焼け落ちる

灯油がたれてきて、身体に引火する

…など、大変危険です。十分に注意しましょう!

トーチができたら振って確認しましょう

ワンポイント! 子どもの身長より高いような薪組みは明らかに大きすぎです。灯油もできるだけ使わないようにし、夜の自然環境に配慮したキャンプファイヤーを心がけましょう。火のぬくもりを実感できるようなキャンプファイヤーにしましょう。

※太すぎず、長すぎない棒を使いましょう。

これがファイヤーキーパーだ!

ファイヤー中の役割

☆プログラムに合わせた炎の調節

☆安全管理

キャンパーが炎に近づきすぎないように気をくばります。

ファイヤーキーパーの服装・準備物

髪の毛を守るために、つばのあるぼうし又はバンダナ

長そで・長ズボン(綿製のもの)



軍手の上に革手袋

動きやすいくつ(サンダル不可)
タオル(汗ふきや、首を守る)

ヘッドランプ



点火用ライター



ファイヤー前後の役割

ファイヤー前

- ◇薪組み、トーチの準備
- ◇ファイヤー場付近の照明の調節
- ◇入退場進路・照明の確認
- ◇場内の木くず、ごみ等の清掃

ファイヤー後

- ◇消火、後片付けなど

～出典: 日本キャンプ協会CAMPシート～

10 教科等に関連付けた体験活動プログラム（例）

地域の伝統食をつくってみよう

1 単元名 小学5年「食べて元気に」

○学習指導要領 家庭 学習内容項目とのかかわり

B 衣食住の生活

(1) 食事の役割

ア 食事の役割が分かり、日常の食事の大切さと食事の仕方について理解すること。

(2) 調理の基礎

ア (ア) 調理に必要な材料の分量や手順が分かり、調理計画について理解すること。

(イ) 調理に必要な材料の分量や用具や食器の安全で衛生的な取扱い及び加熱用調理器具の安全な取扱いについて理解し、適切に使用できること。

(ウ) 材料に応じた洗い方、調理に適した切り方、味のつけ方、盛り付け、配膳及び後片付けを理解し、適切にできること。

(エ) 材料に適したゆで方、炒め方を理解し、適切にできること。

(オ) 伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理の仕方を理解し、適切にできること。

(3) 栄養を考えた食事

ア (ア) 体に必要な栄養素の種類と主な働きについて理解すること。

(イ) 食品の栄養的な特徴が分かり、料理や食品を組み合わせるとる必要があることを理解する。

2 学習過程と単元計画

学習過程	活動内容	時数	活動の場
生活の課題発見	(1) 毎日の食事を見つめよう (2) なぜ食べるのか考えよう ①五大栄養素のはたらき ②3つの食品のグループとそのはたらき	3	学校
解決方法の検討と計画 実践活動1	(3) おっきりこみ（すいとん）をつくろう ①地域の伝統食としてのおっきりこみ（すいとん）について知り、特徴を調べる。 ②小麦粉をつかった料理や汁の作り方を調べる。 ③宿泊体験学習で、おっきりこみ（すいとん）を作る計画を立てる。	4	学校
課題解決に向けた 実践活動2 実践活動の 評価改善	④小麦粉の特徴や水の分量を考えて、おっきりこみ（すいとん）をつくり、実に合わせた切り方や加熱の方法を考えて汁を調理する。 ⑤各班で味見をして感想を伝え合ったり、ねらいが達成できたか振り返ったりする。	3 1	施設
家庭・地域での 実践	(4) 家族に食事をつくってみよう *我が家のおっきりこみ（すいとん・みそ汁）調べをして、だし、醤油、みそ、実の組み合わせなどをまとめ、つくる。 ①我が家のおっきりこみ（すいとん・みそ汁）発表会を行う。	(1) 1	家庭 学校

3 国立赤城青少年交流の家での展開例【家庭科 135分（時数3）、特別活動 45分（時数1）】

調理計画をもとに、伝統食である、おつきりこみ（すいとん）を野外炊事で作り、実践を評価し合い、改善策を検討し、考えたことを表現することができる。

学習の流れ	活動内容	◎指導上の留意点	時間
学習課題をつかむ	○学校で立てた調理計画を各グループで確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 伝統食である、おつきりこみ（すいとん）を、野外炊事でおいしく作ろう </div>	◎衛生面、安全面に配慮する。	10分
調理する	○調理計画に沿って調理をする ・必要な道具の準備 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 【おつきりこみ（すいとん）】 ・小麦粉に少しずつ水を加えながら練り、生地をつくる。 ・生地をねかせておく。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 【かまど】 ・薪を割る。 ・薪を組む。 ・種火を作り、火を起こす。 ・薪の量で、火の大きさを調整する。 ・空気が入っていく置き方を工夫する。 *各班の燃えかけの薪を、一か所に集め、食事中に燃やし尽くすようにする。 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【汁】 ・だしを準備する。 ・実に合わせて切り方を変える。 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 【おつきりこみ】 ・打ち粉をしてのばし、幅2cm程度に切り、鍋に入れる。 【すいとん】 ・こまかくちぎり、煮立った鍋に入れる。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 【汁】 ・だしをとる。 ・実を入れる。 *火が通りにくいものから鍋に入れる。 ・醤油（みそ）を加える。 ・ネギなどの薬味を入れ、火からおろす。 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【おつきりこみ（すいとん）】 ・盛り付ける。 </div>	◎火起こしについては、火が付いたら材料の調理が終わるまで、大きくしないようにする。 ◎ねかせている間に、汁の準備をする。 ◎火の調整は、すぐにはできないので、鍋を置く場所を変えることで調整させる。 ◎危険な場合を除いて、活動を見守ることで、子供たちの思考力や判断力を高める。 ◎片づけられるものや洗えるものは、煮ている時間を利用して、分担して適宜行うようにする。	90分
試食	○試食し、火の通り具合などを確認する。 ○他のグループと一口ずつ交換し、感想を伝える。	◎班が多い場合は、事前に交流する班を決める。	30分
片付け	○食器や鍋を洗ったり、かまどを掃除したりして、片付ける。	◎元通りにきれいに片付けさせる。	20分
ふりかえり	○振り返りシートに、おつきりこみ（すいとん）を作った振り返りや、ほかのグループについての気付きを書く。 ○評価の高かったグループが特に気を付けたポイント等について共有し、改善方法を考える。	◎計画通りに炊事できたか、小麦粉の練り方、火加減やだし、実の切り方は適切だったか振り返らせ、家庭での実践計画を立てる。	30分

災害時でもご飯が炊ける方法を知ろう

1 新学習指導要領との関連

○学習指導要領 社会科〔第5学年〕 2 内容

(5) 我が国の国土の自然と国民生活との関連について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 自然災害は国土の自然条件などと関連して発生していることや、自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解すること。

(イ) 森林は、その育成や保護に従事している人々の様々な工夫と努力により国土の保全など重要な役割を果たしていることを理解すること。

(エ) 地図帳や各種の資料で調べ、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 災害の種類や発生の位置や時期、防災対策などに着目して、国土の自然災害の状況を捉え、自然条件との関連を考え、表現すること。

(イ) 森林資源の分布や働きなどに着目して、国土の環境を捉え、森林資源が果たす役割を考え、表現すること。

2 学習過程と単元計画

学習過程	活動内容	時数	活動の場・教科等
課題把握	(1) 日本で起こった自然災害について考えよう (2) 自然災害を防ぐための取り組みを調べよう (3) 地域のみんなで災害を防ごう ・防災炊事の方法などを調査する	3	学校 社会科
課題追究	(4) 防災炊事を行おう ①ビニル袋ご飯 ②ビニル袋オムレツ ③空き缶ご飯	2	交流の家 家庭科
実践活動の評価改善	(5) 防災炊事について振り返ろう ※「防災」の観点から、「電気が使えない」「使える水が限られている」といった状況下でも炊事ができることを理解する。	1	交流の家 社会科
家庭・地域での実践	(6) 自分ができる防災や避難の仕方をまとめよう ※単元終了後、家庭や地域に向けて発信することを期待する。	1 (1)	学校・家庭 社会科

3 国立赤城青少年交流の家での展開例【家庭科 2 時間 社会科 1 時間】

学習の流れ	活動内容	◎指導上の留意点	時間
学習課題の把握	1. めあてをつかむ。 ○災害時は、どんな不便なことがあるか考える。 ・電気が使えない。→電化製品が使えない。 ・水道が出ない。水が足りない。 →飲料水の不足。トイレ。洗濯。風呂。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">災害で停電や飲料水が限られているときでもご飯が炊ける方法を知ろう。</div>		15分

<p>野外炊事</p>	<p>2. 防災炊事のやり方を知る。 ○「ビニル袋ご飯」「ビニル袋オムレツ」「空き缶ご飯」の3通りの炊事の手順と準備する物について知る。</p> <p>3. 調理する。 【ビニル袋ご飯の手順】 (1) ビニル袋に米を入れる。 (2) ビニル袋に、水を入れ 30 分吸水させる。 ※水の量は、ビニル袋を斜めにして米の高さの 2 倍弱。 ※ 30 分の吸水でヌカ臭さがかなりとれる。 (3) ビニル袋の空気を抜いて、ビニル袋の口近くでしっかりしぼる。 ※空気が膨張したり、米が水を吸ってふくれたりするため。 (4) なべ底にクレンザーをぬり、水を入れる。なべにビニル袋を入れて、火にかける。 (5) 20~30 分で炊きあがる。目安は、袋の中の水が全部なくなったかどうかで判断する。 (6) 完成。ビニル袋ごと皿にのせて、ビニル袋から直接食べる。塩をふるなどして味付けしてもいい。</p> <p>【ビニル袋オムレツ】 (1) ビニル袋ご飯の応用として、簡単に調理できる「ビニル袋オムレツ」の説明を聞く。 (2) ビニル袋に卵を割り入れ、ベーコンやにんじん、ピーマンなどの具を入れて、袋の上から手でもんで混ぜる。 (3) 空気を抜くようにしてしぼり、ビニル袋ご飯と同じなべに入れて 10 分程度煮て完成。</p> <p>【空き缶ご飯の手順】 (1) 空き缶のふたを缶切りで切り取る。 (2) 安全のため、切り口のとがっている部分を、ペンチや金槌でつぶす。 (3) 空き缶に米を入れ、水を缶の半分程度入れる。 ※大人の手でグーを縦にした高さくらい。 (4) 30 分ほど吸水させる。 ※吸水させることで、米をとがなくてもヌカ臭さがとれる。 (5) アルミホイルでふたをして、爪楊枝などで真ん中に小さな穴をあける。 (6) 空き缶を火にかける。 (7) 穴から湯気が出て、その後、吹きこぼれが始まる。 (8) 吹きこぼれがおさまったら、5 分ほど弱火にする。 (9) 火からおろして、逆さにして 5 分ほど蒸らす。 (10) 完成。そのまま器にして食べてもいい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に身支度や安全指導について指導しておく。 ・説明は簡潔に行い、詳細については調理手順が書いてある用紙を提示して班ごとに活動できるようにする。 ・班の中で、3 通りの調理を分担し、同時進行で活動できるようにする。 ・ビニル袋に入っているのが最悪の場合、なべに入れる水はきれいでもなくても炊けることを説明する。 ・食器を洗う手間を省くことで節水につながることを理解する。 ・ビニル袋で作れることで、水も汚さず、油も使わないで調理できることを説明する。 (調理したお湯は別利用ができる。) ・切り口で手を切らないように軍手を使用する。 ・ご飯を炊いている時に出る湯気で火傷しないように気を付ける。 ・空き缶を火からおろす際に火傷しないように耐火手袋を使用させる。 ・食べる時に空き缶が熱い場合、軍手をして空き缶を持つように指導する。 	<p>90 分</p>
<p>食事</p>	<p>4. 班ごとにできたものを食べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出来上がった班から順次食事をとする。 	<p>30 分</p>
<p>片付け</p>	<p>5. 食器や鍋を洗い、片づけをする。</p>		<p>30 分</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>6. ふりかえりをする。 ○班ごとにお互いの感想を出し合うとともに、学校で話し合ったことなどと実際に体験して分かったことについて意見交流を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の話し合いで出した内容を提示して考えを比較させる。 	<p>15 分</p>

≪「防災」の観点から≫

- ・防災炊事は「電気が使えない」、「使える水が限られている」などの状況下でも炊事が可能。
- ・ビニル袋など身近にある物を使って簡単に炊事ができることを体験させ、またビニル袋を使うことで、油などを使わなくても調理ができ、さらに煮炊きで使ったなべの水を再利用できる。
- ・空き缶やビニル袋は、そのまま器として使うことで、洗う水が不要となり、貴重な水を大切に使える。
- ・災害時は「電気が使えない」ことが想定され、そういった時に、家によくある「ツナ缶」などで一時的に明かりとして使える「ツナ缶ランタン」なども時間に余裕があれば紹介できる。

小学校高学年

- 1 指導内容 希望と勇気、努力と強い意志 <内容項目 A-(5)>
- 2 主題名 目標のために
- 3 教材名 富士見ゆかりの偉人物語～12人の偉人たち～
- 4 ねらい 船津伝次平の生き方について話し合うことを通して、より高い目標に向かって努力しようとする心情を育てる。

5 展開例 (45分)

	学習活動 (時間)	主な発問 (予想される児童の反応)	支援及び指導上の留意点
導入	1. ねらいとする道徳的価値への方向付けを行う。 【5分】	○船津伝次平さんについて知っていることはありますか。 ・上毛かるたに出てくる人, 老農 ・老農ってなんだろう ○伝次平さんが高い目標をもって努力をしてきたことについて考えていきましょう。	○前橋市の旧富士見村にゆかりの偉人であることを紹介する。 ○本時のねらいに関わる問題意識をもたせる。
展開	2. 教材資料「富士見ゆかりの偉人物語」を読み、話し合う。 ・ペアで ・班ごとに ・学級全体で 【15分】 3. 目標に向けて頑張った経験について、考える場を設け、今までの自分を振り返る 【15分】	○伝次平さんはどんなことをした人ですか。(全国の農民に分かりやすく指導した人)(農業知識と技術を多くの人に広めた人) ◎伝次平さんは、どんな思いで全国を回り続けたのでしょうか。 ・日本中でたくさんの作物が取れるようにしたい。 ・日本にあった農業を日本中の人々に紹介したい。 ○高い目標に向かって頑張った経験を話し合しましょう。 ・サッカーの試合で優勝する為に練習を毎日頑張った。 ・ピアノの先生になりたいので、練習を毎日している。	○教材「富士見ゆかりの偉人物語 船津伝次平」を教師が範読する。 ○歴史的背景について説明を加えながら、伝次平さんの願いと信念に気づかせる。(人間理解) ○伝次平さんの生き方について、自分の考えを持って話し合えるよう、ワークシートに自分の考えを書かせてから発表させる。 ○少人数での話し合いを設定することで、努力してきたことや頑張れなかったことなどをお互いに聞き合い多面的・多角的に考えられるようにする。(他者理解) ○より高い目標をもって努力する大切さに関する記述が書かれていたら、紹介する。(価値理解)
終末	4. 本時の学習を振り返り、感じたことや考えたことを書いたり発表したりする。 【10分】	○今日の学習を振り返って、感じたことや考えたことを書きましょう。 ・伝次平さんには高い目標があったから、頑張れたのだな。	○より高い目標をもって努力することについて、自分の経験との関わりで書くように助言し、思いを継続させる。(価値理解)

参考図書：「ぐんまの道徳」農業の発展のために～船津伝次平～

富士見ゆかりの偉人物語

第2話 船津伝次平 目標のために

■伝次平さんは、どんな思いで全国を回り続けたのでしょうか。

■友達の考え

■高い目標に向かって頑張った経験を書きましよう。

小学校高学年

- 1 指導内容 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 <内容項目 C-(17)>
- 2 主題名 郷土のために
- 3 教材名 富士見ゆかりの偉人物語～12人の偉人たち～
- 4 ねらい 船津伝次平の生き方について話し合うことを通して、郷土の伝統や文化を大切に、先人の努力を知り、郷土を愛する心を育てる。

5 展開例 (45分)

	学習活動 (時間)	主な発問 (予想される児童の反応)	支援及び指導上の留意点
導入	1. ねらいとする道徳的価値への方向付けを行う。 【5分】	○船津伝次平さんについて知っていることはありますか。 ・上毛かるたに出てくる人。老農。 ・老農ってなんだろう。 ○伝次平さんが郷土のために努力をしてきたことについて考えていきましょう。	○前橋市の旧富士見村にゆかりの偉人であることを紹介する。 ○本時のねらいに関わる問題意識をもたせる。
展開	2. 教材「富士見ゆかりの偉人物語」を読み、話し合う。 ・ペアで ・班ごとに ・学級全体で 【15分】 3. 郷土の伝統や文化を大切にすることについて考える場を設ける。 【15分】	○伝次平さんはどんなことをした人ですか。 ・全国の農民に分かりやすく指導した人 ・赤城山に植林した人 ◎なぜ伝次平さんは、赤城山に松を植林したり赤城大沼構想を作ったりしたのでしょうか。 ・水争いが起きないようにするため。 ・田植えて水に困らないようにするため。 ・人々が食べることに困らないように。 ○伝次平さんについて郷土で大切に語り継がれているのはなぜでしょう。 ・伝次平さんがいたから、前橋市は水に困ることなく農業をすることができるようになったから。 ・恩人だから。 ・伝次平さんのように、自分ができることを努力して前橋市に貢献できる人が増えてほしいから。	○教材「富士見ゆかりの偉人物語 船津伝次平」を教師が範読する。 ○伝次平の偉業に気付けるように、どんなことをしたのか問いかける。(人間理解) ○自分の考えをもって話し合えるよう、ワークシートに自分の考えを書かせてから発表させる。 ○一人一人が自分の考えを発言できるように自分の考えをワークシートに書いてから少人数グループで話し合う。(他者理解) ○グループで話し合ったことについて全体に発表して、多面的・多角的に考えられるようにする。(価値理解)
終末	4. 本時の学習を振り返り、郷土の偉人について関心をもつ。 【10分】	○今日の学習を振り返って、自分の住んでいる地域にも、努力してみんなの役に立つことした人を知っていますか？ ・近くに銅像があったよ。	○富士見地域以外の自分の住んでいる地域の偉人について興味を持てるよう助言する。

参考図書：「ぐんまの道徳」農業の発展のために～船津伝次平～

富士見ゆかりの偉人物語

第2話 船津伝次平 郷土のために

■なぜ伝次平さんは、赤城山に松を植林したり赤城大沼構想を作ったりしたのでしょう。

■友達の考え

■伝次平さんについて郷土で大切に語り継がれているのはなぜでしょう。

「教科等に関連付けた体験活動プログラム」

簡易版

① 「森のパワーを探してみよう」

理科：小学6年生「生物と地球環境」

② 「あかぎアドベンチャープログラム」

学級活動：小学5年生「仲間とともに」

③ 「あかぎアドベンチャープログラム」

学級活動：中学1年生「高めよう、クラスのカ」

① 活動プログラム／森のパワーを探してみよう

小学6年 理科「生物と地球環境」

単元の 目標

生物と環境の関わりについて興味・関心をもって追究する活動を通して、生物と環境の関わりを推論する能力を育てるとともに、それらについての理解を図り、環境を保全する態度を育て、生物と環境の関わりについての見方や考え方をもちつことができるようにする。



◆ 学習過程と活動の流れ

学校での
学習
【1時間】

課題の把握

・生物と地球環境の関わりについて話し合う。

課題の探究

・生物は水とどのように関わっているか、実際に森林に入って観察する。

・地球上の水はどのように巡っているか、地球上の空気は生物とどのように関わっているか、実際に森林に入って観察する。

施設での
学習
【3時間】

・人は生活の中で空気や水、他の生物とどのように関わっているか、実際に森林に入って観察する。

課題の検証

学校での
学習
【4時間】

・これから地球環境とどのように関わっていけばよいか、観察したことをもとに考える。
・地球環境を守るためにできることを発表する。

◆ 育成する資質・能力

知識・技能

・生物は水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていること、また、生物どうしも互いに関わって生きていることを理解できるようにする。

思考力・判断力・表現力

・人や他の動物や植物は、互いに関わり合って生きていることを、自然界のつながりから考察し、自分の考えを図などを適切に使って分かりやすく表現できるようにする。

学びに向かう力

・生物と水や空気など周囲の環境との関わりについて、生活経験などをもとに、見通しをもって調べることができるようにする。



②活動プログラム／アドベンチャープログラム

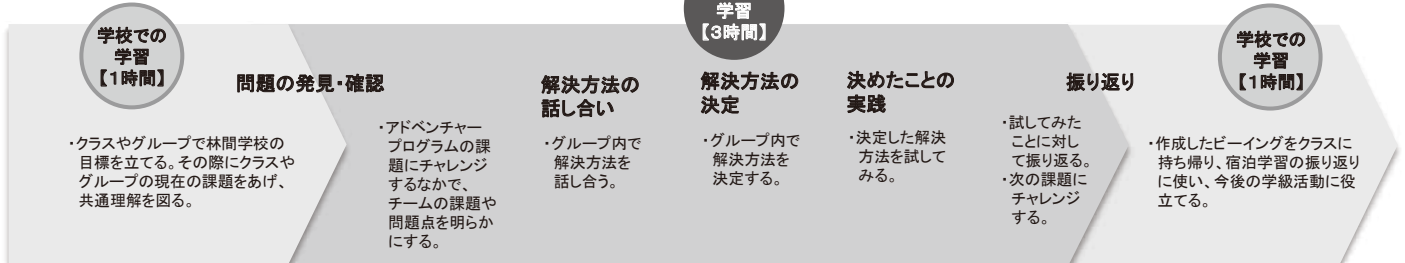
小学5年 学級活動「仲間とともに」



単元の目標

学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決および将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることや、自主的・実践的に取り組むことを通して、下に挙げる資質・能力を育成する。

◆学習過程と活動の流れ



◆育成する資質・能力

知識・技能
思考力・判断力・表現力
学びに向かう力

- ・学級や学校の生活及び校外における集団生活において、互いのよさを見付け、違いを尊重し合い、仲よくしたり信頼し助け合ったりして生活すること。
- ・学級や学校における生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践することができる。
- ・平素とは異なる生活環境の中での集団生活の在り方やよりよい人間関係の形成について考え、活用したり応用したりすることができる。
- ・学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとするすることができる。
- ・日常とは異なる環境や集団生活において、自然や文化などに関心をもち、積極的に取り組もうとすることができる。



③活動プログラム／アドベンチャープログラム

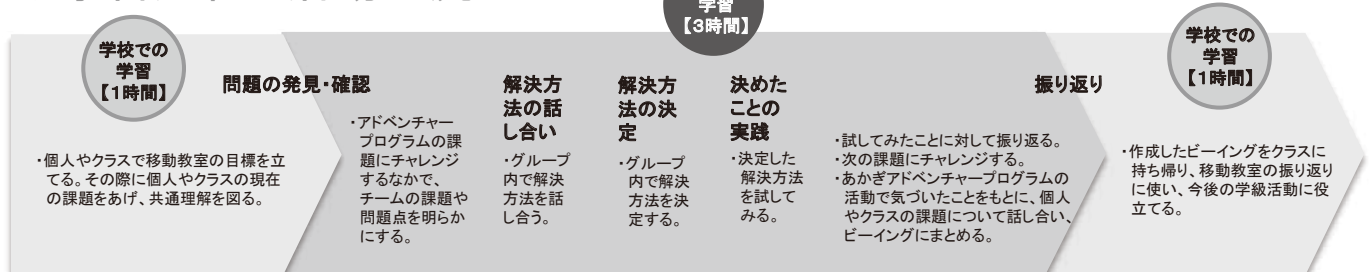
中学1年 学級活動「高めよう、クラスのカ」



単元の目標

自己の個性を見つめ、それを大切にしていこうとすることにより自己肯定感を高め、自己の確立や自己実現を図ることができるようにする。また、他者の個性を理解し互いに尊重しあうことにより、自己理解を一層深めるとともに、豊かな人間関係を構築することができるようにする。

◆学習過程と活動の流れ



◆育成する資質・能力

知識・技能
思考力・判断力・表現力
学びに向かう力

- ・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けることができるようにする。
- ・集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。
- ・自主的・実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養うことができるようにする。



7 よくある質問

利用に関する Q&A

Q：飲み物や食べ物の持ち込みはできますか？

A：食中毒防止のため年間を通じて食物の持ち込みはできません。飲み物は持ち込み可能です。ただし、アルコール類の持ち込みは年間を通じて禁止です。飲み物は、食堂・売店で販売しています。持ち込んだ物のゴミは必ずお持ち帰りください。なお、入所日に持参したお弁当のゴミは45ℓのゴミ袋1枚につき300円（ゴミ処分料）で処分できます。（要分別）

Q：『つどい』は参加しないといけませんか？

A：原則、宿泊者全員参加です。利用団体には「標準生活時間」にそった活動をお願いしています。一日のふりかえりや今後の予定など他団体の様子を知り、お互いに尊重し合い、活動をすすめられるように実施しています。ファミリーで宿泊する場合も同様です。ただし、野外炊事の実施など特別な場合は、ご相談ください。

Q：『食事・入浴』の時間は、どのように設定していますか？

A：予約受付後に、各団体の活動を考慮して事前に調整し、連絡いたします。

Q：障がい者対応状況を教えてください。

A：宿舎は、E棟2階が車イス対応です。

玄関から研修室、体育館、食堂、浴室棟、特別研修棟へ車イスで移動できます。階段昇降機が2ヶ所ございますので、団体内で協力し合って移動をお願いします。なお、下見の際は、必ず動線やトイレ等の確認をお願いいたします。ご希望事項は予約時に確認し、必ず「活動計画書1」（P79）に記入してください。詳細は事務室へ直接お問い合わせください。

Q：食物アレルギーにはどのように対応していますか？

A：毎月のメニューの他に、アレルギー表がありますので、HPをご覧ください。（基本、7大アレルギーで対応）

対応が必要な場合は、食堂売店（027-288-3333）に「食物アレルギー事前確認票」（P89）を提出し、よく相談してください。（食堂では、代替食等の対応をしています）

Q：冬季、雪はどのくらい降りますか？

A：当所の積雪量はそれほど多くありませんが突然の積雪、路面等の凍結や残雪が年間数回あります。冬季は、冬用タイヤの装着やタイヤチェーンの携行が必要です。道路状況は必要に応じてHPでお知らせしますので、気象庁等の情報とあわせて確認の上お越しください。当所付近で雪のプログラムはできません。赤城山の山頂（大沼周辺）ではスノーシューなどの活動が可能です。

Q：カーナビで検索したのですが、見つかりませんでした。何か良い方法はありますか？

A：平成18年4月に名称を変更いたしました。機種によっては、現在の名称や住所では検索できないものもあるようです。次のデータを参考に再度検索をお願いします。

- 旧名称：国立赤城青年の家
- 旧住所：群馬県（勢多郡）富士見村赤城山27
- 旧電話番号：027-288-3131

Q：領収書の発行はしてもらえますか？

A：現金でお支払いいただいた場合は、食堂売店から領収書を発行いたします。

そのため、領収書発行者名は『ユーレストジャパン（株）赤城店』になります。

領収書を分割して発行することもできますので、入所時、食堂での受付の時に売店職員にお申し出ください。

銀行振込及びコンビニ払込にてお支払の場合は、領収書は発行しておりません。

振込（払込）明細書がその代わりとなります。

Q：滞在中に洗濯やクリーニングはできますか？

A：プレイルーム1階に無料の洗濯機（6台）と有料の乾燥機（2台 100円で15分）があります。洗剤は食堂売店で購入するか持参してください。洗濯物を干すスペースはありません。洗濯・乾燥が終わったら衣服は紛失防止の為すぐ回収してください。クリーニングのサービスは行っておりません。

Q：利用者に緊急に連絡したい場合、取り次ぎは可能ですか？

A：まずは団体の代表者に直接連絡してください。代表者につながらず、事務室に電話をいただいた場合は、団体名、利用者名、緊急連絡の内容等をうかがって、代表者（利用者本人）にお伝えします。その後は代表者（利用者本人）と直接連絡してください。

Q：宅配便の利用はできますか？

A：交流の家宛に送ることは可能です。事前に事務室に連絡を入れてください。送り状には団体名、代表者名、利用日を必ず記入してください。記入のないものは受け取れません。交流の家から発送することもできます。その際は食堂売店で「料金着払い」のみ扱います。

プログラムに関する Q&A

Q：プログラムに必要な備品の事前予約はできますか？

A：予約はできませんが、活動計画書の提出の際に電話で確認してください。備品の内容や数は「(3) 貸出備品一覧」(P20～21)をご覧ください。(同じプログラムが複数団体で重なった場合は、施設で調整させていただきます)

Q：プログラムの費用の支払いは、いつどこですればいいですか？

A：食費などの他経費と一緒に、最終日、食堂売店で支払ってください。

※事後の振込み（銀行振込・コンビニ払込）も可能です。

薪や教材などは、購入数をお伝えいただき、最終日の支払い時に精算いたします。

Q：自主活動の場合は、どのようなサポートをしてもらえるのですか？

A：以下のサポートを行います。

①事務室にて、担当者との打ち合わせ（打ち合わせシートにて内容確認とアドバイス）

②必要な場合には、活動開始時に職員からの施設説明・安全面・後片づけ等に関する指導・連絡

Q：必要な教材は、どこで購入すればいいですか？

A：教材の購入方法はプログラムによって異なります。詳しくは「5 各プログラムの紹介」(P31～44)を参照ください。

Q：直接指導のプログラムをキャンセルしたい場合は、どのようにすればいいですか？

A：できるだけ早く連絡してください。材料の用意や、講師の予定を拘束する関係上、直前の場合は材料費や講師料を負担していただく場合もございます。

Q：ものづくりプログラムの支払いは、どのようにすればいいですか？

A：3週間前に講師の先生を決定し、ご連絡いたします。講師の先生がわかり次第、当日の流れやお支払い方法等について直接ご相談ください。

（振込か当日現金での支払いとなります）

プログラムに関して、わからないことがありましたら、電話等で気軽にご相談ください。

8 国立赤城青少年交流の家利用細則

独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立赤城青少年交流の家利用細則

制定 平成18年 4月1日
改正 平成26年 9月3日
改正 平成29年10月1日
改正 平成30年10月1日
改正 平成31年 2月1日

(趣旨)

第1条 独立行政法人国立青少年教育振興機構国立赤城青少年交流の家(以下「交流の家」という。)の利用に関し必要な事項については、独立行政法人国立青少年教育振興機構利用規則(平成18年独立行政法人国立青少年教育振興機構規程第5-1号)に定めるもののほか、この細則の定めるところによる。

(利用の申し込み)

第2条 交流の家を利用しようとする者は、所定の申込書を次の表に定める受付期間内に所長に提出するものとする。

利用人数・利用形態	受付開始時期	申込期限
10名以上の団体	次年度利用受付 10月1日10:00 今年度利用受付 随時	原則として、利用日の1ヶ月前
9名以下の団体	3ヶ月前	
日帰りの団体	2ヶ月前	利用日の前日

2 前項の規程にかかわらず、小・中・高・特別支援学校の学校団体については、所定の申込書を次の表に定める受付期間内に所長に提出することで、次年度の先行予約をすることができる。

学校団体	受付開始時期	申込期限
当該年度の利用実績のない学校団体(10団体程度)	6月中旬	6月中旬~下旬
当該年度の利用実績のある学校団体	6月下旬	6月下旬~7月上旬

(活動計画書の提出)

第3条 利用者は、利用予定日の2ヶ月前までに活動計画書(様式1、2)を提出するものとする。

2 利用予定日が2ヶ月を切っている場合には利用内定後、直ちに活動計画書(様式1、2)を提出するものとする。

(利用の承諾の通知)

第4条 前条の規定による申込みがあった場合は、その内容を検討し、必要に応じて活動計画について指導及び助言を行うとともに、施設・設備の状況等を勘案して利用の諾否を決定し、当該申込者に通知するものとする。

(禁止事項)

第5条 交流の家においては、次の各号に掲げる行為を行ってはならない。

- 一 特定の政党を支持し、又はこれに反対するための政治教育その他の政治的活動
- 二 特定の宗教を支持し、又はこれに反対するための宗教教育その他の宗教的活動
- 三 専ら営利を目的とする活動

(食事等)

第6条 利用者の食事は交流の家の食堂において提供するものとする。利用日の1ヶ月前までに食事申込書(様式3)、状況に応じて食物アレルギー事前確認票(様式4)を提出するものとする。ただし、特別の事情があると所長が認める場合は、この限りでない。

2 前項の食事の費用は、利用者の負担とする。

3 教材を購入する場合は、利用予定日の1ヶ月前までに教材申込書(様式5)を食堂に提出し、費用は利用者の負担とする。利用予定日が1ヶ月を切っている場合には直ちに提出するものとする。

(利用者の入・退所等)

第7条 利用者の入・退所等時間は、原則として9時から16時までの間とする。

2 利用者は、交流の家の生活に関するオリエンテーションを事前に視聴するものとする。ただし事前視聴が困難な場合、入所後オリエンテーションを受けるものとする。

3 利用者は、入所時に利用者名簿(宿泊者用)(様式6)及び利用者名簿(日帰り者用)(様式7)、利用団体票(様式8両面)を提出するものとする。ただし、様式6、7に即した内容であれば任意の書式で提出できるものとする。

(飲酒許可申請書兼許可書)

第8条 利用者は、懇親会等で飲酒を希望する場合は、予め、飲酒許可申請書兼許可書(様式9)を利用の申込時に提出し所長に申し込むものとする。

2 所長は、前項による申し込みがあった場合、飲酒の可否を決定し、許可する場合は場所及び時間を指定のうえ、当該申込者に通知する。

3 利用者は、所定の場所以外で喫煙してはならない。

(標準生活時間)

第9条 利用者は、所長の定める標準生活時間(別表)により生活するものとする。

2 前項の標準生活時間の中には、朝のつどい及び夕べのつどいの時間を設け、国旗及び所旗の掲揚・降納を行うものとする。

(宿泊室等の清潔保持)

第10条 利用者は、宿泊室等の清潔を保つため、相互に協力して清掃及び整理整頓に努めるものとする。

(破損亡失の弁償責任)

第11条 利用者は、故意又は重大な過失により交流の家の施設・設備を破損又は亡失したときは、その弁償の責を負うものとする。

(諸規則の遵守等)

第12条 利用者は、交流の家の諸規則を守り、他の利用者等に迷惑の及ぶ行為を行ってはならない。

2 所長は、前項の規定に違反した者に対して、退所を命ずることができる。

(利用承諾の取消)

第13条 所長は、交流の家を利用する者が次の各号のいずれかに該当する場合は、第3条の承諾を取り消すことができる。

一 第5条各号及び第12条第1項に違反するおそれがある場合

二 利用する2ヵ月前までに連絡がとれず、かつ活動計画書(様式1、2)が提出されない場合

三 その他所長が特に必要と認めた場合

(キャンセルについて)

第 14 条 利用者は、予約利用日に利用ができなくなった場合は利用取消連絡票(様式 10)を提出することにより、キャンセルすることができる。または、利用予定日を提示し必要事項を記入した任意の書式を提出することによりキャンセルすることができる。

(雑則)

第 15 条 この細則に定めるもののほか、必要な事項については所長が別に定める。

附 則

- 1 この細則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 名称を「国立赤城青少年交流の家利用規則細則」から「国立赤城青少年交流の家利用細則」に改め、この細則を平成 26 年 9 月 3 日から施行する。
- 3 この細則は、平成 29 年 10 月 1 日から施行する。
- 4 この細則は、平成 30 年 10 月 1 日から施行する。
- 5 この細則は、平成 31 年 2 月 1 日から施行する。

別表

標準生活時間

6:00	起床・寝具整理・洗面・清掃
7:00	朝のつどい
7:20～9:00	朝食 ※退所日の朝 8:45～退所点検
9:00～12:00	午前の活動時間
12:00～13:30	昼食
13:30～16:30	午後の活動時間
16:30	代表者会議
17:00	夕べのつどい
17:30～19:00	夕食
19:00～22:00	夜の活動時間 (屋外は、～ 21:00)
～ 23:00	片付け・就寝

注意事項

◆入退所可能時間
9:00～16:00

◆研修可能時間
開始… 9:00～
終了… 21:00 (屋外)
22:00 (屋内)

◆入浴時間
17:30～
代表者会議で決定
した終了時間まで

9 提出書類一覧

●2カ月前までに事務室に提出

①活動計画書1 (様式1)	79
(記入例)	78
活動計画書2 (様式2)	81
(記入例)	80
飲酒許可申請書兼許可書 (様式9)	83

●1カ月前までに食堂に提出

②教材申込書 (様式5)	85
③食事申込書 (様式3)	87
(記入例)	86
④食物アレルギー事前確認票 (様式4)	89
(記入例)	88

●当日入所受付時に提出

⑤利用者名簿〈宿泊者用〉 (様式6)	91
⑥利用者名簿〈日帰り利用者用〉 (様式7)	92
⑦利用団体票(表) (様式8)	93
⑧利用団体票(裏)	94

●キャンセル決定後すぐに

国立赤城青少年交流の家 利用取消連絡票 (様式10)	95
----------------------------	----

①活動計画書 1 記入例

利用 2ヶ月前までに提出

①活動計画書 1



国立赤城青少年交流の家
事務所 FAX:027-289-7226

新規 変更(6月 8日)

様式 1

記入日 年 月 日

※新規か変更か印をつけてください。
※変更の場合は変更点
分かるように記入してください。

(フリガナ) 団体名		マエバシシリツ アカギコウリュウ ショウガッコウ				変更時 初回の提出時は『新規』に、変更による再度提出は『変更』 にチェックをしてください。 変更時は、どこを変更したか分かるように記入してください。					
代表者	役職	赤城交流小学校校長	TEL	027 - 000 - 0000	<input type="checkbox"/> 自宅 <input checked="" type="checkbox"/> 勤務先						
	(フリガナ)	アカギ タロウ	FAX	027 - 000 - 0000	<input type="checkbox"/> 自宅 <input checked="" type="checkbox"/> 勤務先						
	氏名	赤城 太郎	携帯TEL	090 - 0000 - 0000							
団体住所 (代表者住所)		〒 371 - 0000 群馬県前橋市富士見町赤城△△									
研修担当者	役職	赤城交流小学校5学年担任	TEL	027 - 0000 - 0000	<input type="checkbox"/> 自宅 <input checked="" type="checkbox"/> 勤務先						
	(フリガナ)	マエバシ ハナコ	FAX	027 - 0000 - 0000	<input type="checkbox"/> 自宅 <input checked="" type="checkbox"/> 勤務先						
	氏名	前橋 花子	携帯TEL	080 - 0000 - 0000							
書類送付先 (研修担当者住所)		〒 371 - 0000 群馬県前橋市富士見町赤城△△				※団体住所と同じ場合は省略					
利用期間		入所: 20××年 8月 8日(○)(11時 00分)				2泊3日					
		退所: 20××年 8月 10日(△)(9時 45分)				※入退所は9時~16時まで					
利用形態		<input checked="" type="checkbox"/> 本館泊 <input type="checkbox"/> 谷のキャンプ場(張) <input type="checkbox"/> しらせぎフィールド(張) <input type="checkbox"/> 日帰り									
交通手段		<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス(3台) <input type="checkbox"/> 自家用車(台) <input type="checkbox"/> その他(台)									
宿泊利用人数	社会人		大学生等	高校生	中学生	小学生	未就学児	添乗員・カメラマン等		合計	うち引率
	30才以上	29才以下						30才以上	29才以下		
	男性	5						1			
女性	3				50			2		55	3
日帰利用人数	社会人		大学生等	高校生	中学生	小学生	未就学児	添乗員・カメラマン等		合計	うち引率
	30才以上	29才以下						30才以上	29才以下		
	男性	5									
女性		3								3	3
ねらい		*この研修を通してのスローガンや参加者にこうなってほしいなど、研修をする上での目標があれば書いてください。									
利用目的		<input type="checkbox"/> 事前打ち合わせ <input type="checkbox"/> 修学旅行 <input type="checkbox"/> 部活動 <input type="checkbox"/> 新入生オリエンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 集団宿泊的行事 <input type="checkbox"/> 青少年教育指導者・関係者研修 <input type="checkbox"/> 自然体験 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> 学習活動 <input type="checkbox"/> その他()									
利用経験		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 利用のきっかけ: <input type="checkbox"/> 知人 <input type="checkbox"/> Web <input type="checkbox"/> 他施設の紹介 <input checked="" type="checkbox"/> その他(毎年利用しているため)									
参加者のアレルギーの有無		該当者なし <input type="checkbox"/> 該当者あり <input checked="" type="checkbox"/> (卵アレルギーがあるので相談をしたいと思います。)									
エビ持参の有無		該当者なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当者あり <input type="checkbox"/>									
飲食物持ち込みの有無		なし <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> (※初日のお弁当のみ可)									
懇親会(飲酒)の有無		なし <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> (※ありの場合は、飲酒許可申請書を提出してください。)									
交流の家の利用細則に同意のうえ利用します。 はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> (いはいにチェックされた場合は、利用を取り消す場合があります。)											
◎要望等ありましたらお書きください。 ※他団体との調整がありますので、要望には添えないこともあります。 車椅子の男子児童がいるので配慮をお願いします。(E棟2F希望) 8月8日(1日目)の夜は、体育館の使用を希望します。											

当てはまる項目
にチェックして
下さい。

9 提出書類一覧

※上記の団体にかかわる個人情報については、今回の利用手続き、次年度以降の案内及び当所からの情報提供にのみ使用させていただきます。
情報は個人情報保護法の趣旨にのっとり厳重に管理し、法令等に定めがある場合を除き、代表者の同意を得ることなく第三者に開示することはありません。
※団体内で別々の活動を計画している場合、同一団体で本館泊とキャンプ泊を同時に利用する場合は、それぞれ別に計画書を提出してください。

利用 2ヶ月前までに提出

様式 1

① 活動計画書 1



記入日 年 月 日

新規 変更 (月 日)

※新規が変更印をつけてください。
※変更の場合は変更点が分かるように記入してください。

(フリガナ) 団体名											
代表者	役職	TEL	-		-		<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先				
	(フリガナ)	FAX	-		-		<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先				
	氏名	携帯TEL	-		-						
団体住所 (代表者住所)		〒 -									
研修担当者	役職	TEL	-		-		<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先				
	(フリガナ)	FAX	-		-		<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先				
	氏名	携帯TEL	-		-						
		E-Mail	携帯メール不可								
書類送付先 (研修担当者住所)		〒 - ※団体住所と同じ場合は省略									
利用期間	入所:	年 月 日 () (時 分)	泊		日						
	退所:	年 月 日 () (時 分)	※入退所は9時~16時まで								
利用形態	<input type="checkbox"/> 本館泊 <input type="checkbox"/> 谷のキャンプ場 (張) <input type="checkbox"/> しらさぎフィールド (張) <input type="checkbox"/> 日帰り										
交通手段	<input type="checkbox"/> 貸切バス (台) <input type="checkbox"/> 自家用車 (台) <input type="checkbox"/> その他 (台)										
宿泊利用人数	社会人		大学生等	高校生	中学生	小学生	未就学児	添乗員・カメラマン等		合計	うち引率
	30才以上	29才以下						30才以上	29才以下		
	男性										
女性											
日帰利用人数	社会人		大学生等	高校生	中学生	小学生	未就学児	添乗員・カメラマン等		合計	うち引率
	30才以上	29才以下						30才以上	29才以下		
	男性										
女性											
ねらい	*この研修を通してのスローガンや参加者にこうなってほしいなど、研修をする上での目標があれば書いてください。										
利用目的	<input type="checkbox"/> 事前打ち合わせ <input type="checkbox"/> 修学旅行 <input type="checkbox"/> 部活動 <input type="checkbox"/> 新入生オリエンテーション <input type="checkbox"/> 集団宿泊的行事 <input type="checkbox"/> 青少年教育指導者・関係者研修 <input type="checkbox"/> 自然体験 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> 学習活動 <input type="checkbox"/> その他 ()										
利用経歴	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		利用のきっかけ: <input type="checkbox"/> 知人 <input type="checkbox"/> Web <input type="checkbox"/> 他施設の紹介 <input type="checkbox"/> その他 ()								
参加者のアレルギーの有無	該当者なし <input type="checkbox"/> 該当者あり <input type="checkbox"/> ()										
エビデン持参の有無	該当者なし <input type="checkbox"/> 該当者あり <input type="checkbox"/>										
飲食物持ち込みの有無	なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> (※初日のお弁当のみ可)										
懇親会(飲酒)の有無	なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> (※ありの場合は、飲酒許可申請書を提出してください。)										
交流の家の利用細則に同意のうえ利用します。 はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> (いはいにチェックされた場合は、利用を取り消す場合があります。)											
◎要望等ありましたらお書きください。 ※他団体との調整がありますので、要望には添えないこともあります。											

キリトリ

※上記の団体にかかわる個人情報については、今回の利用手続き、次年度以降の案内及び当所からの情報提供にのみ使用させていただきます。情報は個人情報保護法の趣旨にのっとり厳重に管理し、法令等に定めがある場合を除き、代表者の同意を得ることなく第三者に開示することはありません。※団体内で別々の活動を計画している場合、同一団体で本館泊とキャンプ泊を同時に利用する場合は、それぞれ別に計画書を提出してください。

① 活動計画書 2 記入例 活動計画書 1 と合わせて提出をお願いします。

様式 2

① 活動計画書 2 (団体名: 赤城交流小学校) 担当者氏名 (前橋 花子) 新規 変更 (○月△日)

○月	○日	(水)	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	宿泊人数
時間	晴天	朝食	11:00入所	有・無	有・無	昼食	13:30 創作活動 切り絵・篆刻・七宝焼	代表者会議	夕食	19:00 キャンプファイヤー	就寝準備	消灯	男 58 名					
活動内容	晴	朝食	11:00入所	有・無	有・無	昼食	13:30 創作活動 切り絵・篆刻・七宝焼	代表者会議	夕食	19:00 キャンプファイヤー	就寝準備	消灯	女 55 名					
有料講師	朝のつどい	朝食	11:00入所	有・無	有・無	昼食	13:30 創作活動 切り絵・篆刻・七宝焼	代表者会議	夕食	19:00 キャンプファイヤー	就寝準備	消灯	計 113 名					
雨天	洗面・清掃	朝食	11:00入所	有・無	有・無	昼食	13:30 創作活動 切り絵・篆刻・七宝焼	代表者会議	夕食	19:00 キャンプファイヤー	就寝準備	消灯						
有料講師	朝のつどい	朝食	11:00入所	有・無	有・無	昼食	13:30 創作活動 切り絵・篆刻・七宝焼	代表者会議	夕食	19:00 キャンプファイヤー	就寝準備	消灯						
○月	△日	(木)	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	宿泊人数
時間	晴天	朝食	9:30 野外炊事 (カレー作り)	有・無	有・無	昼食	14:30 オリエnteering	代表者会議	夕食	18:45 ナイトワーク	就寝準備	消灯	男 58 名					
活動内容	晴	朝食	9:30 野外炊事 (カレー作り)	有・無	有・無	昼食	14:30 オリエnteering	代表者会議	夕食	18:45 ナイトワーク	就寝準備	消灯	女 55 名					
有料講師	朝のつどい	朝食	9:30 野外炊事 (カレー作り)	有・無	有・無	昼食	14:30 オリエnteering	代表者会議	夕食	18:45 ナイトワーク	就寝準備	消灯	計 113 名					
雨天	洗面・清掃	朝食	9:30 野外炊事 (カレー作り)	有・無	有・無	昼食	14:30 オリエnteering	代表者会議	夕食	18:45 ナイトワーク	就寝準備	消灯						
有料講師	朝のつどい	朝食	9:30 野外炊事 (カレー作り)	有・無	有・無	昼食	14:30 オリエnteering	代表者会議	夕食	18:45 ナイトワーク	就寝準備	消灯						
○月	□日	(金)	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	宿泊人数
時間	晴天	朝食	9:45 退所	有・無	有・無	昼食		代表者会議	夕食									男 名
活動内容	晴	朝食	9:45 退所	有・無	有・無	昼食		代表者会議	夕食									女 名
有料講師	朝のつどい	朝食	9:45 退所	有・無	有・無	昼食		代表者会議	夕食									計 名
雨天	洗面・清掃	朝食	9:45 退所	有・無	有・無	昼食		代表者会議	夕食									
有料講師	朝のつどい	朝食	9:45 退所	有・無	有・無	昼食		代表者会議	夕食									

食事
食事の欄には、＜食堂・野外炊事・弁当＞のいずれかにマル(○)をつけてください。
※こちらの記入だけでは食堂申し込みになりません。
『食事申込書』で別途、食堂に申し込んでください。

有料講師
有料講師を依頼したい場合は『有料講師』欄の有にマル(○)を、自主活動の場合は無にマル(○)をつけてください。

プログラム記入
会場を調整する際に必要となるので、活動で「何をやるのか」具体的に記入してください。
また、雨天時のプログラムも忘れずに記入してください。
＜例＞
集団活動→レクリエーション
動き回することを想定し、会場調整ができます。

◆ 記入要領
①活動内容：予約時の内容をふまえて記入してください。※活動場所は予約時に調整しています。
②有料講師：有料講師を依頼したい場合は『有』に○をつけてください。有料講師の午後活動は 13:30 からです。

◆ 留意事項
・食事と入浴の時間は、各団体の活動を考慮して調整します。
・有料講師の料金や適正人数など、活動についての詳細はプログラム紹介 (P31～) を参照。

①活動計画書2 (団体名:) 担当者氏名 () □新規 □変更 (月 日)

時間	月 () 日 ()												宿泊人数						
	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
活動内容	晴天	洗面・清掃	朝食 食堂・ 野外炊事 弁当	有・無	有・無	有・無	朝食 食堂・ 野外炊事 弁当	有・無	有・無	有・無	代表者会議	夕べのつどい	夕食 食堂・ 野外炊事 弁当	有・無	有・無	有・無	就寝準備	消灯	男 女 計
	有料講師																		
	雨天	有料講師	晴天	有料講師															
	有料講師	晴天	有料講師	雨天	有料講師														

時間	月 () 日 ()												宿泊人数						
	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
活動内容	晴天	洗面・清掃	朝食 食堂・ 野外炊事 弁当	有・無	有・無	有・無	朝食 食堂・ 野外炊事 弁当	有・無	有・無	有・無	代表者会議	夕べのつどい	夕食 食堂・ 野外炊事 弁当	有・無	有・無	有・無	就寝準備	消灯	男 女 計
	有料講師																		
	雨天	有料講師	晴天	有料講師															
	有料講師	晴天	有料講師	雨天	有料講師														

時間	月 () 日 ()												宿泊人数						
	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
活動内容	晴天	洗面・清掃	朝食 食堂・ 野外炊事 弁当	有・無	有・無	有・無	朝食 食堂・ 野外炊事 弁当	有・無	有・無	有・無	代表者会議	夕べのつどい	夕食 食堂・ 野外炊事 弁当	有・無	有・無	有・無	就寝準備	消灯	男 女 計
	有料講師																		
	雨天	有料講師	晴天	有料講師															
	有料講師	晴天	有料講師	雨天	有料講師														

国立赤城青少年交流の家

送信先 FAX 番号

027-289-7226

☆記入にあたっては、「施設利用ガイドブック」の関連ページや記入例 (P80) を参考にしてください。

☆退所する日は8:45～退所点検を受けていただきます。

☆食事 (食堂利用) と入浴時間は各団体の活動を考慮して調整します。

飲酒許可申請書兼許可書

20 年 月 日

国立赤城青少年交流の家所長 殿

団 体 名	_____
代 表 者	_____
連絡担当者	_____
電 話	_____

下記のとおり、懇親会等で飲酒を希望するため申請します。
また、飲酒にあたり、下記の注意事項を遵守します。

記

日 時	_____	年 月 日	時 分	～	時 分
参加予定人数	_____	名			

注意事項

- ・飲酒できる時間は午後 10 時までです。
 - ・飲酒ができる場所は、なごみの間、和室、プレイルーム 2 階のみとなります（午後 7:30 以降は食堂を会場としても可）。
 - ・後片付けは、各自責任をもって行ってください。
 - ・酒類・食物の持ち込みは禁止です。食堂で購入してください（食事申込書で注文してください）。
 - ・未成年者には絶対に飲酒をさせないでください。
 - ・飲酒をせずに緊急時に対応できる成人の方を 1 名以上決めるとともに、団体内でその所在を周知してください。また、その方の緊急連絡先（携帯電話番号）を当所にお知らせください。
 - ・他団体の迷惑になる行為はしないでください。迷惑になると当所職員が判断した場合は、懇親会等の実施中でも飲酒許可を取り消す場合があります。
- ※ 本申請書は活動計画書 1・2 とともに提出してください。

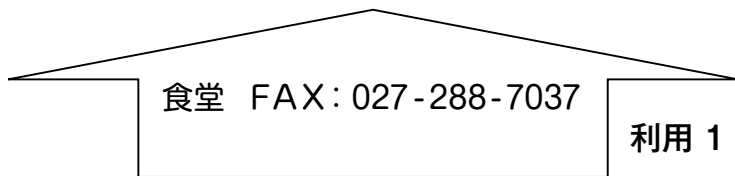
注意事項を厳守することを条件に、下記のとおり許可します。

記

日 時	_____	年 月 日	時 分	～	時 分		
参加予定人数	_____	名	場所：なごみの間	・	和室	・	プレイルーム 2 階

受付年月日 _____

国立赤城青少年交流の家 所長 _____



利用 1 ヶ月前までに提出

新規 変更 (月 日)

② 教材申込書

※新規か変更印をつけてください。
 ※変更の場合は変更点が分かるように記入してください。

団体名		記入日	年	月	日	No.
記入者		電話番号 (連絡先)	-		-	

活動内容			月 日 ()		月 日 ()		月 日 ()	
	押し花用色紙	110円	雨プロ	人分	雨プロ	人分	雨プロ	人分
スーパー竹とんぼキット	110円	雨プロ	人分	雨プロ	人分	雨プロ	人分	
ミニサークルステンド	320円	雨プロ	人分	雨プロ	人分	雨プロ	人分	
勾玉 (まがたま)	350円	雨プロ	人分	雨プロ	人分	雨プロ	人分	
くるくるタネ	410円	/	人分	/	人分	/	人分	
プラホルダーキット	250円	雨プロ	人分	雨プロ	人分	雨プロ	人分	
森のこびん	210円	雨プロ	人分	雨プロ	人分	雨プロ	人分	
かなな箸づくり	150円	雨プロ	人分	雨プロ	人分	雨プロ	人分	

- ※ 当所の教材を購入される場合に記入してください。
- ※ 変更が生じた場合は「変更」の□に印を入れ、再度FAXにて提出してください。
- ※ 雨天などで、予定した野外活動ができない時にのみ購入する場合は、『雨プロ』に○をつけてください。(予定の野外活動を実施した場合は購入しなくてよい)
- ※ 有料講師を依頼するプログラムの材料費は、担当する有料講師に直接問い合わせてください。

◆コピーしてご利用ください。

<記入例>

団体名	前橋市立赤城交流小学校	記入日	20XX年 7 月 1 日	No.	1
記入者	前橋 花子	電話番号 (連絡先)	027-000-0000		
		8月8日(月)	8月9日(火)	8月10日(水)	
押し花用色紙	110円	雨プロ 20人分	雨プロ 人分	雨プロ	人分
スーパー竹とんぼキット	110円	雨プロ 人分	雨プロ 人分	雨プロ	人分
ミニサークルステンド	320円	雨プロ 人分	雨プロ 人分	雨プロ	20人分
勾玉 (まがたま)	350円	雨プロ 人分	雨プロ 20人分	雨プロ	人分
くるくるタネ	410円	/	人分	/	人分
プラホルダーキット	250円	雨プロ 人分	雨プロ 人分	雨プロ	人分
森のこびん	210円	雨プロ 人分	雨プロ 人分	雨プロ	人分
かなな箸づくり	150円	雨プロ 人分	雨プロ 人分	雨プロ	人分

キリトリ

③ 食事申込書記入例

ご利用の1ヶ月前までに提出をお願いします。



③ 食事申込書

食堂 FAX: 027-288-7037
※他のFAX送信票と番号が異なりますのでご注意ください。

新規 変更 (月 日)

記入日 20XX 年 5 月 1 日 NO. 1

団体名	前橋市立赤城交流小学校	
団体住所	群馬県前橋市富士見町△△	
記入者	前橋 花子	連絡先電話番号 027-000-0000 連絡先FAX番号 027-000-0000

※団体担当者様へ 参加者の食物アレルギー該当者・対応の有無をチェックして下さい。
該当者なし□ 該当者あり・対応なし□ 該当者あり・対応あり□ (別途、食物アレルギー事前調査票を提出して下さい。)

食事	8 月 8 日 (月)			8 月 9 日 (火)			8 月 10 日		
	朝食	昼食	夕食	朝食	昼食	夕食	朝食	昼食	夕食
食 堂	中学生以上	食	食	13 食	13 食	食	13 食	13 食	食
	小学生	食	食	100 食	100 食	食	100 食	100 食	食
	幼児 (3歳以上)	食	食	食	食	食	食	食	食
弁 当	赤城 魚・肉団子	幕の内	食	食	食	食	食	食	食
		おにぎり	食	食	食	食	食	食	食
	榛名 コロッケ・唐揚げ	幕の内	食	食	食	食	食	食	食
		おにぎり	食	113 食	食	食	食	食	食
	妙義 ハンバーグ・エビフライ	幕の内	食	食	食	食	食	食	食
		おにぎり	食	食	食	食	食	食	食
袋希望 (※1)		有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
受渡時間 (※2)		:	9 : 00	:	:	:	:	:	:
受渡場所 (※3)		売・玄・セ	売(玄)セ	売・玄・セ	売・玄・セ	売・玄・セ	売・玄・セ	売	売
野 外 炊 事	メニュー					カレーライス			
	8人セット	×	×	×	×	14	×	×	×
	4人セット	×	×	×	×	1	×	×	×
	ごはん炊きあげ (※4)					希望			
	炊きあげ受取時間	:	:	:	:	11:00	:	:	:
自主メニュー									
特別注文		スポーツドリンク 500ml	お茶 500ml	ペットボトル130本					
宿泊人数	男 女 計	58 55 113	58 55 113						
シーツ借受組数	本館	キャンプ場 (どちらかに○をつけてください)	シーツ計	113 組					

・右上の新規・変更の部分と表下段の本館・キャンプ場の部分はどちらかに○をつけてください。
 ・(※1) お弁当袋を希望する場合は有に、希望しない場合は無に○をご記入ください。
 ・(※2) お弁当の受渡時間については、ご希望の時間を記入ください。
 ・(※3) お弁当の受渡場所は、<食堂売店・管理研修棟玄関前・センター棟>から選び、食堂売店は「売」、管理研修棟玄関前は「玄」、センター棟は「セ」に○をつけてください。
 ・(※4) ごはん炊きあげ(1人分80円)を希望する場合は、必ず「希望」と明記してください。

アレルギー 団体で参加者の健康調査を必ず行って下さい。

食堂 食数を年齢ごとに書いてください。

お弁当 注文数を書いてください。お弁当は6種類あります。選んで、食数・受取希望時間・場所もお書きください。

野外炊事 メニューは利用ガイドP18を参考にしてください。8人セットか4人セットか注文数をお書きください。

自主メニュー 食材等は食堂に相談・注文してください。

特別注文 大量購入したいものをお書きください。(売店にあるもの)野外炊事や登山時等の飲料もご記入ください。※「うどん打ち」「おつきりこみ」はこの欄に人数をお書きください。

シーツの必要枚数 小さなお子さんがいる場合、宿泊者数と一致しないこともあります。

◆ 記入要領・・・上記の表で着色部分が記入欄になります。必要な箇所のみ記入してください。

- ※特別注文：野外炊事や登山時の飲料、懇親会時の飲食(軽食) 類等です。食堂にお問い合わせください。
- ※野外炊事：メニューについてはP18「②食事にかかる料金」を参考に記入してください。
- ※8人セット又は4人セットでの注文になります。必要人数に応じて注文してください。
- ※特別注文品と野外炊事自主メニューについては、食材によって調達に時間がかかる品目もありますので、お早めに電話にてご相談・ご確認ください。
- ※食中毒防止のため、食材などの持ち込みはご遠慮ください。
- ※アレルギーなどの特別な配慮を必要とする場合は、お電話でご相談ください。(2週間以上前をお願いいたします。)

◆ 食事・野外炊事用食材等の<食数の変更>について

食堂・お弁当：ご利用前日の16時まで
 野外炊事用食材・特別注文品：ご利用する7日前の16時まで
 ※変更期限を過ぎますと、お申し込みいただいている食数分をお支払いいただくことになります。
 ※キャンセルについては、キャンセル料が発生する場合があります。

9 提出書類一覧

< 86 >

利用1ヶ月前までに提出

③食事申込書



食堂 FAX:027-288-7037

※他のFAX送信票と番号が異なりますので
ご注意ください。

新規 変更 (月 日)

※新規か変更印をつけてください。
※変更の場合は変更点が分かるよう
に記入してください。

団体名										記入日	年	月	日	NO.
団体住所	〒 -													
記入者										連絡先電話番号				
										連絡先FAX番号				
※団体担当者様へ 参加者の食物アレルギー該当者・対応の有無をチェックして下さい。 該当者なし <input type="checkbox"/> 該当者あり・対応なし <input type="checkbox"/> 該当者あり・対応あり <input type="checkbox"/> (別途、食物アレルギー事前調査票を提出して下さい。)														
食 事	月 日	月 日 ()			月 日 ()			月 日 ()						
		朝食	昼食	夕食	朝食	昼食	夕食	朝食	昼食	夕食				
食 堂	中学生以上	食	食	食	食	食	食	食	食	食				
	小学生	食	食	食	食	食	食	食	食	食				
	幼児 (3歳以上)	食	食	食	食	食	食	食	食	食				
弁 当	赤城 魚・肉団子	幕の内	食	食	食	食	食	食	食	食				
		おにぎり	食	食	食	食	食	食	食	食				
	榛名 コロック・ 唐揚げ	幕の内	食	食	食	食	食	食	食	食				
		おにぎり	食	食	食	食	食	食	食	食				
	妙義 ハンバーグ・ エビフライ	幕の内	食	食	食	食	食	食	食	食				
		おにぎり	食	食	食	食	食	食	食	食				
袋希望 (※1)	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無					
受渡時間 (※2)	:	:	:	:	:	:	:	:	:					
受渡場所 (※3)	売・玄・セ	売・玄・セ	売・玄・セ	売・玄・セ	売・玄・セ	売・玄・セ	売・玄・セ	売・玄・セ	売・玄・セ					
野 外 炊 事	メニュー													
	8人セット	×	×	×	×	×	×	×	×					
	4人セット	×	×	×	×	×	×	×	×					
	ごはん炊きあげ(※4)													
	炊きあげ受取時間	:	:	:	:	:	:	:	:					
自主メニュー														
特別注文														
宿 泊 人 数	男 女	男	女	計	男	女	計	男	女	計				
	(講師・引率者等を含む)													
シーツ借受組数	本館 ・ キャンプ場 (どちらかに○をつけてください)							シーツ計 組						

キリトリ

- ・右上の新規・変更の部分と表下段の本館・キャンプ場の部分はどちらかに○をつけてください。
 - ・(※1) お弁当袋を希望する場合は有に、希望しない場合は無に○をご記入ください。
 - ・(※2) お弁当の受渡時間については、ご希望の時間をご記入ください。
 - ・(※3) お弁当の受渡場所は、<食堂売店・管理研修棟玄関前・センター棟>から選び、
食堂売店は「売」、管理研修棟玄関前は「玄」、センター棟は「セ」に○をつけてください。
 - ・(※4) ごはん炊きあげ(1人分80円)を希望する場合は、必ず「希望」と明記してください。
- ◆変更が生じた場合は、「変更」とご記入の上、再度FAXにて提出してください。 ※コピーしてご利用ください。

利用 1 ヶ月前までに提出



記入日 _____ 月 _____ 日

④ 食物アレルギー 事前確認票

利用日	2000年 ○月 ×日 ~ △日 まで
団体名	○○○○○ 学校
団体担当者名	○○ ○○
担当者連絡先	TEL ○○○ - △△△ - ○○○○
	FAX ××× - ××× - ××××

No.	該当者氏名	ふりがな	アレルゲン	代替食希望	連絡事項
1	○○ ○○	△△ △△	卵・乳	<input type="radio"/>	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

キリトリ

※ ただし、重篤なアレルギー症状を起こす可能性のある方や、多数のアレルゲンがある方への対応は難しい場合がございます。詳しくは、当食堂までご連絡の上、ご相談下さい。

国立赤城青少年交流の家 食堂 TEL 027-288-3333
FAX 027-288-7037

利用 1 ヶ月前までに提出

食堂 FAX:027-288-7037

記入日 _____ 月 _____ 日

④ 食物アレルギー 事前確認票

利用日	年 月 日 ~ 日 まで
団体名	
団体担当者名	
担当者連絡先	TEL
	FAX

No.	該当者氏名	ふりがな	アレルゲン	代替食希望	連絡事項
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

※ ただし、重篤なアレルギー症状を起こす可能性のある方や、多数のアレルゲンがある方への対応は難しい場合がございます。詳しくは、当食堂までご連絡の上、ご相談下さい。

国立赤城青少年交流の家 食堂 TEL 027-288-3333
FAX 027-288-7037

キリトリ

⑤利用者名簿 <宿泊者用>

記入日 年 月 日

団体名					記入者氏名							
最大 利用人数	男性	名	合計	名	利用期間	年	月	日	~	年	月	日
	女性	名				年	月	日				

■代表者（責任者）の方には○を、引率者の方には○を付けてください。

■各日の宿泊者が分かるようにチェックをしてください。
(例) 宿泊する人に○・宿泊しない人には× など。

	代表者等	利用者氏名	性別	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	備考 外国籍の方は国籍
				日	日	日	日	日	
1			男・女						
2			男・女						
3			男・女						
4			男・女						
5			男・女						
6			男・女						
7			男・女						
8			男・女						
9			男・女						
10			男・女						
11			男・女						
12			男・女						
13			男・女						
14			男・女						
15			男・女						
16			男・女						
17			男・女						
18			男・女						
19			男・女						
20			男・女						
21			男・女						
22			男・女						
23			男・女						
24			男・女						
25			男・女						
宿泊人数			男性						
			女性						

※この用紙をコピーして利用してください。また、HP から様式のダウンロードが可能です。
 ・26 人目からは、行が非表示になっています。足りない場合は付け足し、余る場合は削除してください。
 ※氏名、性別が確認できる名簿で代用可能です。(学級名簿等)

キリトリ

⑥ 利用者名簿 <日帰り利用者用>

記入日 年 月 日

団体名					記入者氏名				
利用人数	男性	名	合計	名	利用日	年	月	日	
	女性	名							

■代表者（責任者）の方には◎を、引率者の方には○を付けてください。■各日の状況が分かるようにチェックをしてください。
 (例) 一日目来所する人に○・そうでない人には× など。

	代表者等	利用者氏名	性別	日	日	日	日	日	備考 外国籍の方は国籍
1			男・女						
2			男・女						
3			男・女						
4			男・女						
5			男・女						
6			男・女						
7			男・女						
8			男・女						
9			男・女						
10			男・女						
11			男・女						
12			男・女						
13			男・女						
14			男・女						
15			男・女						
16			男・女						
17			男・女						
18			男・女						
19			男・女						
20			男・女						
21			男・女						
22			男・女						
23			男・女						
24			男・女						
25			男・女						
日帰り利用人数			男性						
			女性						

キリトリ

※この用紙をコピーして利用してください。また、HPより様式のダウンロードが可能です。
 ・26人目からは、行が非表示になっています。足りない場合は付け足し、余る場合は削除してください。
 ※氏名、性別が確認できる名簿で代用可能です。(学級名簿等)

利用団体票(表)

ご利用初日の入所受付時に提出してください。

太枠内のみご記入ください		記入日 西暦 年 月 日							
利用団体名		記入者氏名							
日別利用者数		緊急の連絡先(携帯)							
【宿泊】		児童・生徒・学生等 未就学児 小学生 中学生 高校生 中等教育学校生 大学生、短期大学生、高等専門学校生 専修学校生、各種学校生 特別支援学校生 その他の学生 社会人 29歳以下 30歳以上							
	期日					男性	女性	計	
1泊目	月 日								
2泊目	月 日								
3泊目	月 日								
4泊目	月 日								
5泊目	月 日								
	合計								
【日帰り】						宿泊 日帰り 男性 女性 男性 女性			
	期日								
1日目	月 日								
2日目	月 日								
3日目	月 日								
4日目	月 日								
5日目	月 日								
6日目	月 日								
	合計								
		ゲストルーム等利用 無・有 (室) (泊) ※原則として1団体1室のご利用になります。							
		リーダー浴室利用 無・有 (室) (時間)							
		今回特別参加の訪日外国人がおりますか。 いる いない ※いる場合は人数(男性 人・女性 人 計 人)							

利用期間中に宿泊・日帰りそれぞれ最大人員であった日の内訳をご記入ください。

キリトリ

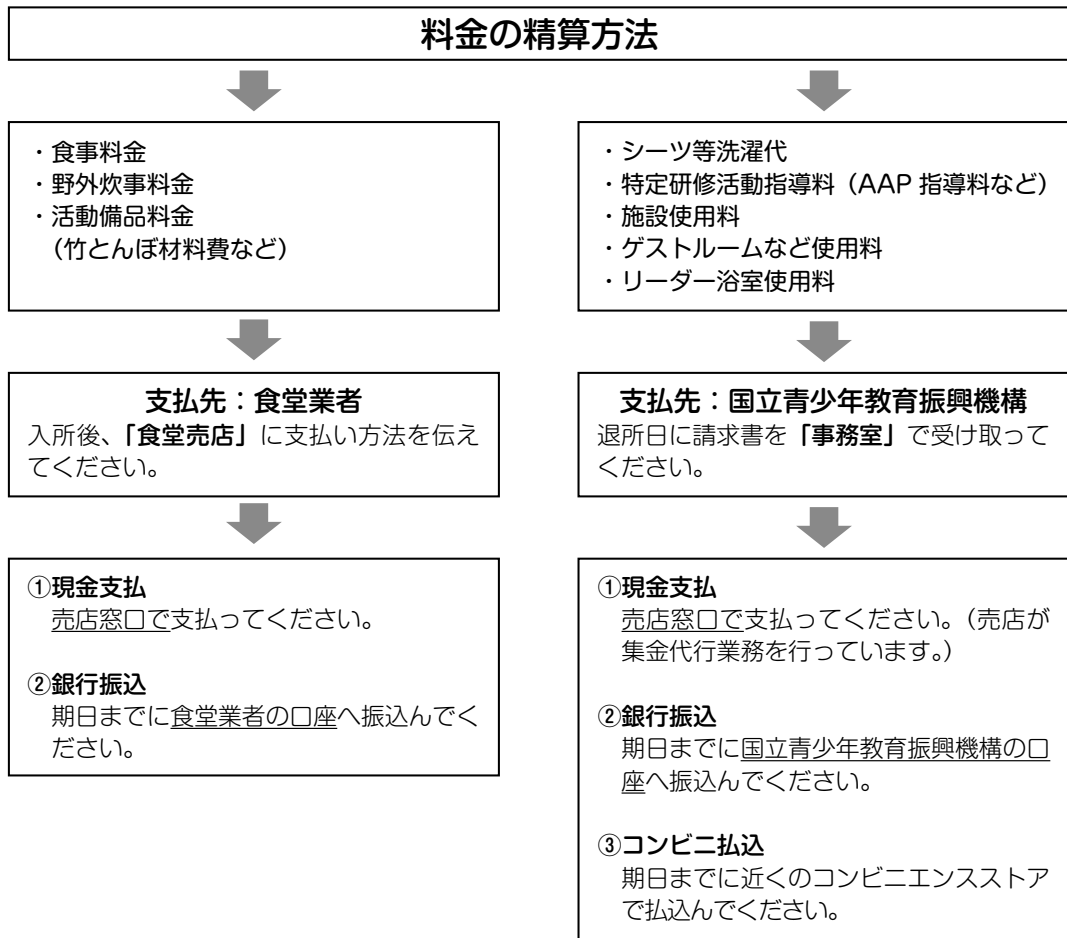
※担当事務室職員記入欄

利用区分		
青少年	一般	当所事業
施設使用料なし	施設使用料あり	

特定研修活動(プログラム名)	料金	ゲストルーム等使用料	シート利用組数	最終日(精算希望日時)	食堂売店サイン
	円	室 泊	枚	/	
	円	円		:	
	円	リーダー浴室使用料			
	円	室 時間			
	円	円			

※請求書の発行は、事務室にて8:45以降となります。
 ※精算は、食堂にて8:45~16:00にお願い致します。

⑧ 利 用 団 体 票 (裏)



◆手数料

現金支払	手数料はかかりません
銀行振込	振込手数料を負担していただきます
コンビニ払込	1件100円の取扱手数料を負担していただきます

◆支払方法

シーツ等洗濯代			<input type="checkbox"/> 現金支払	<input type="checkbox"/> 銀行振込	<input type="checkbox"/> コンビニ払込
特定研修活動指導料 (有料講師代)	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 現金支払	<input type="checkbox"/> 銀行振込	<input type="checkbox"/> コンビニ払込
施設使用料	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 現金支払	<input type="checkbox"/> 銀行振込	<input type="checkbox"/> コンビニ払込
ゲストルームなど使用料	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 現金支払	<input type="checkbox"/> 銀行振込	<input type="checkbox"/> コンビニ払込
リーダー浴室使用料	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 現金支払	<input type="checkbox"/> 銀行振込	<input type="checkbox"/> コンビニ払込

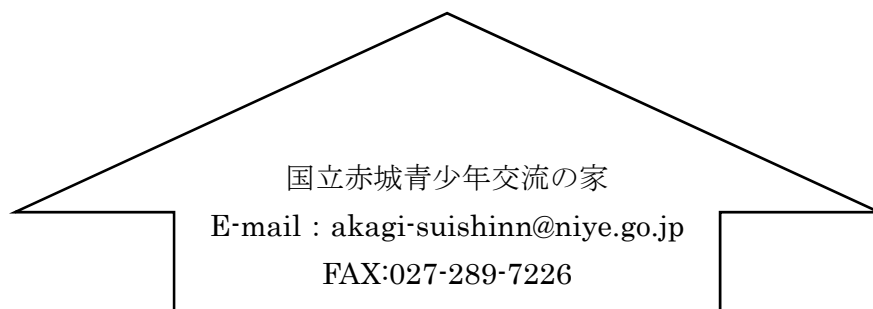
◆請求書の分割 (※請求書を分割し、振込や払込にしますと、請求書1枚ごとに手数料が発生します)

なし あり

	宛 名	宿泊人数	シーツ組数	備 考
請求書 1				
請求書 2				
請求書 3				
請求書 4				
請求書 5				

※請求書の発行時間は**退所日の8:45～16:00**です。

※退所日前日の**17:00**までに人数や支払方法の確定をお願いします。



※当所に電話連絡（027-289-7224）した後、こちらの文書をメールまたは FAX または郵送してください。

国立赤城青少年交流の家 利用取消連絡票

年 月 日 ()

国立赤城青少年交流の家所長 様

団 体 名 _____

代表者名 _____

担当者名 _____

住 所 _____

電話番号 _____

予定利用人数 _____

予約期間

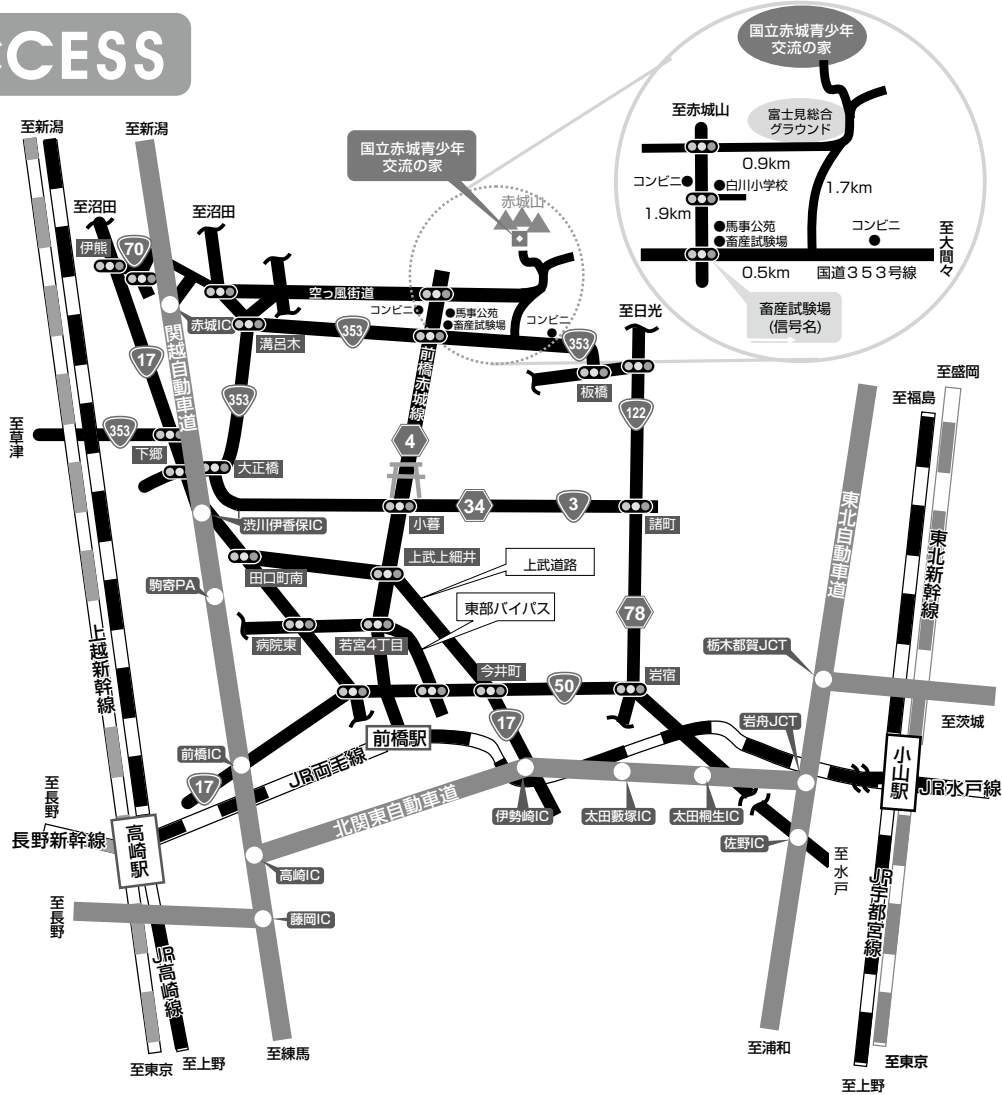
年 月 日 () ~ 年 月 日 ()

下記の理由により、貴施設の利用を取り消します。(当てはまる項目にチェックしてください)

- 別の行事と重なってしまっていたため（参加者の都合）
- 参加人数が集まらなかったため（事務局運営上の都合）
- インフルエンザ等の流行性感冒の影響
- 天候の影響（台風・大雪等）のため
- その他（下記に詳細をご記入ください）

※この用紙をコピーして利用してください。

ACCESS



【自動車の場合】

関越自動車道「赤城I.C.」から約20分/北関東自動車道「伊勢崎I.C.」から約45分



【電車の場合】

JR両毛線「前橋駅」下車→路線バス(関越交通)「国立赤城青少年交流の家」行き約40分
または、前橋駅からタクシー利用(片道約4,000円)。

注:路線バスは4/29~11/3のみ運行。土・日・祝は1日3往復。

平日はデマンド運行、要予約:027-210-5566

11/4~4/28は路線バスの運行はありません(利用不可)

Nabewariyama 1332
Suzugatake 1564
Arayama 1572
Jizodake 1674

